

目次

	ページ
1. 開催要綱	1
2. 広報・PR活動	3
3. 来場者数	4
4. 来場者プロフィール	6
5. 来場者アンケート	10
6. 展示規模	11
7. 出展社アンケート	12
8. 小間割り図	13
9. 出展社一覧	15
10. 新技術説明会	20
11. ライフサイエンスイノベーションゾーン	31
12. オープンソリューションフォーラム [®]	36
13. JASIS WebExpo [®]	38
14. JASIS コンファレンス	42
15. 日本薬局方セミナー	44
16. サイエンスセミナー	45
17. サイエンスステージ	46
18. 「科学・分析機器総覧」、「分析機器の手引き」の配布	47
19. スマートデバイス向けアプリ	47

1. 開催要綱

1. **名称** JASIS 2019
2. **主催** 一般社団法人日本分析機器工業会 / 一般社団法人日本科学機器協会
3. **テーマ** 「未来発見。」(Discover the Future.)
4. **会期** 2019年9月4日(水)～9月6日(金)
※ JASIS コンファレンスのみ 2019年9月3日(火)～9月6日(金)
5. **開催時間** 10:00～17:00
6. **出展社・機関数、出展小間数** (詳細は p.11)
478社・機関 1,423小間 (内海外29社・機関31小間 / 13ヶ国)
7. **総登録来場者数** (詳細は p.4) 23,409人 (うち海外より519名)
前日 142人 (JASIS コンファレンスのみ開催)
第1日目 8,003人
第2日目 7,560人
第3日目 7,704人
8. **会場**
 - ・幕張メッセ国際展示場4～8ホール
 - ・幕張メッセ国際会議場
 - ・アパホテル&リゾート<東京ベイ幕張>
 - ・ホテルニューオータニ幕張
9. **後援** 経済産業省 / 文部科学省 / 農林水産省 / 環境省 / 国立研究開発法人科学技術振興機構 / 国立研究開発法人産業技術総合研究所 / 独立行政法人製品評価技術基盤機構 / 国立研究開発法人理化学研究所 / 独立行政法人日本貿易振興機構 (ジェトロ) / 米国大使館 商務部 / 公益社団法人計測自動制御学会 / 公益社団法人高分子学会 / 一般社団法人室内環境学会 / 公益社団法人石油学会 / 一般社団法人日本開発工学会 / 公益財団法人日本科学技術振興財団 / 一般社団法人日本環境化学会 / 一般社団法人日本機械学会 / 日本機械輸出組合 / 公益社団法人日本気象学会 / 公益社団法人日本生物工学会 / 公益社団法人日本セラミックス協会 / 公益社団法人日本農芸化学会 / 公益財団法人日本発明振興協会 / 公益社団法人日本薬学会 / 一般社団法人発明推進協会 / 一般社団法人日本医療機器学会 / 公益社団法人日本分光学会 / 公益社団法人日本分析化学会 / 公益社団法人日本化学会 / 東京商工会議所 / 特定非営利活動法人バイオ計測技術コンソーシアム
10. **協賛** 一般社団法人次世代センサ協議会 / 公益社団法人日本環境技術協会 / 一般社団法人日本計量機器工業連合会 / 一般社団法人日本検査機器工業会 / 日本顕微鏡工業会 / 日本光学工業協会 / 日本光学測定機工業会 / 一般社団法人日本試験機工業会 / 一般社団法人日本試薬協会 / 一般社団法人日本真空工業会 / 一般社団法人日本電気計測器工業会 / 一般社団法人日本非破壊検査工業会 / 一般社団法人日本非破壊検査協会 / 日本薬科機器協会 / 一般財団法人バイオインダストリー協会
11. **出展社展示内容**

①分析機器・装置	⑥バイオ関連機器・装置
②分析機器部品・コンポーネント	⑦試験機器・装置
③理化学機器	⑧生産プロセス機器・装置
④研究設備・器具・消耗品	(電機・電子デバイス・エネルギー等関連装置)
⑤環境計測機器・工業用計測機器	⑨情報関連ソフト・サービスその他

12. 展示場内企画 ※ () は JASIS 2018 実績

- ・ライフサイエンスイノベーションゾーン (詳細は p.31) :
一般・ポスター・特別展示 63 社 86 小間 (75 社 102 小間)
企業プレゼンテーション 37 社 44 テーマ (45 社 48 テーマ)
基調講演 25 テーマ (29 テーマ)
- ・オープンソリューションフォーラム[®] (詳細は p.36) :
基調講演 6 テーマ、出展社発表 18 テーマ
- ・サイエンスステージ (詳細は p.46) :
やさしい科学機器入門：4 タイトル
理研よこはまサイエンスカフェ in JASIS：1 タイトル
分析化学教育用 DVD：3 タイトル
WebExpo 上映：2 タイトル
- ・JST ブース：24 小間 (16 小間)
- ・産総研ブース：8 小間 (12 小間)
- ・mini/ ソリューションコーナー：38 社 46 小間 (32 社 38 小間)
- ・研究機関コーナー：10 機関 12 小間 (9 機関 11 小間)
- ・学協会コーナー：6 社 9 小間 (9 社 12 小間)
- ・インターナショナルオーガナイゼーションコーナー：9 機関 9 小間 +1 社 1 小間 (17 社・機関 17 小間)
- ・メディア&プレスコーナー：11 社 12 小間 (10 社 11 小間)

13. 新技術説明会 (出展社による最新機器・技術の紹介) ※ () は JASIS 2018 (詳細は p.20)

日時：9月4日(水)～9月6日(金) 10:00～17:00

場所：アパホテル&リゾート<東京ベイ幕張>、ホテルニューオータニ幕張

発表会社数/テーマ数：94社/329テーマ (98社/352テーマ)

聴講者延べ人数：15,844人 (16,017人)

14. JASIS コンファレンス ※ () は JASIS 2018 実績 (詳細は p.42)

日時/場所：9月3日(火)～9月6日(金) 9:30～18:30 / 幕張メッセ国際会議場

主催団体数/セッション数：33団体/53セッション (37団体/52セッション)

参加者延べ人数：4,803人 (4,219人)

15. 日本薬局方セミナー「日本薬局方の現況」(詳細は p.44)

日時/場所：9月5日(木) 14:00～16:00 / 国際会議場 2階 コンベンションホール A

聴講者数：421人

16. サイエンスセミナー「『チバニアン』-地層が示す地球磁場の逆転!」(詳細は p.45)

日時/場所：9月6日(金) 13:00～14:30 / 国際会議場 2階 コンベンションホール A

聴講者数：273人

17. JASIS WebExpo[®] 2019 (詳細は p.38)

会期：7月3日(月) 10:00～12月20日(金) 17:00 ※以下全て11月25日現在

コンテンツ：講演 67 タイトル (動画 54 本)、出展社 19 社

閲覧 ID 数 (ユニーク)：11,036

閲覧コンテンツ数 (延べ)：24,182

2. 広報・PR活動

以下のようなツールを用い、行政機関、研究所、大学などに対してPRを行った。

1. ポスター（製作部数：和文 3,570 部 英文 420 部 中文 100 部 韓文 50 部）

2. 案内状（製作部数：390,000 部）

3. メールマガジン「JASIS 通信」（和文 42 回、英文 2 回）

4. プレスリリース（9 回）

5. テレマーケティングによる来場促進

6. 広告

新聞： 食品化学新聞、化学工業日報、科学新聞

学会誌・雑誌： ぶんせき、化学と工業、高分子、応用物理、化学と生物、
ファルマシア、生化学、日経サイエンス、現代化学
月刊フードケミカル、工業材料、創薬のひろば、
検査技術、計測技術、クリーンテクノロジー、光アライアンス、
画像ラボ、環境浄化技術、PHARM TECH JAPAN

WEB バナー広告： 生化学会 HP、日本分析化学会年会 HP、化学と生物 HP（農芸化学会 HP）
環境と測定技術、日刊工業新聞電子版、化学工業日報 Web
Yahoo! プロモーション広告、Google アドワーズ広告
spectroscopyNOW.com、separationsNOW.com
（ワイリー・パブリッシング・ジャパン株式会社経由）、
instrument.com.cn（仪器信息网）

同封広告： QMAIL、日経サイエンス

7. 特集・記事

化学と工業、日経サイエンス、月刊フードケミカル、工業材料、科学新聞

8. ホームページ等

年間を通じて JASIS ホームページ <https://www.jasis.jp/> を開設し、日本語・英語で情報を発信し、
事前入場登録やセミナーの事前申込を受け付けた。また、出展社専用ページで出展社の便宜を図った。

3. 来場者数

1. 来場者数のカウント方法

展示会場・国際会議場・新技術説明会場の全ての入場口で来場者入場証のバーコードを読取ることで来場者数をカウントしている。この方法では「①重複なし来場者数」に加え、「②1日1カウントの来場者数（複数日来場した人数を含む）」を把握することが出来る。

つまり、「②1日1カウントの来場者数」により、その日の混雑ぶりが数字で把握出来る。

2. 来場者数集計

JASIS 2019	天気	①重複なし来場者数			②1日1カウントの来場者数		
		JASIS 2019	JASIS 2018	JASIS 2017	JASIS 2019	JASIS 2018	JASIS 2017
9月3日(火)	曇り	142	149	194	142	149	194
9月4日(水)	曇り	8,003	7,663	8,219	8,125	7,770	8,347
9月5日(木)	晴れ	7,560	8,024	8,291	9,640	9,915	10,171
9月6日(金)	晴れ	7,704	7,861	8,152	10,269	10,369	10,680
合計		23,409	23,697	24,856	28,176	28,203	29,392

(対前年比: 98.8%)

- ① 重複なし来場者数：
 - ・ 同一来場者 ID は、4 日間で 1 回だけカウントしています。
 - ・ 来場者入場証のみカウントしています。
 - ・ 出展社入場証の数は含まれていません。
- ② 1日1カウントの来場者数：
 - ・ 複数日来場している来場者も含めた1日ごとの来場者数です。
 - ・ 同一来場者 ID は1日1回だけカウントします。
 - ・ 最後の合計は4日間の延べ人数を表しています。

3. 来場者の登録種別分類

①事前登録 (7/3 ~ 9/6)：事前にインターネットで登録。入場証を来場者ご自身で印刷、受付は通らず入場。

②当日登録 (国内)：会場受付でスタッフが入力登録、入場証発行。

(海外)：来場者が自分で入力またはスタッフが代行入力。入場証発行。

	JASIS 2019						JASIS 2018		JASIS 2017	
	9月3日	9月4日	9月5日	9月6日	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率
①事前登録	129	7,394	6,916	7,031	21,470	91.7%	21,236	89.6%	21,788	87.7%
②当日登録	13	609	644	673	1,939	8.3%	2,461	10.4%	3,068	12.3%
合計	142	8,003	7,560	7,704	23,409	100.0%	23,697	100.0%	24,856	100.0%

4. 新技術説明会、JASIS コンファレンスを聴講した人の動線分析

展示会場・国際会議場・新技術説明会場の全ての入口で読み込んだバーコードデータの集計。

(1日1カウントの来場者数) から、来場者の動線を分析した。

	9月4日		9月5日		9月6日	
①新技術説明会(アパホテル)に来た人数	1,898		2,188		2,236	
①の内、展示会場に行った人数	1,836	96.7%	2,092	95.6%	2,163	96.7%
②新技術説明会(ニューオータニ)に来た人数	925		1,086		1,018	
②の内、展示会場に行った人数	891	96.3%	1,040	95.8%	982	96.5%
③国際会議場に来た人数	2,283		3,180		2,962	
③の内、展示会場に行った人数	2,042	89.4%	2,811	88.4%	2,684	90.6%

それぞれの日において、新技術説明会(アパ、オータニ)を聴講した人の内、平均して96%の人が展示会場にも行っている。この傾向は昨年と同じであり、新技術説明会と展示会は一体化されている。

国際会議場でコンファレンスを聴講した方が展示会場に行く比率は平均で89%となり、新技術説明会に比べると比率は下がるものの、高い比率で展示会場への来場者の流れが確保されていると言える。

5. 日別・会場別の来場区分別比率

1日ごと各会場別に来場者の登録区分（入場証色別区分）別人数を集計した。

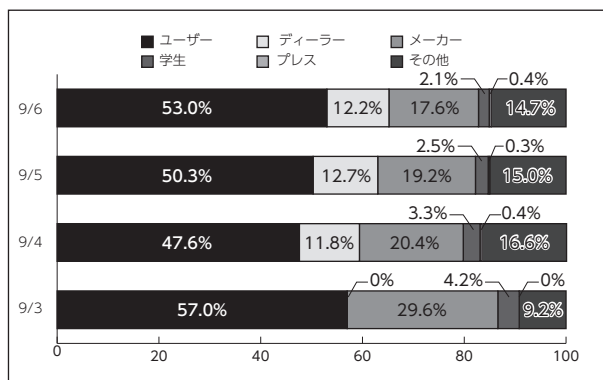
展示会場、国際会議場、新技術説明会（アパ+オータニ）の来場者数は各会場における1日1カウントの人数。（1日1カウント/延べ人数：28,176人が対象）

5.1. 全会場

区分	9月3日	9月4日	9月5日	9月6日
ユーザー	81	3,865	4,853	5,447
ディーラー	0	955	1,221	1,251
メーカー	42	1,659	1,853	1,811
学生	6	265	238	215
プレス	0	36	31	37
その他	13	1,345	1,444	1,508
合計	142	8,125	9,640	10,269

※全日の平均で50%がユーザー。

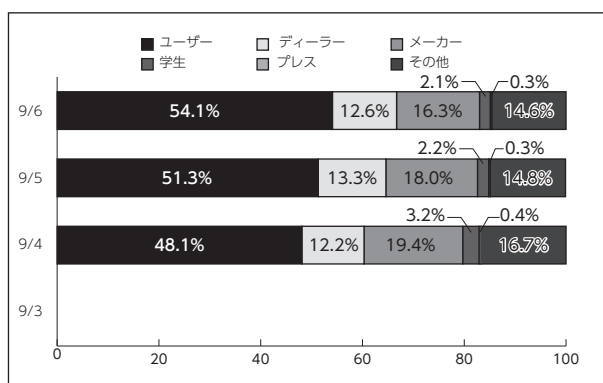
9/3は国際会議場3セッションのみの開催で、142名中130名が翌日以降も来場していた。



5.2. 展示会場

区分	9月3日	9月4日	9月5日	9月6日
ユーザー	-	3,694	4,623	5,248
ディーラー	-	934	1,201	1,226
メーカー	-	1,495	1,627	1,577
学生	-	245	196	201
プレス	-	34	31	31
その他	-	1,285	1,339	1,416
合計	-	7,687	9,017	9,699

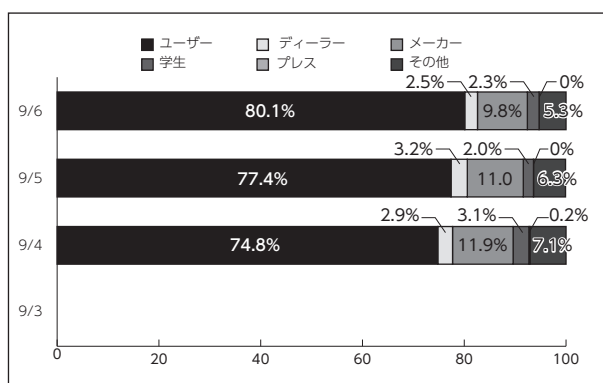
※各来場色区分の比率傾向は全会場とあまり変わりはない。



5.3. 新技術説明会（アパとオータニの合計）

区分	9月3日	9月4日	9月5日	9月6日
ユーザー	-	1,596	1,927	2,059
ディーラー	-	61	79	65
メーカー	-	255	275	252
学生	-	66	49	58
プレス	-	5	1	0
その他	-	151	158	137
合計	-	2,134	2,489	2,571

※ユーザー層が約80%と圧倒的に多い。



6. 展示会場と新技術説明会の来場者年代別比較

全体

年代	来場者数	比率
18歳以下	17	0.1%
19歳から29歳	4,376	18.7%
30歳から39歳	5,463	23.3%
40歳から49歳	6,012	25.7%
50歳から59歳	4,729	20.2%
60歳から69歳	1,883	8.0%
70歳以上	432	1.8%
未回答	497	2.1%
合計	23,409	100.0%

展示会場

年代	来場者数	比率
18歳以下	17	0.1%
19歳から29歳	4,246	18.8%
30歳から39歳	5,301	23.4%
40歳から49歳	5,817	25.7%
50歳から59歳	4,539	20.1%
60歳から69歳	1,805	8.0%
70歳以上	419	1.9%
未回答	472	2.1%
合計	22,616	100.0%

新技術説明会

年代	来場者数	比率
18歳以下	3	0.0%
19歳から29歳	1,615	26.1%
30歳から39歳	1,770	28.6%
40歳から49歳	1,506	24.3%
50歳から59歳	933	15.1%
60歳から69歳	238	3.8%
70歳以上	40	0.6%
未回答	93	1.5%
合計	6,198	100.0%

※新技術説明会聴講者の年齢構成は全体・展示会場に比べ20代、30代の比率が高い。

4. 来場者プロフィール

全来場者（23,409人）の登録データをもとに、来場者プロフィールを分析した。なお「2. 購入決定権について」、「9. JASISには初めての来場ですか」は初めて全来場者を対象に調査した項目である。

当展示会来場者層の特徴的な側面は以下の4点であり、今年も広範囲のユーザー層に来場頂いたことが読み取れる。

- ・ 分析機器・科学機器ユーザー分類が半数を超える。
- ・ 勤務地別集計で、関東甲信越の来場者が76%と大半を占める。
- ・ 業種別では偏りが少なく、幅広い業種から来場いただいている。

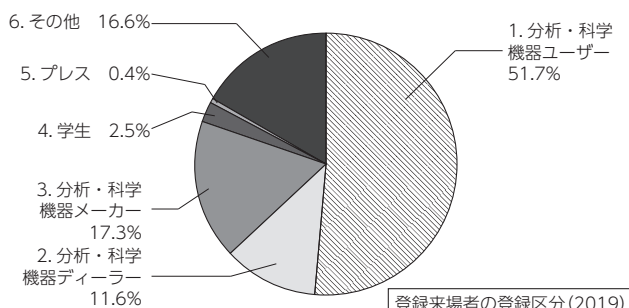
次の業種については、約5～17%と比較的多い割合を占める。

「官公庁・公的機関」、「学校・教育機関」、「分析技術サービス（分析・試験・検査）」、「電子・電機・精密機器」、「化学製品（インク・塗料・農薬・香料等）」、「製薬・医薬・化粧品」、「食品」、「商社、商業」

- ・ 職種別では、「研究・開発」約28%、「分析・試験・検査・測定」約18%、「生産・製造・品質管理」約8%、「営業」約21%、が主だったところである。

1. 来場者の登録区分（入場証色別区分）

	JASIS 2019						JASIS 2018		JASIS 2017	
	9月3日	9月4日	9月5日	9月6日	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率
1. 分析・科学機器ユーザー	81	3,791	3,962	4,280	12,114	51.7%	13,135	55.4%	13,042	52.5%
2. 分析・科学機器ディーラー	0	955	904	846	2,705	11.6%	2,724	11.5%	2,980	12.0%
3. 分析・科学機器メーカー	42	1,623	1,276	1,104	4,045	17.3%	3,843	16.2%	4,030	16.2%
4. 学生	6	261	149	162	578	2.5%	590	2.5%	826	3.3%
5. プレス	0	36	25	31	92	0.4%	145	0.6%	197	0.8%
6. その他	13	1,337	1,244	1,281	3,875	16.6%	3,260	13.8%	3,781	15.2%
合計	142	8,003	7,560	7,704	23,409	100.0%	23,697	100.0%	24,856	100.0%



2. 購入決定権について

	JASIS 2019	
	回答人数	比率
1. 選定・購入を決定する立場	3,420	14.6%
2. 選定・購入について検討・助言できる立場	11,162	47.7%
3. 上記のいずれでもない	8,827	37.7%
合計	23,409	100.0%

3. 勤務先所在地別分類

	JASIS 2019						JASIS 2018		JASIS 2017	
	9月3日	9月4日	9月5日	9月6日	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率
1. 東京都	48	2,755	2,473	2,652	7,928	33.9%	7,934	33.5%	8,407	33.8%
2. 神奈川県	21	1,005	1,115	1,123	3,264	13.9%	3,264	13.8%	3,307	13.3%
3. 千葉県	8	726	661	844	2,239	9.6%	2,354	9.9%	2,426	9.8%
4. 埼玉県	2	573	589	655	1,819	7.8%	1,808	7.6%	1,897	7.6%
5. 茨城県	13	460	414	570	1,457	6.2%	1,590	6.7%	1,579	6.4%
6. 栃木県	2	76	88	109	275	1.2%	301	1.3%	343	1.4%
7. 群馬県	1	91	110	124	326	1.4%	308	1.3%	278	1.1%
8. 山梨県	1	38	31	34	104	0.4%	122	0.5%	134	0.5%
9. 長野県	1	70	70	89	230	1.0%	207	0.9%	204	0.8%
10. 新潟県		44	59	40	143	0.6%	106	0.4%	127	0.5%
関東・甲信越 小計	97	5,838	5,610	6,240	17,785	76.0%	17,994	75.9%	18,702	75.2%
11. 愛知県	5	169	196	210	580	2.5%	610	2.6%	601	2.4%
12. 静岡県	5	182	211	250	648	2.8%	663	2.8%	645	2.6%
13. 岐阜県		28	22	26	76	0.3%	69	0.3%	87	0.4%
14. 三重県		34	52	33	119	0.5%	118	0.5%	144	0.6%
15. 石川県		16	23	8	47	0.2%	55	0.2%	52	0.2%
16. 富山県		44	49	39	132	0.6%	128	0.5%	127	0.5%
17. 福井県	1	13	17	11	42	0.2%	47	0.2%	46	0.2%
東海・北陸 小計	11	486	570	577	1,644	7.0%	1,690	7.1%	1,702	6.8%
18. 大阪府	7	315	336	228	886	3.8%	781	3.3%	909	3.7%
19. 京都府	6	313	245	154	718	3.1%	809	3.4%	792	3.2%
20. 滋賀県	2	59	45	40	146	0.6%	161	0.7%	169	0.7%
21. 兵庫県	5	107	112	75	299	1.3%	281	1.2%	324	1.3%
22. 奈良県		13	10	9	32	0.1%	31	0.1%	54	0.2%
23. 和歌山県		17	7	5	29	0.1%	19	0.1%	26	0.1%
近畿 小計	20	824	755	511	2,110	9.0%	2,082	8.8%	2,274	9.1%
24. 愛媛県		27	18	5	50	0.2%	52	0.2%	63	0.3%
25. 香川県		9	18	4	31	0.1%	33	0.1%	36	0.1%
26. 高知県	1	4	2	4	11	0.0%	8	0.0%	17	0.1%
27. 徳島県		17	10	6	33	0.1%	35	0.1%	29	0.1%
四国小計	1	57	48	19	125	0.5%	128	0.5%	145	0.6%
28. 岩手県		13	8	5	26	0.1%	27	0.1%	26	0.1%
29. 宮城県		51	53	30	134	0.6%	156	0.7%	131	0.5%
30. 山形県		20	28	28	76	0.3%	87	0.4%	97	0.4%
31. 秋田県		12	8	15	35	0.1%	37	0.2%	41	0.2%
32. 青森県		18	13	12	43	0.2%	33	0.1%	25	0.1%
33. 福島県		51	63	71	185	0.8%	215	0.9%	226	0.9%
34. 北海道	3	43	33	16	95	0.4%	68	0.3%	106	0.4%
東北・北海道 小計	3	208	206	177	594	2.5%	623	2.6%	652	2.6%
35. 岡山県	1	38	47	28	114	0.5%	103	0.4%	102	0.4%
36. 広島県	1	30	53	21	105	0.4%	95	0.4%	127	0.5%
37. 山口県	1	25	34	14	74	0.3%	76	0.3%	72	0.3%
38. 鳥取県		7	4	1	12	0.1%	12	0.1%	14	0.1%
39. 島根県		6	2	2	10	0.0%	6	0.0%	17	0.1%
中国 小計	3	106	140	66	315	1.3%	292	1.2%	332	1.3%
40. 福岡県	2	50	50	28	130	0.6%	149	0.6%	154	0.6%
41. 佐賀県		11	6	4	21	0.1%	26	0.1%	26	0.1%
42. 長崎県		3	4	3	10	0.0%	16	0.1%	15	0.1%
43. 熊本県		18	29	12	59	0.3%	71	0.3%	58	0.2%
44. 大分県		13	7	5	25	0.1%	34	0.1%	30	0.1%
45. 宮崎県		14	12	9	35	0.1%	19	0.1%	26	0.1%
46. 鹿児島県		13	4	3	20	0.1%	18	0.1%	17	0.1%
47. 沖縄県	2	10	4	1	17	0.1%	28	0.1%	21	0.1%
九州・沖縄 小計	4	132	116	65	317	1.4%	361	1.5%	347	1.4%
国内合計	139	7,651	7,445	7,655	22,890	97.8%	23,170	97.8%	24,154	97.2%
海外	3	352	115	49	519	2.2%	527	2.2%	702	2.8%
合計	142	8,003	7,560	7,704	23,409	100.0%	23,697	100.0%	24,856	100.0%

4. 勤務先所在地別分類 (TOP10 - 過去3年)

	JASIS 2019		JASIS 2018		JASIS 2017	
	都道府県	合計人数	都道府県	合計人数	都道府県	合計人数
1位	東京都	7,928	東京都	7,934	東京都	8,407
2位	神奈川県	3,264	神奈川県	3,264	神奈川県	3,307
3位	千葉県	2,239	千葉県	2,354	千葉県	2,426
4位	埼玉県	1,819	埼玉県	1,808	埼玉県	1,897
5位	茨城県	1,457	茨城県	1,590	茨城県	1,579
6位	大阪府	886	京都府	809	大阪府	909
7位	京都府	718	京都府	781	京都府	792
8位	静岡県	648	静岡県	663	海外	702
9位	愛知県	580	愛知県	610	静岡県	645
10位	海外	518	海外	527	愛知県	601

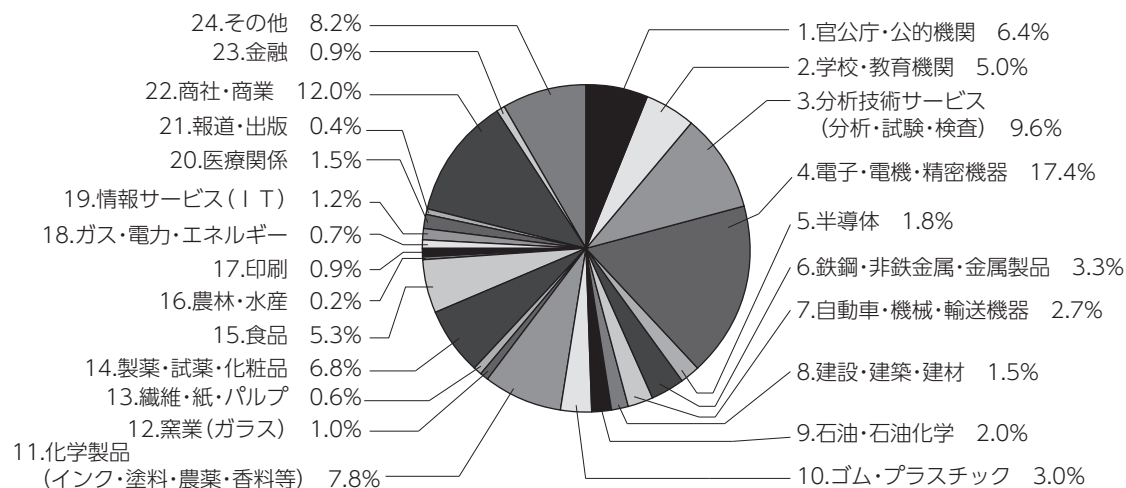
5. 海外来場者 国別内訳

順位	JASIS 2019		JASIS 2018		JASIS 2017	
	国名	合計人数	国名	合計人数	国名	合計人数
1位	中国	124	韓国	205	韓国	223
2位	韓国	118	中国	142	中国	157
3位	台湾	73	台湾	60	台湾	142
4位	ベトナム	30	アメリカ	21	アメリカ	48
5位	タイ	27	タイ	17	タイ	18
6位	アメリカ	21	英国	9	インド	13
7位	シンガポール	16	ドイツ	6	香港	11
8位	インド	11	マレーシア	6	英国	11
9位	ドイツ	10	フランス	5	シンガポール	10
10位	英国	9	インドネシア	5	ロシア	7
11位	ロシア	8	イタリア	5	ベトナム	7
12位	香港	6	シンガポール	5		
12位	ブルガリア	6				
	その他	60	その他	41	その他	55
	合計	519	合計	527	合計	702

6. 業種別分類

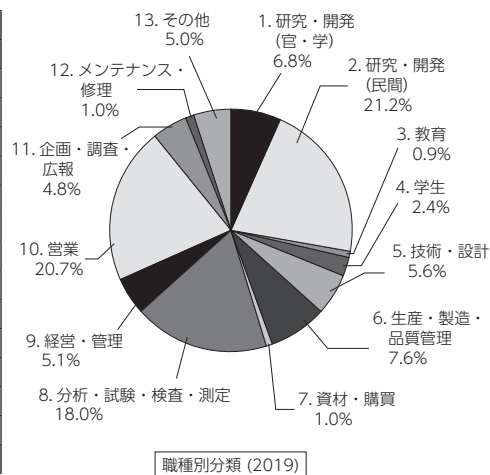
	JASIS 2019		JASIS 2018		JASIS 2017	
	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率
1. 官公庁・公的機関	1,493	6.4%	1,611	6.8%	1,668	6.7%
2. 学校・教育機関	1,176	5.0%	1,306	5.5%	1,498	6.0%
3. 分析技術サービス (分析・試験・検査)	2,244	9.6%	2,252	9.5%	2,223	8.9%
4. 電子・電機・精密機器	4,069	17.4%	4,119	17.4%	4,277	17.2%
5. 半導体	417	1.8%	390	1.6%	435	1.8%
6. 鉄鋼・非鉄金属・金属製品	765	3.3%	814	3.4%	774	3.1%
7. 自動車・機械・輸送機器	628	2.7%	741	3.1%	722	2.9%
8. 建設・建築・建材	349	1.5%	322	1.4%	316	1.3%
9. 石油・石油化学	459	2.0%	510	2.2%	454	1.8%
10. ゴム・プラスチック	706	3.0%	667	2.8%	712	2.9%
11. 化学製品 (インク・塗料・農薬・香料等)	1,835	7.8%	1,923	8.1%	1,876	7.5%
12. 窯業 (ガラス)	224	1.0%	217	0.9%	256	1.0%
13. 繊維・紙・パルプ	133	0.6%	166	0.7%	167	0.7%
14. 製薬・試薬・化粧品	1,598	6.8%	1,552	6.5%	1,540	6.2%
15. 食品	1,242	5.3%	1,295	5.5%	1,322	5.3%
16. 農林・水産	58	0.2%	70	0.3%	88	0.4%
17. 印刷	206	0.9%	212	0.9%	245	1.0%
18. ガス・電力・エネルギー	164	0.7%	169	0.7%	165	0.7%
19. 情報サービス (IT)	284	1.2%	280	1.2%	334	1.3%
20. 医療関係	346	1.5%	383	1.6%	403	1.6%
21. 報道・出版	95	0.4%	148	0.6%	190	0.8%
22. 商社・商業	2,803	12.0%	2,786	11.8%	3,142	12.6%
23. 金融	205	0.9%	180	0.8%	227	0.9%
24. その他	1,910	8.2%	1,584	6.7%	1,822	7.3%
合計	23,409	100.0%	23,697	100.0%	24,856	100.0%

業種別分類 (2019)



7. 職種別分類

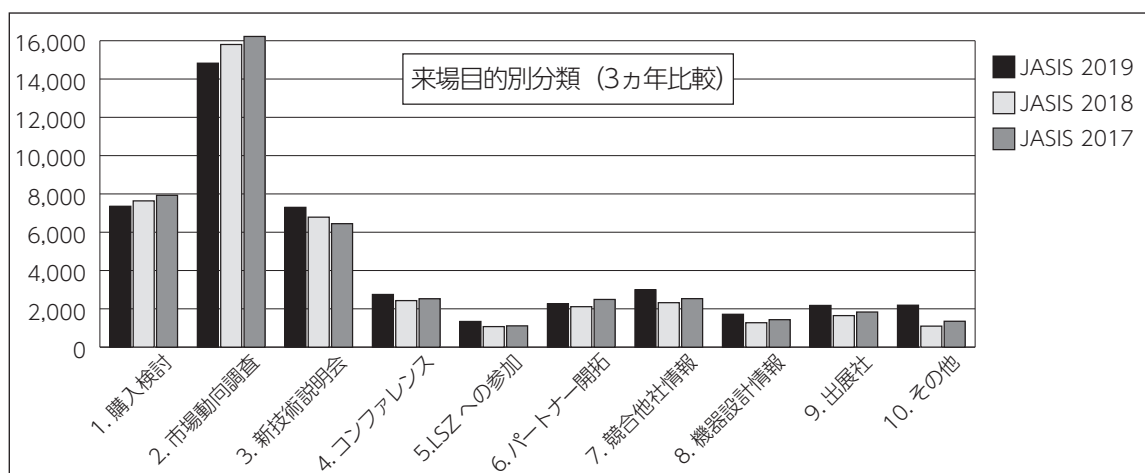
	JASIS 2019		JASIS 2018		JASIS 2017	
	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率
1. 研究・開発 (官・学)	1,591	6.8%	1,769	7.5%	1,844	7.4%
2. 研究・開発 (民間)	4,964	21.2%	5,179	21.9%	5,093	20.5%
3. 教育	207	0.9%	204	0.9%	222	0.9%
4. 学生	551	2.4%	610	2.6%	794	3.2%
5. 技術・設計	1,318	5.6%	1,349	5.7%	1,411	5.7%
6. 生産・製造・品質管理	1,774	7.6%	1,813	7.7%	1,772	7.1%
7. 資材・購買	235	1.0%	238	1.0%	252	1.0%
8. 分析・試験・検査・測定	4,209	18.0%	4,448	18.8%	4,453	17.9%
9. 経営・管理	1,183	5.1%	1,142	4.8%	1,196	4.8%
10. 営業	4,837	20.7%	4,605	19.4%	5,189	20.9%
11. 企画・調査・広報	1,130	4.8%	1,193	5.0%	1,317	5.3%
12. メンテナンス・修理	232	1.0%	224	0.9%	240	1.0%
13. その他	1,178	5.0%	923	3.9%	1,073	4.3%
合計	23,409	100.0%	23,697	100.0%	24,856	100.0%



8. 来場目的別分類 (複数回答)

	JASIS 2019		JASIS 2018		JASIS 2017	
	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率
1. 分析機器 / 科学機器の購入検討 (長期・短期)	7,359	31.4%	7,641	32.2%	7,933	31.9%
2. 分析機器 / 科学機器業界の技術トレンド・市場動向調査	14,833	63.4%	15,810	66.7%	16,230	65.3%
3. 新技術説明会 / オープンソリューションフォーラムの聴講	7,303	31.2%	6,790	28.7%	6,450	25.9%
4. コンファレンス (国際会議場開催) への参加	2,752	11.8%	2,432	10.3%	2,528	10.2%
5. ライフサイエンスイノベーションゾーンへの参加	1,342	5.7%	1,074	4.5%	1,113	4.5%
6. ビジネスパートナー開拓	2,264	9.7%	2,114	8.9%	2,492	10.0%
7. [分析・科学機器メーカーの方] 競合他社の情報収集	2,996	12.8%	2,323	9.8%	2,535	10.2%
8. [分析・科学機器メーカーの方] 機器設計のための情報収集	1,717	7.3%	1,276	5.4%	1,435	5.8%
9. 出展者・展示要員・展示説明員	2,179	9.3%	1,648	7.0%	1,835	7.4%
10. その他	2,191	9.4%	1,098	4.6%	1,353	5.4%

※比率は、2019年度は23,409人、2018年度は23,697人を2017年度は24,856人を100としてそれぞれの比率を算出。



9. JASIS には初めての来場ですか？

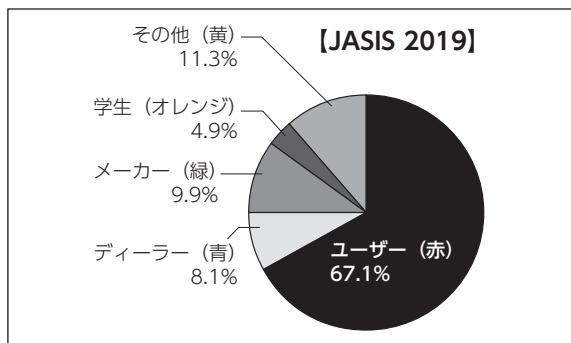
	JASIS 2019	
	合計人数	比率
1. 初めての来場	8,531	36.4%
2. 過去 JASIS に来場したことがある	14,878	63.6%
合計	23,409	100.0%

5. 来場者アンケート

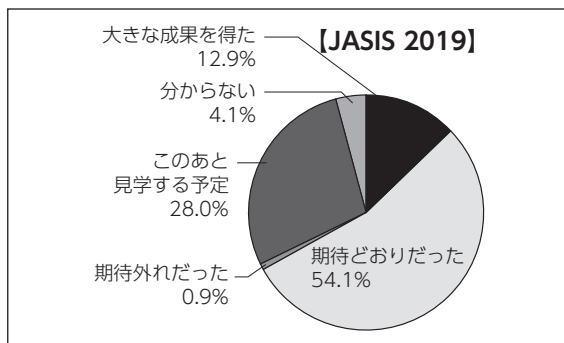
来場者のニーズや傾向を把握するためにアンケートを実施した。6ホールと7ホールのイベントスクエア内にアンケートコーナーを設置し、来場者から3日間で5,390名のアンケートを得た。

以下抜粋。(複数回答設問である3,4、項の比率は回答数を100%として計算。各年の回答総数：JASIS 2019 =5,390、JASIS 2018 =3,962、JASIS 2017 =5,174)

1. アンケート回答者の入場カード色区分

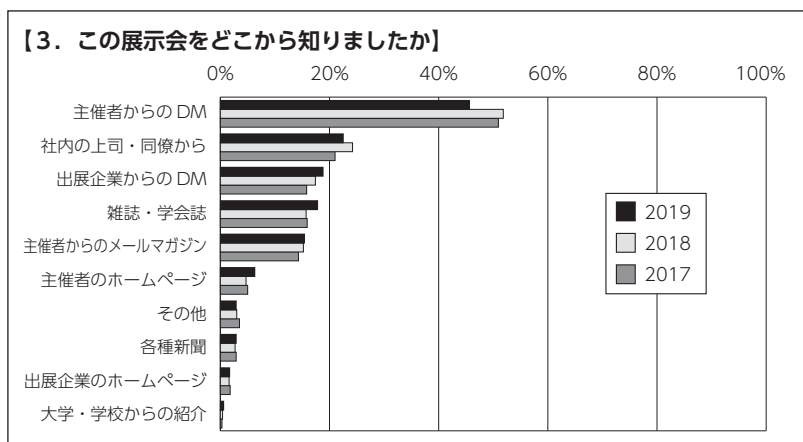


2. JASIS 全体のご感想



全来場者へのアンケートである「来場者プロフィール」の結果と比べるとユーザーの比率が高い。(51.7%→67.1%)

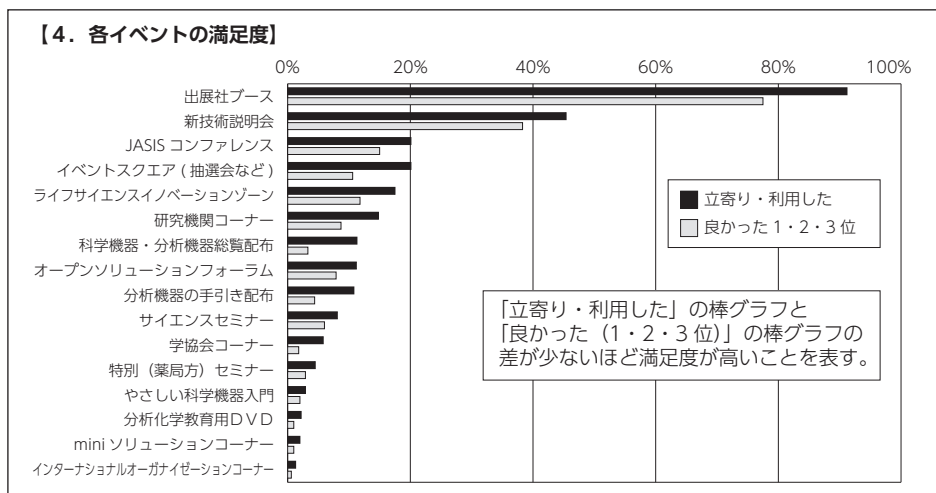
3. この展示会をどこから知りましたか (複数回答)



4. 各イベントの満足度

イベントで立ち寄られた所 (立ち寄られる予定の所)、又は利用された所 (利用される予定の所) を複数回答でチェックしていただいた。

次に、チェックされたイベントの内、特に良かったイベントを最大3つまでを回答いただいた。



6. 展示規模

2019年の展示規模は、478社1,423小間となり若干減少傾向となったものの、幕張メッセの5つのホールを使用しての開催となった。

1,423小間のうち、3m×3mサイズのブースに製品を展示する一般展示が1,248小間となり全体の87.7%を占め、175小間(12.3%)が、ライフサイエンスイノベーション、mini/ソリューション、研究機関、学協会などの出展コーナーであった。

全出展社478社・機関中、主催者(日本分析機器工業会もしくは日本科学機器協会)会員企業は238社(49.8%)、会員外の出展は240社(50.2%)であり会員以外の出展にも広く門戸を開いている。海外出展は、29社31小間(13か国)。(2018年は、42社44小間/16か国)

・出展種別内訳

	小間数				会社数			
	JASIS 2019	去年比	JASIS 2018	JASIS 2017	JASIS 2019	去年比	JASIS 2018	JASIS 2017
JAIMA/JSIA 会員	1,062	99.9%	1,063	1,110	238	102.6%	232	251
ゲスト(国内)	125	87.4%	143	132	79	96.3%	82	84
ゲスト(海外)	18	69.2%	26	26	16	72.7%	22	23
その他	43	104.9%	41	36	7	87.5%	8	9
mini/ソリューションコーナー	46	121.1%	38	40	38	118.8%	32	31
ライフサイエンスイノベーションゾーン	86	84.3%	102	87	63	84.0%	75	66
小計	1,380	97.7%	1,413	1,431	441	97.8%	451	464
研究機関、学協会、 メディア&プレスコーナー他	43	87.8%	49	47	37	86.0%	43	42
合計	1,423	97.3%	1,462	1,478	478	96.8%	494	506

・海外出展社内訳

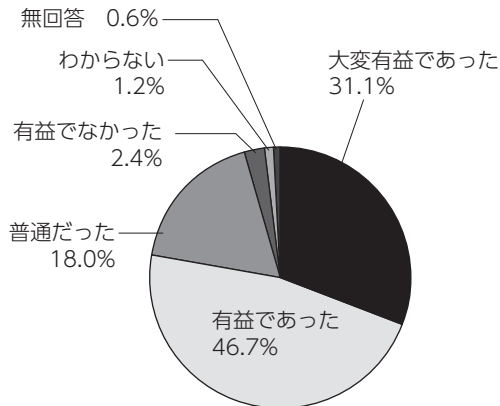
	海外出展社数小間数 / 国数		
	JASIS 2019	JASIS 2018	JASIS 2017
一般展示	16社18小間/9か国	22社26小間/11か国	23社26小間/9か国
mini/ソリューションコーナー	2社2小間/2か国	3社3小間/3か国	1社1小間/1か国
ライフサイエンスイノベーションゾーン	-	4社4小間/3か国	-
国際ナショナルオーガナイズーションコーナー	9社9小間/4か国	12社12小間/6か国	15社・機関15小間/7か国
メディア&プレスコーナー	2社2小間/2か国	2社2小間/2か国	2社2小間/2か国
計	29社31小間/13か国	42社44小間/16か国	41社・機関44小間/13か国



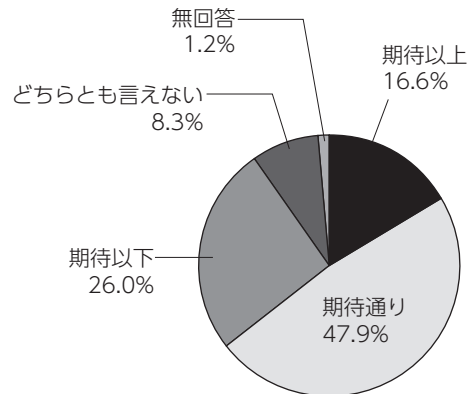
7. 出展社アンケート

会期後に、全出展社の日本の担当者 394 社に対してアンケートを行い、169 社から回答を得た（回収率 42.9%）。出展が「大変有益であった」もしくは「有益であった」という回答が 77.8%（2018 年 73.9%）となり、また、次年度の出展予定に対しては 86.4%（2018 年 88.8%）が「出展する」もしくは「出展を検討する」と回答をいただいた。以下はアンケートの抜粋。

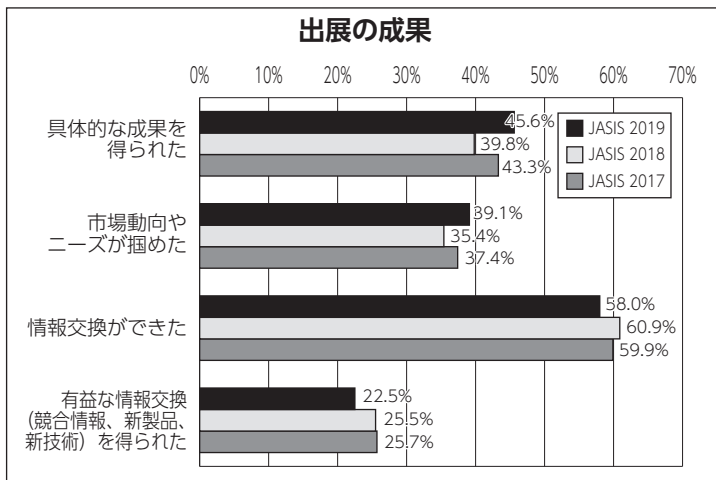
JASIS 2019 への出展は有益でしたか



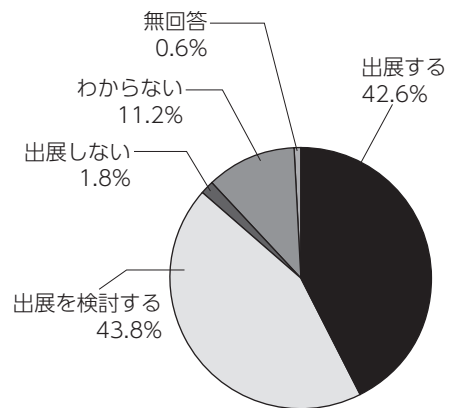
貴社ブース来場者について



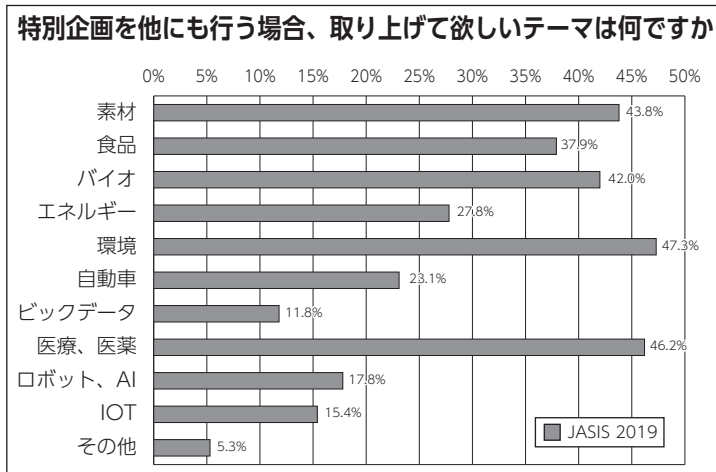
出展の成果



2020 年は出展しますか



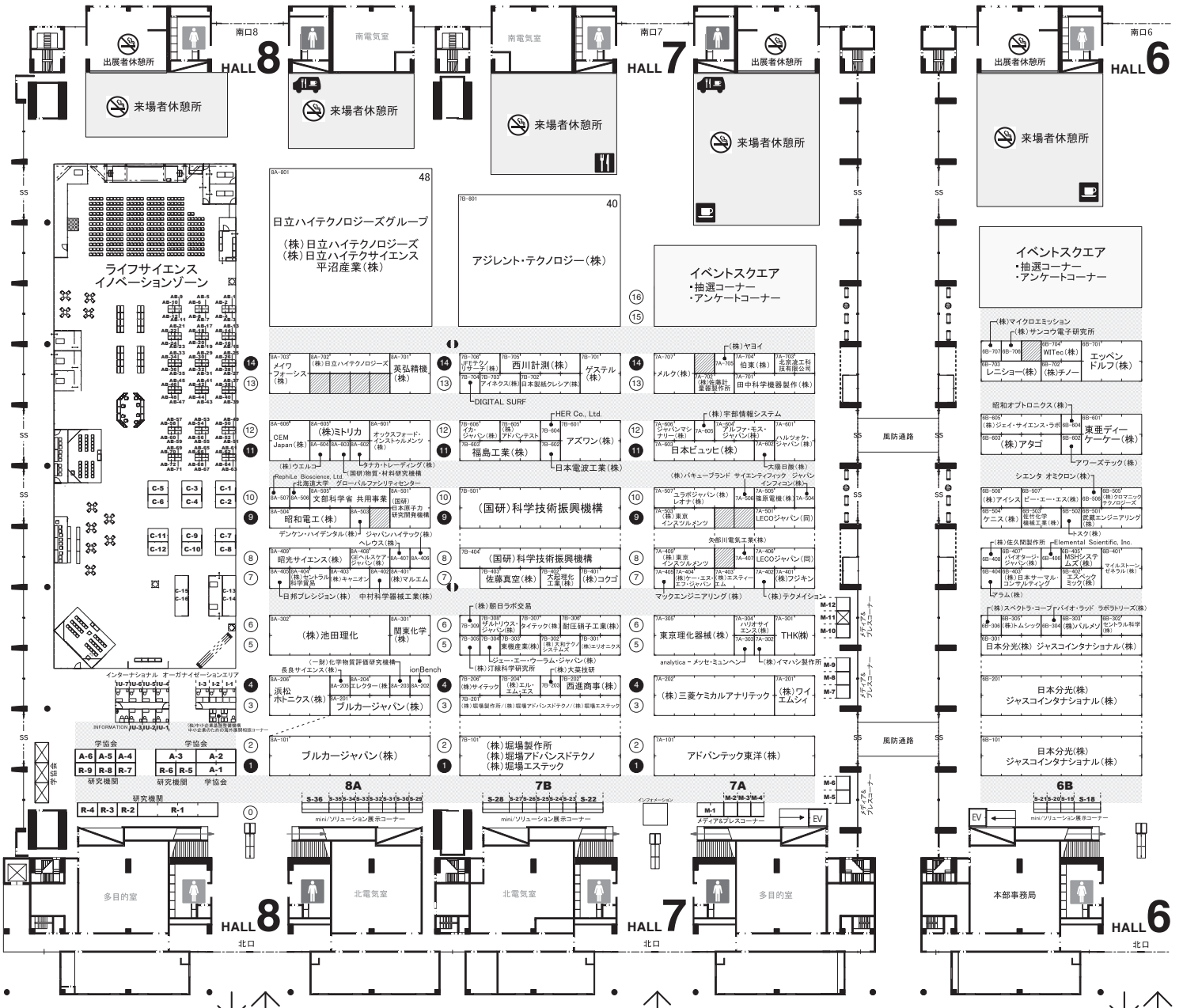
特別企画を他にも行う場合、取り上げて欲しいテーマは何ですか



8. 小間割り図

[HALL 8] ライフサイエンスイノベーションゾーン

C-1 (株)日立ハイテクノロジーズ	AB-1 NTサイエンス(同)	AB-17 ASICON Tokyo Ltd.	AB-33 (特非) 研究実験施設・環境安全	AB-48 (一社) 日本再生医療学会
C-2 (株)テクノス方・ラボ	AB-2 (株)ナード研究所	AB-18 (株)協同インターナショナル	AB-34 教育研究会	AB-49 (一社) 日本臨床検査薬協会
C-3 メテカテック(株)	AB-3 (株)日本電子(株)	AB-19 昭和電工(株)	AB-35 ムロカ力産業(株)	AB-50 (株)アプロサイエンス
C-4 (株)オプティマ	AB-4 (株)プラスト	AB-20 金陵電機(株)	AB-36 (株)システム計画研究所	AB-51 ifa/HFE JAPAN2020
C-5 (株)エルイーテクノロジーズ	AB-5 いわき商工	AB-21 ノーザンサイエンス	AB-37 (株)じほう	AB-52 国際食品素材/添加物展・会議/ ヘルスフードエキスポ
C-6 (国研) 理化学研究所	AB-6 旭架研磨加工(株)	AB-22 コンサルティング(株)	AB-38 (株)花市電子顕微鏡技術研究所	AB-53 (株)アリオリ
C-7 (株)リコー	AB-7 (株)島津製作所	AB-23 医学化学創薬(株)	AB-39 (株)バイオ	AB-54 BioJapan / 再生医療JAPAN 2019
C-8 NOK(株)	AB-8 東亜ディーケーケー(株)	AB-24 シェンズファインデバイス(株)	AB-40 (株)BDコンサルテイング(同)	AB-55 ニュー・イングランド・バイオラボ・ ジャパン(株)
C-9 (特非) バイオ計測技術コンソーシアム	AB-9 英弘精機(株)	AB-25 (株)朝日ラーパー	AB-41 (一社) 日本臨床検査機器・ 試薬・システム振興協会(JACLAS)	AB-56 創業のひろば
C-10 (株)エムエステクノシステムズ	AB-10 (学) 東京理科大学	AB-26 ネオアーク(株)	AB-42 第92回日本生化学会大会	AB-57 日研サテ(株)
C-11 (国研) 量子科学技術研究開発機構	AB-11 (株)堀場製作所	AB-27 (株)堀場製作所	AB-43 (一社) 再生医療イノベーション フォーラム	AB-58 日本老化制御研究所
C-12 (株)HERO	AB-12 (株)堀場製作所	AB-28 (株)堀場製作所		AB-59 (株)Jksak Bioengineering
C-13 (株)エマージングテクノロジーズ				
C-14 (株)エンテックス				
C-15 (株)NeU				
C-16 (株)NeU				



**[HALL 8] インターナショナル
オーガナイゼーションエリア**

I-1 ニュージランド 商務部
I-2 Thailand Institute of Scientific and Technological Research (TISTR)
I-3 Hong Kong Biotechnology Organization

US/パビリオン

IU-1 米国大使館 商務部
IU-2 アイオワ州経済開発機構
IU-3 オレゴン州政府 駐日代表部
IU-4 ノースカロライナ州政府 日本事務所
IU-5 ペンシルベニア州政府 日本投資事務所
IU-6 PITTCOIN
IU-7 タイタンテクノロジーズ(株)

(独)中小企業基盤整備機構
中小企業のための海外展開相談コーナー

[HALL 8] 学協会コーナー

A-1 (一社) 日本環境測定分析協会
A-2 (一社) 東京環境経営研究所
A-3 (特非) 分析産業人ネット
A-4 (一財) 放射線利用振興協会
A-5 (公社) 日本分析化学会
A-6 (公社) 日本分光学会

[HALL 8] 研究機関コーナー

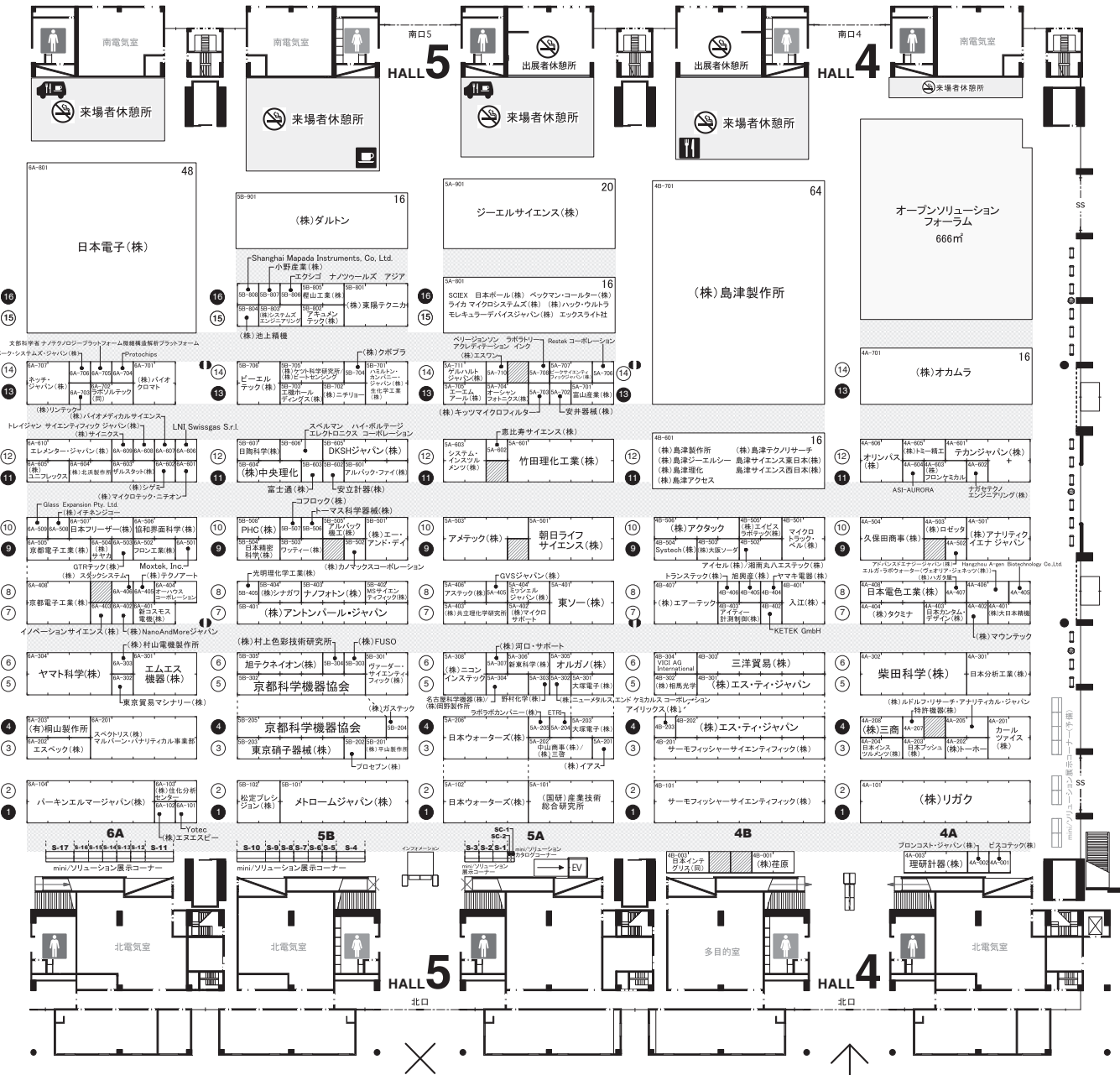
R-1 (一財) 化学物質評価研究機構 化学標準部 (国研) 産業技術総合研究所 計量標準総合センター(NMIJ)
R-2 (独) 製品評価技術基盤機構 認定センター
R-3 千葉大学共用機器センター+千葉ヨウ素資源イノベーションセンター
R-4 国立大学法人 東京農工大学
R-5 青森県量子科学センター
R-6 国立大学法人 弘前大学
R-7 神奈川大学 理学部 化学科 西本研究室
R-8 (国研) 神戸大学 木村建次郎研究室
R-9 (独) 国立高等学校専門学校 茨城工業高等専門学校 国際創造工学科 電気・電子系 若松研究室

[HALL 7] メディア&プレスコーナー

M-1 丸善出版(株)
M-2 (株)科学新聞社
M-3 日本工業出版(株)
M-4 (株)化学工業日報社
M-5 エクリプス ビジネスメディア
M-6 (株)デジタルデータマネジメント
M-7 (株)日刊工業出版プロダクション
M-8 instrument.com.cn
M-9 (株)オプトロニクス社
M-10 Lab Asia
M-11
M-12 (株)明報社

AB-62	(公財)木原記念横浜生命科学振興財団
AB-63	(株)フォーデックス
AB-64	(株)フォーデックス
AB-65	エムエス・ソリューションズ(株)
AB-66	エーエムアール(株)
AB-67	Biocosm(株)
AB-68	(株)HQC TOKYO
AB-69	
AB-70	
AB-71	
AB-72	

- ドリンク
- 弁当(11:00~売り切れまで)
- ランチカー



[HALL 5・6] mini/ソリューション展示コーナー

S-1	(株)エキシマ
S-2	エレコン科学(株)
S-3	(一財)三重県環境保全事業団
S-4	(株)アド・サイエンス
S-5	(株)ユニオン
S-6	スペクトラクエスト・ラボ(株)
S-7	輝達商事(株)
S-8	コニカミノルタ(株)
S-9	ブロードコム
S-10	京セラ(株)
S-11	フィルジェン(株)
S-12	(株)ユニフローズ
S-13	応用光研工業(株)
S-14	東京ダイレック(株)
S-15	ノイベルク(有)

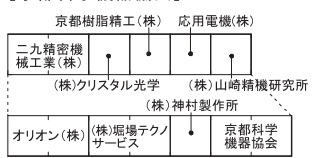
[HALL 5] mini/Solutionカタログコーナー

S-16	(株)ベテル
S-17	QMAIL
S-18	構造解析連携協議会
S-19	(株)アイニス
S-20	ワイリー・パブリッシング・ジャパン(株)
S-21	(株)東京エム・アイ商会
SC-1	トウプラスエンジニアリング(株)
SC-2	(株)MSAファクトリー

[HALL 7・8] mini/ソリューション展示コーナー

S-22	(株)カナカテクノリサーチ
S-23	日本ビジュアルサイエンス(株)
S-24	(株)テクロム
S-25	Clippard Instrument Laboratory Inc.
S-26	GC INSTRUMENTS
S-27	(株)パイオネット研究所
S-28	日科機バイオス(株)
S-29	(株)フィジックステクノロジー
S-30	サンテック(株)
S-31	日本アッシュ(株)
S-32	(株)分光科学研究所
S-33	ヘキサエンジニアリング(株)
S-34	(株)C&Vテクニクス
S-35	TDK(株)
S-36	(株)ゼッタシス

[京都科学機器協会]



9. 出展社一覧

■一般展示

(株) アイシス	6B-508	エクシゴ ナノツールズ アジア	5B-806
アイセル (株)	4B-502	(株) エステーエム	7A-403
アイティー計測制御 (株)	4B-403	(株) エス・ティ・ジャパン	4B-202、4B-301
アイネクス (株)	7B-703	エスペック (株)	6A-202
アイリックス (株)	4B-203	エスペックミック (株)	6B-402
アキュメンテック (株)	5B-802	(株) エスワン	5A-710
(株) アクタック	4B-506	エックスライト社	5A-801
旭興産 (株)	4B-405	エッペンドルフ (株)	6B-701
旭テクネイオン (株)	5B-305	ETRI	5A-204
朝日ライフサイエンス (株)	5A-501	(株) エヌエスピー	6A-102
(株) 朝日ラボ交易	7B-309	(株) 荏原	4B-001
アジレント・テクノロジー (株)	7B-801	恵比寿サイエンス (株)	5A-602
アステック (株)	5A-406	MSH システムズ (株)	6B-405
アズワン (株)	7B-601	エムエス機器 (株)	6A-301
(株) アタゴ	6B-603	MS サイエнтиフィック (株)	5B-402
アドバンスドエナジージャパン (株)	4A-502	(株) エリオニクス	7B-301
(株) アドバンテスト	7B-605	LNI Swissgas S.r.l.	6A-606
アドバンテック東洋 (株)	7A-101	(株) エル・エム・エス	7B-204
analytica - メッセ・ミュンヘン	7A-303	エルガ・ラボウォーター (ヴェオリア・ジエネッツ (株))	4A-406
(株) アナリティクイエナ ジャパン	4A-501	エレクター (株)	8A-204
アメテック (株)	5A-503	エレメンター・ジャパン (株)	6A-610
アラム (株)	6B-404	Elemental Scientific, Inc.	6B-406
アルバック機工 (株)	5B-505	応用電機 (株)	5B-205、5B-302
アルバック・ファイ (株)	5B-601	(株) 大阪ソーダ	4B-503
アルファ・モス・ジャパン (株)	7A-604	オーシャンフォトニクス (株)	5A-704
アワーズテック (株)	6B-602	大塚電子 (株)	5A-203、5A-301
(株) アントンパール・ジャパン	5B-401	(株) 大菜技研	7B-203
安立計器 (株)	5B-602	(株) 岡野製作所	5A-304
(株) イアス	5A-201	(株) オカムラ	4A-701
ionBench	8A-202	オックスフォード・インストゥルメンツ (株)	8A-601
イカ・ジャパン (株)	7B-606	小野産業 (株)	5B-807
(株) 池上精機	5B-804	オーハウス コーポレーション	6A-404
(株) 池田理化	8A-302	オリオン (株)	5B-205、5B-302
(株) イチネンジコー	6A-508	オリンパス (株)	4A-606
イノベーションサイエンス (株)	6A-403	オルガノ (株)	5A-305
(株) イマハシ製作所	7A-302	カールツァイス (株)	4A-201
入江 (株)	4B-401	(一財) 化学物質評価研究機構	8A-203
インフィコン (株)	7A-504	檜山工業 (株)	5B-805
ヴァーダー・サイエンティフィック (株)	5B-301	(株) ガステック	5B-204
(株) ウエルコ	8A-604	(株) カノマックスコーポレーション	5B-502
(株) 宇部情報システム	7A-605	(株) 神村製作所	5B-205、5B-302
(株) エアーテック	4B-407	(株) 河口・サポート	5A-307
英弘精機 (株)	8A-701	関東化学 (株)	8A-301
(株) HER	7B-604	(株) 北浜製作所	6A-604
(株) エイビス	4B-505	(株) キッツマイクロフィルター	5A-703
(株) エー・アンド・デイ	5B-501	(株) キャニオン	8A-403
エーエムアール (株)	5A-705	京都科学機器協会	5B-205、5B-302
ASI-AURORA	4A-604	京都樹脂精工 (株)	5B-205、5B-302
		京都電子工業 (株)	6A-408、6A-505

(株) 共立理化学研究所	5A-403	(株) 島津理化	4B-601
協和界面科学 (株)	6A-506	ジャスコインタナショナル (株)	6B-101、6B-201、6B-301
(有) 桐山製作所	6A-203	ジャパンハイテック (株)	8A-406
久保田商事 (株)	4A-504	ジャパンマシナリー (株)	7A-606
(株) クボプラ	5B-704	Shanghai Mapada Instruments, Co, Ltd.	5B-808
Glass Expansion Pty. Ltd.	6A-509	昭光サイエンス (株)	8A-409
(株) クリスタル光学	5B-205、5B-302	湘南丸ハエステック (株)	4B-502
(株) クロマニックテクノロジーズ	6B-505	昭和オプトロニクス (株)	6B-604
(株) ケー・エヌ・エフ・ジャパン	7A-404	昭和電工 (株)	8A-504
グステル (株)	7B-701	新コスモス電機 (株)	6A-401
(株) ケツト科学研究所	5B-705	新東科学 (株)	5A-306
KETEK GmbH	4B-402	(株) スタックシステム	6A-406
ケニス (株)	6B-504	(株) スペクトラ・コープ	6B-306
ゲルハルトジャパン (株)	5A-711	スペクトリス (株)	
工機ホールディングス (株)	5B-703	マルバーン・パナリティカル事業部	6A-201
光明理化学工業 (株)	5B-405	スペルマン ハイ・ボルテージ	
(株) コクゴ	7B-401	エレクトロニクス コーポレーション	5B-606
コフロック (株)	5B-507	(株) 住化分析センター	6A-103
サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)	4B-101、4B-201	生化学工業 (株)	5B-701
サイエックス	5A-801	西進商事 (株)	7B-202
(株) サイテック	7B-206	セントラル科学 (株)	6B-302
(株) サイニクス	6A-609	(株) セントラル科学貿易	8A-404
(株) 佐久間製作所	6B-408	(株) 相馬光学	4B-302
佐竹化学機械工業 (株)	6B-503	耐圧硝子工業 (株)	7B-306
(株) 佐藤計量器製作所	7A-702	大起理化学工業 (株)	7B-402
佐藤真空 (株)	7B-403	タイテック (株)	7B-307
(株) サヤカ	6A-504	(株) 大日本精機	4A-401
ザルスタット (株)	6A-603	大陽日酸 (株)	7A-602
ザルトリウス・ジャパン (株)	7B-308	(株) 大和テクノシステムズ	7B-302
(株) サンコウ電子研究所	6B-706	(株) タクミナ	4A-404
(株) 三商	4A-208	竹田理化学工業 (株)	5A-601
三洋貿易 (株)	4B-303	田中科学機器製作 (株)	7A-701
CEM Japan (株)	8A-606	タナカ・トレーディング (株)	8A-602
GE ヘルスケア・ジャパン (株)	8A-408	(株) ダルトン	5B-901
ジエールサイエンス (株)	5A-901	(株) チノー	6B-702
GTR テック (株)	6A-503	(株) 中央理化	5B-604
GVS ジャパン (株)	5A-405	DKSH ジャパン (株)	5B-605
JFE テクノリサーチ (株)	7B-706	T H K (株)	7A-301
(株) ジェイ・サイエンス・ラボ	6B-605	(株) 汀線科学研究所	7B-305
ジェー・イー・ウーラム・ジャパン (株)	7B-304	テカンジャパン (株)	4A-601
シエンタ オミクロン (株)	6B-506	(株) テクノアート	6A-405
(株) シゲミ	6A-602	(株) テクメイション	7A-402
Systech (株)	4B-504	DIGITAL SURF	7B-704
システム・インスツルメンツ (株)	5A-603	デンケン・ハイデンタル (株)	8A-503
(株) システムズエンジニアリング	5B-803	東亜ディーケーケー (株)	6B-601
(株) シナガワ	5B-404	東機産業 (株)	7B-303
篠原電機 (株)	7A-505	(株) 東京インスツルメンツ	7A-409、7A-503
柴田科学 (株)	4A-302	東京硝子器械 (株)	5B-203
(株) 島津アクセス	4B-601	東京貿易マシナリー (株)	6A-302
島津サイエンス西日本 (株)	4B-601	東京理化学器械 (株)	7A-305
島津サイエンス東日本 (株)	4B-601	東ソー (株)	5A-401
(株) 島津ジーエルシー	4B-601	(株) 東陽テクニカ	5B-801
(株) 島津製作所	4B-601、4B-701	トーマス科学器械 (株)	5B-506
(株) 島津テクノリサーチ	4B-601	トスク (株)	6B-502

特許機器 (株)	4A-207	ハルツォク・ジャパン (株)	7A-601
(株) トーホー	4A-202	(株) パルメソ	6B-303
(株) トミー精工	4A-605	Hangzhou A-gen Biotechnology Co.,Ltd.	4A-405
(株) トムシツク	6B-305	PHC (株)	5B-508
富山産業 (株)	5A-701	ビー・イー・エス (株)	6B-507
トランステック (株)	4B-406	ビーエルテック (株)	5B-706
トレイジャン サイエнтиフィック ジャパン (株)	6A-608	ピークサイエнтиフィックジャパン (株)	5A-707
ナガセテクノエンジニアリング (株)	4A-602	WITec (株)	6B-704
中村科学器械工業 (株)	8A-402	(株) ビートセンシング	5B-705
中山商事 (株) / (株) 三啓	5A-202	ビスコテック (株)	4A-001
長良サイエンス (株)	8A-205	(株) 日立ハイテックサイエンス	8A-801
名古屋科学機器 (株)	5A-304	(株) 日立ハイテクノロジーズ	8A-702、8A-801
(株) NanoAndMore ジャパン	6A-402	平沼産業 (株)	8A-801
ナノフォトン (株)	5B-403	(株) 平山製作所	5B-201
(株) ニコンインステック	5A-308	VICI AG International	4B-304
西川計測 (株)	7B-705	福島工業 (株)	7B-603
(株) ニチリョー	5B-702	(株) フジキン	7A-401
日陶科学 (株)	5B-607	富士通 (株)	5B-603
日邦プレジジョン (株)	8A-405	(株) FUSO	5B-303
日本インスツルメンツ (株)	4A-204	二九精密機械工業 (株)	5B-205、5B-302
日本製紙クレシア (株)	7B-702	(国研) 物質・材料研究機構	8A-603
日本ブッシュ (株)	4A-203	ブルカー・ジャパン (株)	8A-101、8A-201
日本インテグリス (同)	4B-003	プロセブン (株)	5B-202
日本ウォーターズ (株)	5A-102、5A-206	Protochips	6A-704
日本カンタム・デザイン (株)	4A-403	(株) フロンケミカル	4A-603
(国研) 日本原子力研究開発機構	8A-501	フロン工業 (株)	6A-502
(株) 日本サーマル・コンサルティング	6B-403	ブロンコスト・ジャパン (株)	4A-002
日本精密科学 (株)	5B-504	北京凌工科技有限公司	7A-703
日本電子 (株)	6A-801	ベックマン・コールター (株)	5A-801
日本電色工業 (株)	4A-408	ペリージョンソン ラボラトリー	
日本電波工業 (株)	7B-602	アクレディテーション インク	5A-708
日本ビュッヒ (株)	7A-603	ヘレウス (株)	8A-407
日本フリーザー (株)	6A-507	北海道大学グローバルファシリティセンター	8A-506
日本分光 (株)	6B-101、6B-201、6B-301	(株) 堀場アドバンスドテクノ	7B-101、7B-201
日本分析工業 (株)	4A-301	(株) 堀場製作所	7B-101、7B-201
日本ポール (株)	5A-801	(株) 堀場エステック	7B-101、7B-201
(株) ニューメタルス エンド ケミカルス		(株) 堀場テクノサービス	5B-205、5B-302
コーポレーション	5A-302	(株) マイクロエミッション	6B-707
ネッチ・ジャパン (株)	6A-707	(株) マイクロサポート	5A-402
野村化学 (株)	5A-303	(株) マイクロテック・ニチオン	6A-601
(株) パーキンエルマー・ジャパン	6A-104	マイクロトラック・ベル (株)	4B-501
(株) バイオクロマト	6A-701	マイルストーンゼネラル (株)	6B-401
バイオタージ・ジャパン (株)	6B-407	(株) マウンテック	4A-402
(株) バイオメディカルサイエンス	6A-607	マックエンジニアリング (株)	7A-405
Bio-Rad Laboratories, Inc., Informatics Division		松定プレジジョン (株)	5B-102
	6B-304	(株) マルエム	8A-401
(株) ハガタ屋	4A-407	ミッシェルジャパン (株)	5A-404
(株) バキューブランド サイエнтиフィック ジャパン	7A-506	(株) 三菱ケミカルアナリテック	7A-202
		(株) ミトリカ	8A-605
パーク・システムズ・ジャパン (株)	6A-706	武蔵エンジニアリング (株)	6B-501
伯東 (株)	7A-704	(株) 村上色彩技術研究所	5B-304
(株) ハック・ウルトラ	5A-801	(株) 村山電機製作所	6A-303
浜松ホトニクス (株)	8A-206	メイワフォーシス (株)	8A-703
ハミルトン・カンパニー・ジャパン (株)	5B-701	メトロームジャパン (株)	5B-101
ハリオサイエンス (株)	7A-304	メルク (株)	7A-707

Moxtek, Inc.	6A-501	構造解析連携協議会	S-18
モレキュラーデバイスジャパン (株)	5A-801	コニカミノルタ (株)	S-8
文部科学省 共用事業	8A-505	サンテック (株)	S-30
文部科学省 ナノテクノロジープラットフォーム		(株) C & V テクニクス	S-34
微細構造解析プラットフォーム	6A-705	GC INSTRUMENTS	S-26
安井器械 (株)	5A-702	スペクトラ・クエスト・ラボ (株)	S-6
矢部川電気工業 (株)	7A-407	(株) ゼッタシス	S-36
ヤマキ電器 (株)	4B-404	TDK (株)	S-35
(株) 山崎精機研究所	5B-205、5B-302	(株) テフロム	S-24
ヤマト科学 (株)	6A-304	輝達商事 (株)	S-7
(株) ヤヨイ	7A-705	(株) 東京エム・アイ商会	S-21
(株) ユニフレックス	6A-605	東京ダイレック (株)	S-14
ユラボジャパン (株)	7A-507	トウプラスエンジニアリング (株)	S C -1
Yotec	6A-101	日科機バイオス (株)	S-28
ライカ マイクロシステムズ (株)	5A-801	日本アッシュ (株)	S-31
ラボソルテック (同)	6A-702	日本ビジュアルサイエンス (株)	S-23
ラボテック (株)	4B-505	ノイベルク (有)	S-15
ラボラボカンパニー (株)	5A-205	(株) バイオネット研究所	S-27
(株) リガク	4A-101	(株) フィジックステクノロジー	S-29
理研計器 (株)	4A-003	フィルジェン (株)	S-11
(株) リンテック	6A-703	ブロードコム	S-9
(株) ルドルフ・リサーチ・アナリティカル・ジャパン	4A-205	(株) 分光科学研究所	S-32
		ヘキサエンジニアリング (株)	S-33
レオナ (株)	7A-507	(株) ベテル	S-16
LECO ジャパン (同)	7A-406、7A-501	(一財) 三重県環境保全事業団	S-3
Restek コーポレーション	5A-706	(株) ユニオン	S-5
レニショー (株)	6B-703	(株) ユニフローズ	S-12
RephiLe Bioscience, Ltd.	8A-507	ワイリー・パブリッシング・ジャパン (株)	S-20
(株) ロゼッタ	4A-503		
(株) ワイエムシィ	7A-201		
ワッティ (株)	5B-503		

■ JST ブース

(国研) 科学技術振興機構 (JST) 7B-404、7B-501

■ 産総研ブース

(国研) 産業技術総合研究所 5A-101

■ mini/ ソリューション展示コーナー

(株) アイシス S-19
(株) アド・サイエンス S-4
(株) エキシマ S-1
(株) M S A ファクトリー S C -2
エレコン科学 (株) S-2
応用光研工業 (株) S-13
(株) カネカテクノリサーチ S-22
QMAIL S-17
京セラ (株) S-10
Clippard Instrument Laboratory Inc. S-25

■ ライフサイエンスイノベーションゾーン

ifia/HFE JAPAN2020 国際食品素材 /
添加物展・会議 / ヘルスフードエキスポ AB-53
(株) 朝日ラバー AB-25
(株) ASICON AB-17、AB-18
(株) アプリオリ AB-54
(株) アプロサイエンス AB-51、AB-52
医化学創薬 (株) AB-27、AB-28
いわき商工 AB-7、AB-8
英弘精機 (株) AB-12
(株) HQC TOKYO AB-68
エーエムアール (株) AB-66
NOK (株) C-8
N T サイエンス (同) AB-1、AB-2
(株) エマージングテクノロジーズ C-13
エムエス・ソリューションズ (株) AB-65
(株) エムエステクノシステムズ C-10
(株) エル・イー・テクノロジーズ C-5
(株) エンテックス C-14
(株) オプティマ C-4
(公財) 木原記念横浜生命科学振興財団 AB-62
(株) 協同インターナショナル AB-19
旭栄研磨加工 (株) AB-9
金陵電機 (株) AB-21、AB-22

(株) クオリティデザイン	AB-69
(特非) 研究実験施設・環境安全教育研究会	AB-33、AB-34
(一社) 再生医療イノベーションフォーラム	AB-47
(株) Jiksak Bioengineering	AB-61
(株) システム計画研究所	AB-37、AB-38
シチズンファインデバイス (株)	AB-29、AB-30
(株) じほう	AB-39
(株) 島津製作所	AB-10
昭和電工 (株)	AB-20
創薬のひろば	AB-59
(株) テクノスルガ・ラボ	C-2
東亜ディーケーケー (株)	AB-11
(学) 東京理科大学	AB-13、AB-14
(株) ナード研究所	AB-3
日研ザイル (株) 日本老化制御研究所	AB-60
(一社) 日本再生医療学会	AB-48
第92回日本生化学会大会	AB-46
(公社) 日本生物工学会	AB-45
日本電子 (株)	AB-4
(一社) 日本臨床検査機器・ 試薬・システム振興協会 (JACLaS)	AB-41、AB-42
(一社) 日本臨床検査薬協会	AB-49、AB-50
(株) NeU	C-15、C-16
ニュー・イングランド・バイオラボ・ジャパン (株)	AB-57、AB-58
ネオアーク (株)	AB-31、AB-32
ノーザンサイエンスコンサルティング (株)	AB-23、AB-24
(特非) バイオ計測技術コンソーシアム	C-9
Biocosm (株)	AB-67
BioJapan / 再生医療 JAPAN 2019	AB-55、AB-56
(株) 花市電子顕微鏡技術研究所	AB-40
(株) HERO	C-12
(株) 日立ハイテクノロジーズ	C-1
BD コンサルティング (同)	AB-43、AB-44
(株) フォーディクス	AB-63、AB-64
(株) ブラスト	AB-5、AB-6
(株) 堀場製作所	AB-15、AB-16
みんなの試作広場	AB-71、AB-72
ムロオカ産業 (株)	AB-35、AB-36
メディカテック (株)	C-3
(国研) 理化学研究所	C-6
(株) リコー	C-7
(国研) 量子科学技術研究開発機構	C-11

■研究機関コーナー

青森県量子科学センター	R-5
(独) 国立高等専門学校機構 茨城工業高等専門学校 若松研究室	R-9
(一財) 化学物質評価研究機構 化学標準部	R-1
神奈川大学 理学部 化学科 西本研究室	R-7
神戸大学 木村建次郎研究室	R-8

(国研) 産業技術総合研究所 計量標準総合センター (NMIJ)	R-1
(独) 製品評価技術基盤機構 認定センター 千葉大学共用機器センター + 千葉ヨウ素資源イノベーションセンター	R-2
(大) 東京農工大学	R-3
(大) 弘前大学	R-4

■学協会コーナー

(一社) 東京環境経営研究所	A-2
(一社) 日本環境測定分析協会	A-1
(公社) 日本分光学会	A-6
(公社) 日本分析化学会	A-5
(特非) 分析産業人ネット	A-3
(一財) 放射線利用振興協会	A-4

■メディア&プレスコーナー

instrument.com.cn	M-8
エクリップス ビジネスメディア	M-5
(株) オプトロニクス社	M-9
(株) 化学工業日報社	M-4
(株) 科学新聞社	M-2
(株) デジタルデータマネジメント	M-6
(株) 日刊工業出版プロダクション	M-7
日本工業出版 (株)	M-3
丸善出版 (株)	M-1
(株) 明報社	M-12
Lab Asia	M-10

■インターナショナルオーガナイゼーションコーナー

Thailand Institute of Scientific and Technological Research (TISTR)	I-2
ニュージーランド大使館 商務部	I-1
Hong Kong Biotechnology Organization	I-3

■US パビリオン

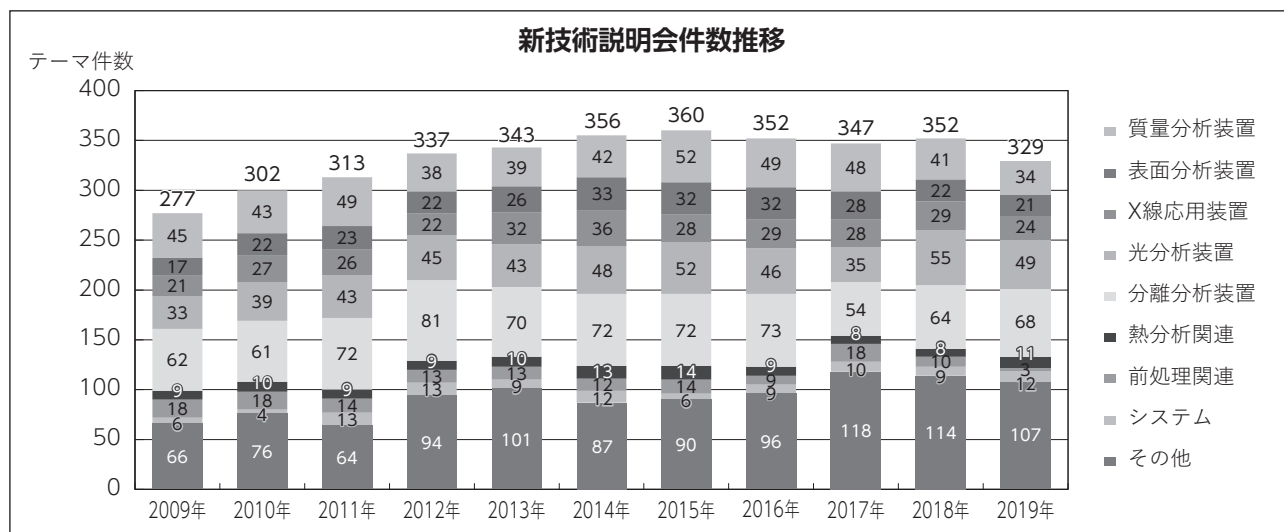
アイオワ州経済開発機構	IU-2
米国オレゴン州政府駐日代表部	IU-3
タイタンテクノロジーズ (株)	IU-7
ノースカロライナ州政府 日本事務所	IU-4
PITTCON	IU-6
米国大使館 商務部	IU-1
ペンシルベニア州政府 日本投資事務所	IU-5

10. 新技術説明会

新技術説明会は、JASIS 出展社によるプレゼンテーション計 300 タイトル以上の集合体であり、延べ聴講者数は約 16,000 人となっている。「分析ソリューション」の提供、すなわち製品の展示を補完するという点で、ユーザーにとって極めて重要な情報源である。例えば、分析に関する機器や操作の基礎からノウハウに至るまで、機器分析・理化学機器にかかわる様々な情報提供の場として展示会を支えており、それが JASIS 全体の集客の大きな原動力になっている。

2019 年の発表テーマ件数は 329 件（昨年 352 件）。会場は、アパホテル&リゾート<東京ベイ幕張> 11 室とホテルニューオータニ幕張 4 室（最終日は 3 室）を使用。講演時間は例年通り 25 分と 50 分枠の 2 種。

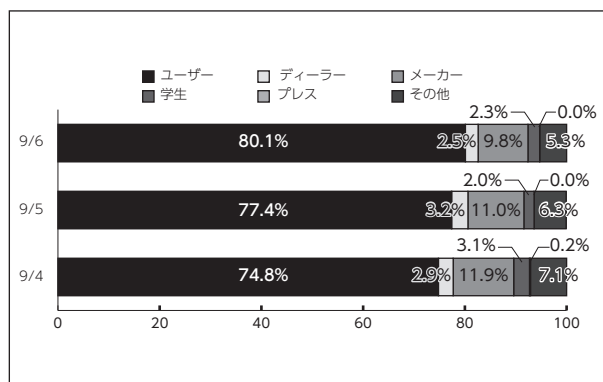
テーマを機種別分類で見ると、「その他」が最も多く 107 件 33%（昨年 114 件 32%）、次いで「分離分析」68 件 21%（昨年 64 件 18%）、「光分析」49 件 15%（昨年 55 件 16%）、「質量分析」34 件 10%（昨年 41 件 12%）という順であった。「その他」が最も多くなっているのは、これまでと同じ傾向であるが、昨年比では、これまで増加傾向であった「その他」「光分析」は減少し、「分離分析」が微増となった。



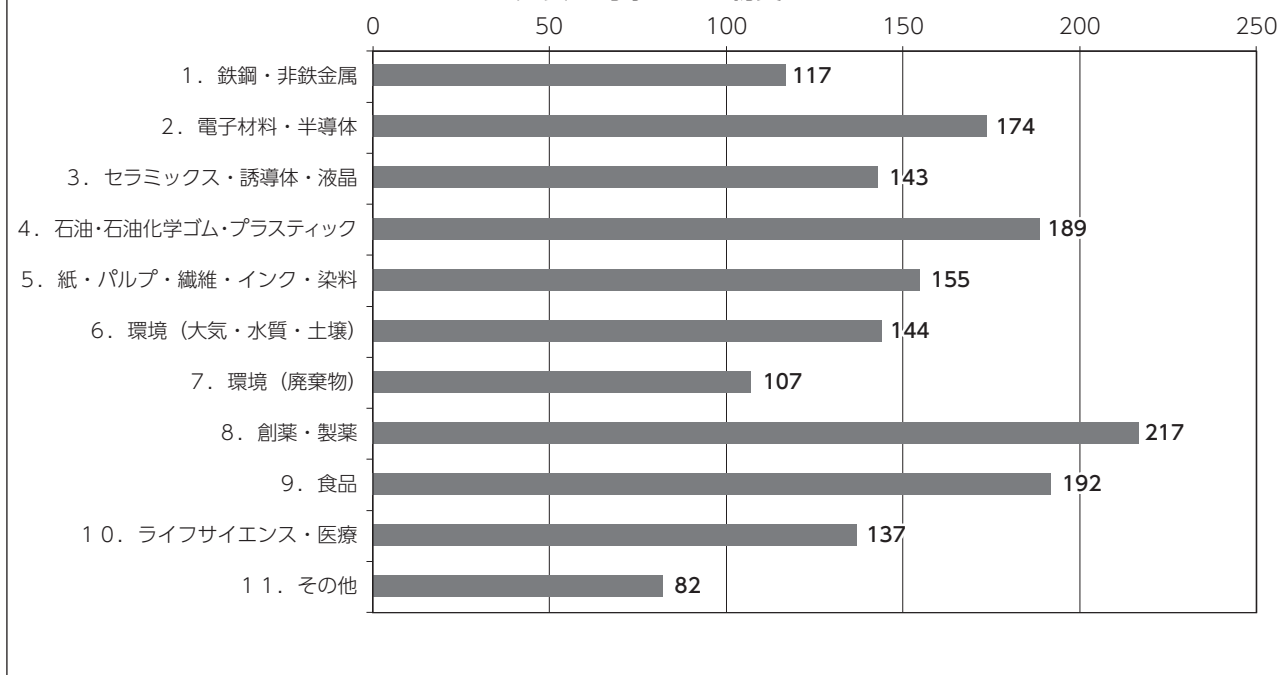
新技術説明会聴講者層（日別重複なし）

区分	区分名	9月4日	9月5日	9月6日
1	ユーザー	1,596	1,927	2,059
2	ディーラー	61	79	65
3	メーカー	255	275	252
4	学生	66	49	58
5	プレス	5	1	0
6	その他	151	158	137
	総計	2,134	2,489	2,571

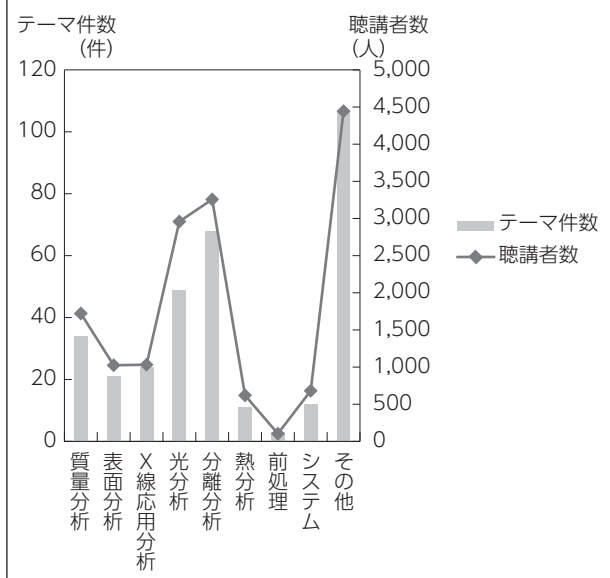
※ユーザー層が約 80% と圧倒的に多い。



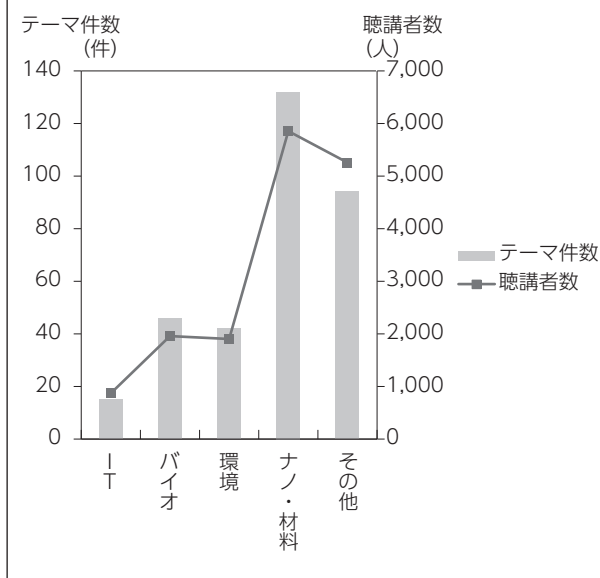
発表の対象となる物質



機種別テーマ件数と聴講者数



分野別テーマ件数と聴講者数



新技術説明会開催規模・延べ聴講者数等

	JASIS 2019	JASIS 2018	JASIS 2017
9月4日(水)(1日目)	5,160名/108テーマ	4,758名/115テーマ	4,511名/113テーマ
9月5日(木)(2日目)	5,372名/115テーマ	5,263名/114テーマ	5,583名/116テーマ
9月6日(金)(3日目)	5,312名/106テーマ	5,996名/123テーマ	5,907名/118テーマ
合計	15,844名/329テーマ	16,017名/352テーマ	16,001名/347テーマ
平均聴講者数	48.2名	45.5名	46.1名
内訳(会員)	299	318	303
(会員外)	30	34	44
テーマ数合計	329	352	347
内同時通訳テーマ数	1	4	4

新技術説明会プログラム

9月4日(水)

部屋番号 (A: アパホテル<東京ベイ幕張> N: ホテルニューオータニ幕張)

部屋番号	時間	テーマ	出展社名	言語
A-1	10:25~11:15	1mN/m以下の超低界面張力から通常の界面張力までを高精度に測定可能な最新のスピニングドロップ式界面張力計SDTのご紹介	三洋貿易(株)	日
A-1	11:30~12:20	LC-MSの導入を検討中の方必見! LC-MS、MS/MSのメリットとトラブルシューティング講座	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	日
A-1	12:35~13:25	☆見る♪撮る♪測る♪簡単に♪☆新型汎用SEMのご紹介	(株)日立ハイテクノロジー	日
A-1	13:40~14:30	HPLCによる材料・不純物分析に求められる生産性~最新手法が実現する定量性と高速化~	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	日
A-1	14:45~15:10	ペプチド・タンパク吸着問題解決! 新製品 QuanRecovery バイアル&プレート	日本ウォーターズ(株)	日
A-1	15:25~15:50	【AFM】高速でこんなに簡単になった! \\ \\ \\ バイオ AFMによる測定最前線! // //	ブルカー・ジャパン(株)	日
A-1	16:05~16:30	わずか1秒! 独自技術を用いた接触角と表面自由エネルギーによる濡れ性評価法	三洋貿易(株)	日
A-2	10:25~11:15	流体計測・制御技術を追求める堀場エステックの流量標準確立-ISO/IEC 17025 認定取得による気体流量の高精度化・信頼性向上-	(株)堀場エステック	日
A-2	11:30~12:20	水質測定基礎セミナー ~ pH、ORP、電気伝導率、DO 測定の基礎とJP17 改正対応について~	東亜ディーケーケー(株)	日
A-2	12:35~13:25	あなたの pH メータは大丈夫? データインテグリティを確保するための水質計と管理方法のご提案	(株)堀場アドバンスドテクノ	日
A-2	13:40~14:30	【初心者にも最適! いまさら聞けない!】粒子径・形状評価技術の基礎と応用: 悩ましい「解析」と「手法選択」へのアドバイス	スペクトリス(株) マルバーン・パナリティカル事業部	日
A-2	14:45~15:10	簡単にできる!! におい分析~ GC/MS を用いて~	(株)パーキンエルマー・ジャパン	日
A-2	15:25~15:50	分取 LC を活用しよう! (ポリマー・天然物・糖鎖) ~ リサイクル分取 HPLC 入門編~	日本分析工業(株)	日
A-2	16:05~16:30	究極のクライオ電顕ワークフロー: クライオ専用 FIB-SEM が切り取るダイナミックな世界	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	日
A-3	10:25~11:15	ここでしか聞けないカラムの初耳学(真実): 同じ逆相カラムで保持が違うその理由~ C18、C8、C30 はどう違う~	(株)クロマニックテクノロジー	日
A-3	11:30~12:20	分光技術 200 年のノウハウを結集! "表面分析の困った"を解決する HORIBA 技術のご紹介	(株)堀場製作所	日
A-3	12:35~13:25	高分解能質量分析計(HRMS)で分子式を決定できていますか? 大量データに翻弄されないための脱初心者講座	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	日
A-3	13:40~14:30	高砂熱学工業が提案する環境負荷低減技術: 高速 VAV システム	ヤマト科学(株)	日
A-3	14:45~15:10	材料評価のカギを握る熱分析の事例紹介	(株)島津製作所	日
A-3	15:25~15:50	卓上型 NMR を FT-IR と組み合わせるとパワーアップ! 有機分析をより身近に簡単に	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	日
A-3	16:05~16:30	NMR のデータ処理の新しいコンセプト - データから定量値テーブルへの直接変換 -	日本電子(株)	日
A-4	10:25~11:15	バルブシステムによる ICP-MS、ICP-OES 測定のスループット向上、LC-ICP-MS でのクロム形態別分析の最新情報	アジレント・テクノロジー(株)	日
A-4	11:30~12:20	溶媒抽出をより手軽に! 自動高速溶媒抽出システム EDGE の多彩なアプリケーション例やマイクロ波を用いた分析前処理装置のご紹介	CEM Japan(株)	日
A-4	12:35~13:25	酸分解ならマイクロウェーブと加圧密閉容器	(株)アントンパール・ジャパン	日
A-4	13:40~14:30	ガス・水蒸気・VOC・液体のバリア性透過度測定方法のご紹介!	GTR テック(株)	日
A-4	14:45~15:10	Milli-Q 使用の 10 のコツ。試験結果をコミットする上手な超純水の使い方(入門編)	メルク(株)	日
A-4	15:25~15:50	ラボ装置でできる! PDF 解析の基礎とノウハウ	(株)リガク	日
A-4	16:05~16:30	あなたの分析を進化させる! 最先端のレーザーラマン顕微鏡	ナノフォトン(株)	日
A-5	10:25~11:15	滴定の基礎と、新時代滴定装置 OMNIS を用いた自動化や省力化への対応	メトロームジャパン(株)	日
A-5	11:30~12:20	表面張力計を用いた新たな液体膜(泡膜)持続性評価方法 ~ コーティングの塗膜品質評価への応用の可能性 ~	協和界面科学(株)	日
A-5	12:35~13:25	誰も教えてくれなかったイオンクロマトグラフィの基礎 その 2 - 先輩も教えてくれなかった秘密のノウハウ	メトロームジャパン(株)	日
A-5	13:40~14:30	材料の発生ガス分析の問題を全て解決! 島津のノウハウを集結した発生ガス分析の最適なソリューション。	(株)島津製作所	日
A-5	14:45~15:10	近未来における最新実験台システムのご提案	ヤマト科学(株)	日
A-5	15:25~15:50	どのバイアルを使えばいいの? その疑問にお答えします!!	(株)島津製作所	日
A-5	16:05~16:30	プロのノウハウ教えます! 品質管理の現場で役立つ蛍光 X 線分析のコツとテクニック	(株)日立ハイテクサイエンス	日

部屋番号	時間	テーマ	出展社名	言語
A-6	10:25~11:15	明日から活かせるテクニック！ 原子吸光分析法／ICP 発光分光分析法の基礎から測定・解析までのノウハウ	サーモフィッシャーサイエンティフィック（株）	日
A-6	11:30~12:20	GC の最新機能を一挙公開！時短・生産性向上のノウハウや高感度分析の実例紹介	(株) 島津製作所	日
A-6	12:35~13:25	必ず分析精度が向上する ◆マイクロピペットの基本テクニック◆ 2019	ジーエルサイエンス（株）	日
A-6	13:40~14:30	意外と知らない！？理化学用ガラス器具の正しい知識と取り扱い	柴田科学（株）	日
A-6	14:45~15:10	【FTIR・ラマン】測定・解析のイロハ～依頼分析から紐解くケーススタディー II ～	日本分光（株）	日
A-6	15:25~15:50	必見！陽電子消滅法を活用した高分子・金属材料のサブナノサイズ微小空隙評価事例！	(株) 池田理化	日
A-6	16:05~16:30	LCMS における AI を用いた波形処理技術のご紹介	(株) 島津製作所	日
A-7	10:25~11:15	基礎がわかれば楽しくなる GC 分析！効率化のためのテクニックもご紹介。	ジーエルサイエンス（株）	日
A-7	11:30~12:20	【AFM】実はこんなに簡単！原子間力顕微鏡基礎と実践テクニック～測定モード・パラメータ・プローブの選択メソッド～	ブルカージャパン（株）	日
A-7	12:35~13:25	全固体電池材料の大気非暴露下における粒子径・形状・BET・細孔分布評価手法のご提案	マイクロトラック・ベル（株）	日
A-7	13:40~14:30	光熱誘起共鳴検出法によるナノスケール赤外分光分析法（スペクトルとイメージ）	(株) 日本サーマル・コンサルティング	日
A-7	14:45~15:10	少量ディスプレイポータブルタイプ高濃度粒子径分布測定装置のご紹介	三洋貿易（株）	日
A-7	15:25~15:50	プロのノウハウ教えます！原子吸光の測定結果を自信をもって出すために	(株) 日立ハイテクサイエンス	日
A-7	16:05~16:30	UV 吸収のない物質の分取にお悩みでは？～ELSD 内蔵の最新装置で解決～	日本ビュッヒ（株）	日
A-8	10:25~10:50	格段に画質が向上！最新の X 線 CT 技術 - 原理と応用 -	(株) 島津製作所	日
A-8	11:05~11:30	必見！NRI 社コンテンツ管理サービスによるデータ改ざん、漏洩リスクへの対応方法	(株) 池田理化	日
A-8	11:45~12:10	SEM ユーザー必見！手頃な高性能集束イオンビーム複合機 (FIB-SEM) ができること	サーモフィッシャーサイエンティフィック（株）	日
A-8	12:25~12:50	バイオ医薬および核酸医薬分野における HPLC 分析のご提案	昭和電工（株）	日
A-8	13:05~13:30	ピギナー向け！白色干渉法～基礎から学ぶ測定技術と応用～	ブルカージャパン（株）	日
A-8	13:45~14:10	喫食時のフレーバーリリースを 1 秒単位でリアルタイムに計測する	(株) バイオクロマト	日
A-8	14:25~14:50	プロのノウハウ教えます！これで見えないモノが見えた！一発簡単最新多変量解析	(株) 日立ハイテクサイエンス	日
A-8	15:05~15:30	カールフィッシャー水分計のデータインテグリティ対応でお困りではありませんか？	(株) 三菱ケミカルアナリティック	日
A-8	15:45~16:10	光散乱検出法の限界を超える - 多角度光散乱検出器 LenS3 の紹介 -	東ソー（株）	日
A-9	10:25~10:50	進化し続ける微生物迅速検査装置 ELESTA の将来展望	ヤマト科学（株）	日
A-9	11:05~11:30	世界初！転移点・線膨張係数が見れる光学式熱分析装置 TORC5000 の基礎	(株) アントンパール・ジャパン	日
A-9	11:45~12:10	OASIS サンプル前処理～より簡単に、より早く、よりクリーンに！	日本ウォーターズ（株）	日
A-9	12:25~12:50	『THINK BLANK』微量金属分析のための酸試薬調製と器具洗浄のコツ	マイルストーンゼネラル（株）	日
A-9	13:05~13:30	塩基性化合物や位置異性体化合物の分離を目的とした新規 LC カラムの開発	(株) 島津製作所	日
A-9	13:45~14:10	分析機器のデータ整理・活用でお困りの方へ：便利なデータベース構築と活用事例ご紹介	富士通（株）	日
A-9	14:25~14:50	ODS カラムでは難しい食品の機能性成分や栄養成分の分析法	昭和電工（株）	日
A-9	15:05~15:30	広～い視野のマイクロ結晶ってどうなってるの？一試料作製から高速結晶方位解析まで	日本電子（株）	日
A-9	15:45~16:10	ナノ粒子のコントロールと分析手法の選択	日本インテグリス（同）	日
A-10	10:25~10:50	様々な質量分析装置による材料分析の基礎～装置タイプごとに整理して解説	ブルカージャパン（株）	日
A-10	11:05~11:30	働き方改革！簡便な高分解能観察、多検体試料の自動測定を叶える究極の卓上 SEM	ジャスコインタナショナル（株）	日
A-10	11:45~12:10	やっていますか？定量 NMR の日常点検と適格性評価	ブルカージャパン（株）	日
A-10	12:25~12:50	ELISA の自動化を実現するラボラトリーオートメーションへの取り組みと製品紹介	旭テクネイオン（株）	日
A-10	13:05~13:30	こんなところに使える！テラヘルツ波を用いた膜厚・密度の非破壊計測	(株) アドバンテスト	日
A-10	13:45~14:10	Xe プラズマ FIB-SEM が切り拓く断面加工・観察・分析の新しい世界	(株) 東陽テクニカ	日
A-10	14:25~14:50	世界初！1 台で回転 / 伸張粘弾性測定が可能な MCR702 マルチドライブレオメータの紹介	(株) アントンパール・ジャパン	日
A-10	15:05~15:30	材料分析を支援する「化学工業データベース」と「差分 / KMD 解析ソフト」	(株) バイオクロマト	日

部屋番号	時間	テーマ	出展社名	言語
A-11	10:25~10:50	最新イメージング・ラマン分光装置 inVia Qontor での高分子化合物への応用	レニショー (株)	日
A-11	11:05~11:30	最新の LIBS と XRF の技術によるオンサイト元素分析	(株) リガク	日
A-11	11:45~12:10	錠剤断面を上手に解析!! 一ダマージを抑えた試料作製の提案—	日本電子 (株)	日
A-11	12:25~12:50	離れた場所で測定データを一元管理! 熱中症指標計の老舗メーカーからのご紹介	京都電子工業 (株)	日
A-11	13:05~13:30	「水」が実験結果を左右する!? 分析における超純水の重要性	オルガノ (株)	日
A-11	13:45~14:10	HPLC 使いこなし術。AI が次の HPLC 分析条件を提案 / 実行します! 働き方改革への提案。	(株) 日立ハイテクサイエンス	日
A-11	14:25~14:50	EPMA の定期メンテナンスの薦めと自動化技術の紹介	日本電子 (株)	日
A-11	15:05~15:30	連続流れ分析装置でラボワーク効率アップ『自動化機能で業務改善!』	マイルストーンゼネラル (株)	日
A-11	15:45~16:10	ユニバーサルメタナイザーを使用した GC-FID の感度向上と検量線を使わない定量法の紹介	アステック (株)	日
N-3	10:25~10:50	高感度 X 線分析装置を用いたナノ材料物質への応用	日本電子 (株)	日
N-3	11:05~11:30	悪臭物質自動測定システムのご紹介~悪臭防止法に準拠した方法による自動濃縮分析~	(株) ジェイ・サイエンス・ラボ	日
N-3	11:45~12:10	環境分析に最適な流れ分析法と酸分解前処理装置について	ビーエルテック (株)	日
N-3	12:25~13:15	『抗体医薬品の CMC から品質管理まで、避けては通れないキャピラリー電気泳動法とは? 迅速糖鎖解析・UPS との関連も添えて』	SCIEX	日
N-3	13:30~14:20	これで解決!! 逆相 HPLC 分析の問題 - カラムの基本と分離のノウハウ -	(一財) 化学物質評価研究機構	日
N-3	14:35~15:25	多様な HPLC 検出器を使いこなす! 初中級者が一段階上の運用をするための基礎とコツ	サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)	日
N-4	10:25~10:50	正しく計量できない原因「静電気」~窒素ガス中でも除電可能~	(株) エー・アンド・デイ	日
N-4	11:05~11:30	プロのノウハウ教えます! あなたの分光測定に新しい発見をプラス+	(株) 日立ハイテクサイエンス	日
N-4	11:45~12:10	SEM-EDS ユーザーにこそ知って頂きたい! EPMA の特長と活用例	(株) 島津製作所	日
N-4	12:25~13:15	【FTIR・ラマン】測定・解析のイロハ~依頼分析から紐解くケーススタディー I ~	日本分光 (株)	日
N-4	13:30~14:20	明日から活かせるテクニック! ICP 質量分析法の基礎から測定・解析までのノウハウ	サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)	日
N-4	14:35~15:25	これで解決! ICP 発光分析と ICP 質量分析でよくある質問とその回答	(株) 島津製作所	日
N-5	10:25~10:50	熱分析基礎講座~ DSC、TG-DTA の測定・解析・解釈	ネッチ・ジャパン (株)	日
N-5	11:05~11:30	ペプチド分析におけるメソッド開発手法及びカラム選択	(株) 大阪ソーダ	日
N-5	11:45~12:10	何℃で変色する? 試料観察&色解析の最新熱分析アプリケーション	(株) 日立ハイテクサイエンス	日
N-5	12:25~13:15	EDX による医薬品元素不純物の分析	(株) 島津製作所	日
N-5	13:30~14:20	バイオ医薬品特性解析に役立つアジレントの AdvanceBio カラム・消耗品 最新ラインアップ	アジレント・テクノロジー (株)	日
N-5	14:35~15:25	スマートコネクテッド: ヘリウムガスが無くても大丈夫?! アジレントの GC/MS に環境・食品分析はおまかせください。	アジレント・テクノロジー (株)	日
N-6	10:25~10:50	バイオペレーション新製品情報	日本ウォーターズ (株)	日
N-6	11:05~11:30	マイクロプラスチックの分析動向と最新分析事例	(株) 島津製作所	日
N-6	11:45~12:10	効率的な HPLC 分取メソッド開発の基礎とノウハウおよび最新技術のご紹介!	(株) ワイエムシィ	日
N-6	12:25~13:15	小角光散乱法でわかる高分子の構造評価(球晶・相構造)とアプリケーションのご紹介	大塚電子 (株)	日
N-6	13:30~14:20	ナノ粒子分析の最前線一分離高精度分析から高速分析まで	昭光サイエンス (株)	日
N-6	14:35~15:25	映像で理解する元素分析酸分解前処理の基本と原理	ジーエルサイエンス (株)	日

9月5日(木)

部屋番号	時間	テーマ	出展社名	言語
A-1	10:25~11:15	【新提案!】 SAXS やマルチ検出器 GPC / SEC システムによるナノ領域の粒子・分子の構造評価に関するご紹介	スペクトリス (株) マルバーン・パナリティカル事業部	日
A-1	11:30~12:20	光散乱法によるゼータ電位・粒子径測定の測定技術および最新アプリケーションのご紹介	大塚電子 (株)	日
A-1	12:35~13:25	【基礎から学ぶ】 ICP-OES で有機溶媒・オイル系サンプルを測定する「秘策」とは?	(株) アナリティクイエナ ジャパン	日
A-1	13:40~14:30	ナノインデンテーション法の基礎-各種材料の微小領域の硬さ、弾性率、粘弾性、界面強度など最新の機械的特性評価事例を紹介! -	ブルカー・ジャパン (株)	日
A-1	14:45~15:10	【FTIR・ラマン・UV-Vis】 医薬・パーソナルケア用品の最新評価例を公開	日本分光 (株)	日
A-1	15:25~15:50	プラズマが熱い! SIMS 搭載型 PFIB-SEM の紹介	サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)	日

部屋番号	時間	テーマ	出展社名	言語
A-1	16:05~16:30	FE-SEM で働き方改革！観察から EDS 分析までをハイスループット操作！	日本電子 (株)	日
A-2	10:25~11:15	マイクロ孔の細孔分布測定用 Cryosync を用いた Ar/87K 吸着とデータ解析	(株) アントンパール・ジャパン	日
A-2	11:30~12:20	Q-TOF 技術の最前線：今まで妥協していた TOF の技術の壁を最新テクノロジーで克服！！高分解能 LC/MS の全貌	アジレント・テクノロジー (株)	日
A-2	12:35~13:25	最新のハイエンド XPS 装置、Thermo Scientific Nexsa のご紹介	サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)	日
A-2	13:40~14:30	【一步先行く実用的ナノ構造・物性評価法】AFM/SPM でできること！更に SEM や FIB を組み合わせることができること！	(株) 日立ハイテクノロジーズ	日
A-2	14:45~15:10	ヘリウムガス不足に対応したデュマ法装置及び食品表示法に対応した脂質測定装置の紹介	ゲルハルトジャパン (株)	日
A-2	15:25~15:50	【HPLC・SFC】分離・分取精製の手間と時間を効率化！	日本分光 (株)	日
A-2	16:05~16:30	データ改ざん・不正のリスクを最小限に抑えるシステム 簡単な対策から応用編まで	サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)	日
A-3	10:25~11:15	LIBS and LA-ICP-MS for quantitative and advanced imaging applications	伯東 (株)	日
A-3	11:30~12:20	イオンクロマトグラフ (IC) 基礎セミナー ～分離の基本から、高感度測定まで～	東亜ディーケーケー (株)	日
A-3	12:35~13:25	HPLC 分析のママ知識 - カラム選択からトラブルシューティングまで -	昭和電工 (株)	日
A-3	13:40~14:30	各種の LC/MS の特長とその効果的な活用方法のポイント	(株) 島津製作所	日
A-3	14:45~15:10	ワンソースサービス及び Spotfire を用いた機器データの統合可視化例の紹介	(株) パーキンエルマー・ジャパン	日
A-3	15:25~15:50	TOC 計による洗浄バリデーションなら製薬はもちろん、医療器具や電子部品にも最適！	(株) 島津製作所	日
A-3	16:05~16:30	これは便利！熱分析とガス分析の融合 - TG-MS、TG-FTIR の基礎と応用 -	(株) リガク	日
A-4	10:25~11:15	あなたは知っている？ イオンクロマトグラフィーの基礎とノウハウ	サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)	日
A-4	11:30~12:20	HPLC、LC/MS における高感度分析のポイント	ジーエルサイエンス (株)	日
A-4	12:35~13:25	スマートコネクテッド：LC 分析の新常識、最小の投資で最大の効果を発揮！！超簡単 LC 質量検出器の全貌	アジレント・テクノロジー (株)	日
A-4	13:40~14:30	【自在な引張角度と剥離面の観察による最新密着性評価手法】機能性材料などの粘着・積層界面の品質向上に貢献	協和界面科学 (株)	日
A-4	14:45~15:10	排水管理はこれ1台！海水にも対応する新型の全窒素・全リン計のご紹介	(株) 島津製作所	日
A-4	15:25~15:50	【小角 X 線散乱】世界ブランド 仏国 Xenocs 社の SAXS/WAXS 同時測定装置	三洋貿易 (株)	日
A-4	16:05~16:30	電気化学測定の基礎 - 基礎原理から測定まで -	メロームジャパン (株)	日
A-5	10:25~11:15	分光技術 200 年のノウハウを結集した蛍光発光+吸収分光同時測定 ATEEM/Duetta による 3 次元測定・NIR 測定事例のご紹介！	(株) 堀場製作所	日
A-5	11:30~12:20	ここまでできた！走査型プローブ顕微鏡 (SPM) によるマテリアル物性評価の最前線	(株) 島津製作所	日
A-5	12:35~13:25	基礎がわかれば楽しくなる GC 分析！効率化のためのテクニックもご紹介。	ジーエルサイエンス (株)	日
A-5	13:40~14:30	産地判別～環境分析まで！エレメンターは元素分析だけじゃない！一元管理と多変量解析を統合したソフトウェア“ArDB”のご紹介	エレメンター・ジャパン (株)	日
A-5	14:45~15:10	知って得する！ケイ素分析のためのマイクロ波前処理法の有効活用	マイルストーンゼネラル (株)	日
A-5	15:25~15:50	熱分析は NEXT ステージへ。Easy & 多目的ソフトウェアで公定試験をナビゲート	(株) 日立ハイテクサイエンス	日
A-5	16:05~16:30	新型 FT-IR イメージングシステムと活用事例の紹介：異物からマイクロプラスチックまで	ブルカー・ジャパン (株)	日
A-6	10:25~11:15	超純水の使い方のヒント。あなたがコンタミなしで超純水を使いたいならば、必見です！	エルガ・ラボウォーター (ヴェオリア・ジェネッツ (株))	日
A-6	11:30~12:20	【FT-IR・異物分析】聞いて納得！プロが使う異物分析テクニック講座	サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)	日
A-6	12:35~13:25	☆基礎編☆ これでわかる LC/MS！イオン化から質量分離まで	SCIEIX	日
A-6	13:40~14:30	すぐに使える！FTIR 異物・不良解析テクニック～前処理や分析手法のノウハウについて～	(株) 島津製作所	日
A-6	14:45~15:10	RoHS 2 測定がどこでも、誰でも、簡単に！IoT, Cloud, AI サービスご紹介	(株) 日立ハイテクサイエンス	日
A-6	15:25~15:50	定量分析による、分散、凝集・粗大粒子測定の基本。	日本インテグリス (同)	日
A-6	16:05~16:30	UHPLC 装置がなくても大丈夫！超迅速 GPC 分析のご提案	昭和電工 (株)	日
A-7	10:25~10:50	およそ 1 生菌を 2 時間で検出！微生物迅速検査装置のご案内	(株) 堀場アドバンスドテクノ	日
A-7	11:05~11:30	【nanoIR】分解能 10nm の AFM-IR が解き明かす高分子ナノの世界	ブルカー・ジャパン (株)	日
A-7	11:45~12:10	回転式粘度計によるデータインテグリティの実現	(株) アントンパール・ジャパン	日

部屋番号	時間	テーマ	出展社名	言語
A-7	12:25~12:50	Nanovea 社メカニカルテスター（インデンテーション / スクラッチ / 摩擦）の新機能ナノ DMA（粘弾性測定）の紹介	(株) 日本サーマル・コンサルティング	日
A-7	13:05~13:30	フタル酸エステル類のスクリーニング測定ノウハウを TD/MS“HM1000A”の新機能と共に紹介	(株) 日立ハイテクサイエンス	日
A-7	13:45~14:10	あなたの分析を強力にサポート！ラマンイメージデータの解析ツールのご紹介	ナノフォトン (株)	日
A-7	14:25~14:50	ナノインデンターを用いた評価事例紹介 (DLC から塗膜まで)	(株) 東陽テクニカ	日
A-7	15:05~15:30	★使いやすさ No.1 ★ 10 年先でも使える！ NCS 社の進化する新感覚試薬管理システム！	(株) 池田理化	日
A-7	15:45~16:10	IR&Raman スペクトル検索のコツと大規模データベースを用いた解析業務改善について	バイオ・ラッド ラボラトリーズ (株)	日
A-8	10:25~10:50	顕微ラマン・イメージングの基礎講座	レニショー (株)	日
A-8	11:05~11:30	プロのノウハウ教えます！あなたの分光測定に新しい発見をプラス+	(株) 日立ハイテクサイエンス	日
A-8	11:45~12:10	革新的 X 線回折計が切り拓く 最先端薄膜材料分析の新世界	ブルカー・ジャパン (株)	日
A-8	12:25~12:50	プロのノウハウ教えます！日立が薦める最新の ICP 発光装置の選び方と活用テクニック	(株) 日立ハイテクサイエンス	日
A-8	13:05~13:30	MS/MS を搭載した TOF-SIMS 装置でどんなことが分かるの？	アルバック・ファイ (株)	日
A-8	13:45~14:10	フタル酸エステル類認証標準物質及び海外技能試験のご紹介	西進商事 (株)	日
A-8	14:25~14:50	超高速、省溶媒 GPC-MALS- 粘度分析への挑戦	昭光サイエンス (株)	日
A-8	15:05~15:30	ソックスレー法準拠の自動抽出装置で働き方改革を！	日本ビュッヒ (株)	日
A-8	15:45~16:10	分散性・分散安定性とは？濃厚系のまま評価する方法をご存知ですか？	MS サイエントフィック (株)	日
A-9	10:25~10:50	超高分解能 GC-TOFMS だけが可能にする多彩な解析技術を紹介！基礎から応用まで	LECO ジャパン (同)	日
A-9	11:05~11:30	いまさら聞けない HPLC 使いこなしのコツ。～ノウハウとトラブルシューティング支援～	(株) 日立ハイテクサイエンス	日
A-9	11:45~12:10	分析装置の IoT を用いた新しい機器管理方法のご紹介	(株) 島津製作所	日
A-9	12:25~12:50	おさえておきたい光電子増倍管の基礎技術と最新事情 2019	浜松ホトニクス (株)	日
A-9	13:05~13:30	EDX と FTIR による異物解析	(株) 島津製作所	日
A-9	13:45~14:10	!! IC-MS !! Thermo Scientific IC-ISQ EC を用いたイオン分析の便利機能のご紹介	サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)	日
A-9	14:25~14:50	パルス NMR で多孔材料における細孔の大きさを評価	アステック (株)	日
A-9	15:05~15:30	元素分析に最適な一台をご提案！ブルカーの汎用型蛍光 X 線分析装置のご紹介	ブルカー・ジャパン (株)	日
A-9	15:45~16:10	上手に使うにはコツがある！コアシェル・全多孔性 C18 カラムの基礎とコツ	(株) クロマニクテクノロジーズ	日
A-10	10:25~10:50	6 万通りから用途に合わせてカスタマイズ可能な次世代モジュラー式天びん	ザルトリウス・ジャパン (株)	日
A-10	11:05~11:30	バイオ医薬品のルーチンモニタリングのための使いやすい SmartMS 搭載 LC-MS システム	日本ウォーターズ (株)	日
A-10	11:45~12:10	熱分解-GC 分析のいろは☆基礎から応用まで☆	日本分析工業 (株)	日
A-10	12:25~12:50	極性・非極性化合物の分離を向上する新たなミックスモード系コアシェルカラム	(株) 島津製作所	日
A-10	13:05~13:30	侮るなかれ！卓上でもここまでできる！2次元 NMR 法や C・P 測定による分子構造解析	ジャスコインタナショナル (株)	日
A-10	13:45~14:10	細胞代謝のリアルタイムモニタリング技術 ～細胞の産業化につなげる取り組み～	ヤマト科学 (株)	日
A-10	14:25~14:50	HPLC 及び LC/MS 分析における耐アルカリ性カラムを用いた新たなアプローチ	(一財) 化学物質評価研究機構	日
A-10	15:05~15:30	微量窒素分析計のご紹介。(アルゴン中の微量 N ₂ 濃度を連続的に測定)	(株) ジェイ・サイエンス・ラボ	日
A-10	15:45~16:10	食品栄養成分分析に適した近赤外分析装置について	ビーエルテック (株)	日
A-11	10:25~10:50	非接触の内部温度センサーを搭載した新たなマイクロ波試料前処理装置のご紹介	マイルストーンゼネラル (株)	日
A-11	11:05~11:30	局方第二追補に対応した携帯型ラマン分光計による医薬品原料の受入確認試験	(株) リガク	日
A-11	11:45~12:10	色んな角度から材料を見ませんか？ LC、GC、DESI（表面分析）を 1 台の MS で！	日本ウォーターズ (株)	日
A-11	12:25~12:50	高分子・樹脂材料の劣化・信頼性評価に使える熱分析	ネッチ・ジャパン (株)	日
A-11	13:05~13:30	精密計量は正しく行えていますか？～ポイントはここだ!!～	(株) エー・アンド・デイ	日
A-11	13:45~14:10	抗体医薬品の糖鎖を識別する新規アフィニティ分析カラムの紹介	東ソー (株)	日
A-11	14:25~14:50	粒子の分散性に関わる物性評価装置、粘度・粘弾性、長期安定性、表面張力、粉体流動	英弘精機 (株)	日

部屋番号	時間	テーマ	出展社名	言語
A-11	15:05~15:30	【品質管理部門向け】システム導入による計測結果の管理や活用、機器連携の事例をご紹介します	(株) 宇部情報システム	日
A-11	15:45~16:10	こんなところに使える！テラヘルツ波を用いた膜厚・密度の非破壊計測	(株) アドバンテスト	日
N-3	10:25~10:50	仕事の効率大幅 UP！最新の卓上走査電子顕微鏡だからできる品質管理・異物分析	日本電子 (株)	日
N-3	11:05~11:30	ICP 発光 /MS ユーザー必見！高感度・高精度分析のためのテクニックご紹介	サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)	日
N-3	11:45~12:10	ICP 分析向け酸分解装置エコプレを用いた上手な環境試料分解と失敗例	(株) アクタック	日
N-3	12:25~13:15	今年もなっとく！大好評 質量分析の基礎知識！！	日本電子 (株)	日
N-3	13:30~14:20	分散系のレオロジー特性評価に。ゼロせん断と高せん断領域を評価する2つの技術のご紹介	三洋貿易 (株)	日
N-3	14:35~15:25	HPLC の基礎とトラブルシューティング	日本ウォーターズ (株)	日
N-3	15:40~16:30	最新 GC・GCMS による He 供給問題に対するアプローチと最新アプリケーション紹介	(株) 島津製作所	日
N-4	10:25~10:50	トラブルの原因は装置？それともカラム？明日から実践できる HPLC のトラブル解決法	(株) 大阪ソーダ	日
N-4	11:05~11:30	こんな初めて！定量 NMR サンプル調製のチカラになります —JEOL の恒温恒湿槽—	日本電子 (株)	日
N-4	11:45~12:10	【日局 17 第二追補】携帯型ラマン分光計を用いた確認試験、PIC/S 対応の現状	三洋貿易 (株)	日
N-4	12:25~13:15	1 粒子ごとの濡れ性、分散性、形状、ゼータ電位、表面被覆状態の総合評価の意義	ヤマト科学 (株)	日
N-4	13:30~14:20	非破壊でここまでできる！ XRF を用いた省力・自動・高速分析の事例紹介 (インライン XRF や最新の μ XRF XGT-9000 のご紹介)	(株) 堀場製作所	日
N-4	14:35~15:25	スマートコネクテッド：アジレントの新次元定性手法をご紹介。GC x GC と Q-TOF で今までできなかった分析を実現。	アジレント・テクノロジー (株)	日
N-4	15:40~16:30	より高度な信頼性と再現性を実現したノンコンタクト計測 — 革新的な AFM システムのご紹介	パーク・システムズ・ジャパン (株)	日
N-5	10:25~10:50	高性能シリコンドリフト検出器 (SDD)	KETEK GmbH	日
N-5	11:05~11:30	GC SHED 法によるミニタンクやチューブ・パイプの液体透過・蒸気透過の測定方法	GTR テック (株)	日
N-5	11:45~12:10	自動条件最適化、自動連続測定によるハイスループット固体 NMR システムの紹介	日本電子 (株)	日
N-5	12:25~13:15	XPS による表面分析の基礎と分析事例の紹介	(株) 島津製作所	日
N-5	13:30~14:20	スマートコネクテッド：いつでもどこでもつながるアジレント最新の GC は、ラボ技術者の時間を有意義に使えます。	アジレント・テクノロジー (株)	日
N-5	14:35~15:25	マイクロアナリシス用にインテグレートされた EDS、WDS、EBSD のご紹介	サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)	日
N-5	15:40~16:30	お手伝いさせていただきます！ におい・かおり分析!!	ジーエルサイエンス (株)	日
N-6	10:25~10:50	He ガス不要 新型ベンチトップ核磁気共鳴装置 (NMR) Spinsolve によるアプリケーション例の紹介【同時通訳 (英語) 付き】	(株) 朝日ラボ交易	英
N-6	11:05~11:30	その測定結果、どう管理していますか？ PC 不要な『水分計の D I 対応支援』のご紹介	京都電子工業 (株)	日
N-6	11:45~12:10	分析ラボのワークフローを改革する：進化した LC 分析の自動化	(株) 島津製作所	日
N-6	12:25~13:15	分光技術 200 年のノウハウを結集した新分析装置+ソリューションをご紹介！ 粒子解析+化学分析が切り拓く新しい世界！	(株) 堀場製作所	日
N-6	13:30~14:20	データ・インテグリティとコンピューター・システム・パリテーション	(株) パーキンエルマー・ジャパン	日
N-6	14:35~15:25	イオンクロマトグラフィの前処理に悩む、すべての技術者に - 信頼性を確保するインライン前処理技術 -	メトロームジャパン (株)	日
N-6	15:40~16:30	【基礎から応用】液中に希薄分散 (ppm オーダー) で分散するナノ粒子を「可視化」& 「真度高く」測定する NTA 法	スペクトリス (株) マルバーン・パナリティカル事業部	日

9月6日 (金)

部屋番号	時間	テーマ	出展社名	言語
A-1	10:25~11:15	香気分析の網羅性向上を目指して！ GERSTEL の試料前処理・導入技術をアップデート	ゲステル (株)	日
A-1	11:30~12:20	波長分散型蛍光 X 線 (WDX) 分析装置の最新の進歩	(株) リガク	日
A-1	12:35~13:25	イオンクロマトグラフにおける「複雑」「高マトリックス」分析の前処理のヒント大公開	サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)	日
A-1	13:40~14:30	材料分析の最前線：添加剤から界面活性剤、ポリマーまで！！アジレントの LC、GPC、LC/MS 技術と最新事例を一挙公開	アジレント・テクノロジー (株)	日

部屋番号	時間	テーマ	出展社名	言語
A-1	14:45~15:10	【粒度分布計】画像解析法ならここまでわかる！メリット・ノウハウを徹底紹介します	ジャスコインタナショナル (株)	日
A-1	15:25~15:50	☆すぐ観たい♪☆簡単操作な卓上電子顕微鏡ご紹介	(株) 日立ハイテックロジーズ	日
A-1	16:05~16:30	最適を見つける、最新小型ラマン分光計の選び方・使い方	メトロームジャパン (株)	日
A-2	10:25~11:15	スマートコネクテッド：OpenLab CDS クロマト分析の完全自動化で効率を高め【働き方改革】を推進！	アジレント・テクノロジー (株)	日
A-2	11:30~12:20	熱分析はNEXT ステージへ。最新型 TG/DSC "NEXTA STA" の挑戦	(株) 日立ハイテックサイエンス	日
A-2	12:35~13:25	次世代バイオ医薬品開発を加速する分析技術	旭テックネイオン (株)	日
A-2	13:40~14:30	バーチャルリアリティシステムを活用した環境安全教育：東京大学実践編	ヤマト科学 (株)	日
A-2	14:45~15:10	水銀分析をもっと身近に ~新しくなったポータブル計のアプリケーションをご紹介~	日本インスツルメンツ (株)	日
A-2	15:25~15:50	小角 X 線散乱測定による最新のナノ構造解析について	(株) アントンパール・ジャパン	日
A-2	16:05~16:30	世界で唯一！探針エレクトロスプレーイオン化 (PESI) 質量分析計のご紹介	(株) 島津製作所	日
A-3	10:25~11:15	【UV-Vis】分光光度計の正しい使い方を伝授~原理と測定法の理解で測定結果に自信を~	日本分光 (株)	日
A-3	11:30~12:20	水質分析のトラブル解決！前処理・分析・He ガスなどについて	ジーエルサイエンス (株)	日
A-3	12:35~13:25	微小部蛍光 X 線分析が C から Am まで可能になりました！さて、どんな世界が待っているでしょう？μ XRF、新時代の幕開けです！	ブルカージャパン (株)	日
A-3	13:40~14:30	HPLC による分離の基礎から最新事情まで	ジーエルサイエンス (株)	日
A-3	14:45~15:10	データ改ざん防止！試験室に求められる手作業の自動化を紹介 -LIMS、分析計連携、根拠資料	西川計測 (株)	日
A-3	15:25~15:50	~作業効率化と DI への対応~クロマトグラフィーデータシステム活用術	日本分光 (株)	日
A-3	16:05~16:30	☆観る前が大事♪☆電子顕微鏡用試料前処理技術の最前線	(株) 日立ハイテックロジーズ	日
A-4	10:25~11:15	原液・高濃度測定はもう当たり前！HORIBA から更に進化した粒子の測定・解析手法を一挙ご紹介	(株) 堀場製作所	日
A-4	11:30~12:20	クロマト解析から報告書作成まで完全サポート！簡単、速い、確実な Chromeleon ワークフローが分析業務を劇的に変えます	サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)	日
A-4	12:35~13:25	微粒子特性評価の新たな挑戦 -形状・分散・凝集の評価など-	(株) 島津製作所	日
A-4	13:40~14:30	固体表面のゼータ電位とその応用例	(株) アントンパール・ジャパン	日
A-4	14:45~15:10	こんなところに使える！テラヘルツ波を用いた膜厚・密度の非破壊計測	(株) アドバンテスト	日
A-4	15:25~15:50	環境試料などの ICP 分析前処理にマスト「酸循環型分解装置エコプレスシステム」	(株) アクタック	日
A-4	16:05~16:30	【新製品】KOH 溶離液を用いた陰イオン分析用カラムのご紹介	昭和電工 (株)	日
A-5	10:25~11:15	機能性高分子の精密合成と新材料開発への応用について	旭テックネイオン (株)	日
A-5	11:30~12:20	におい分析は濃縮がミソ！微量成分を検出するための分析ノウハウと最新のサンプリング手法を一挙紹介！	(株) 島津製作所	日
A-5	12:35~13:25	光散乱、粘度法を用いた高分子分析の基礎講座と次世代多角度光散乱、粘度検出器の紹介	昭光サイエンス (株)	日
A-5	13:40~14:30	分析はさらに細部へ~ AZtecLive シリーズ~	オックスフォード・インスツルメンツ (株)	日
A-5	14:45~15:10	プロの技を伝授。アミノ酸分析のコツから目的に合わせた分析法選択の提案	(株) 日立ハイテックサイエンス	日
A-5	15:25~15:50	新しい走査法による高速ラマンイメージング手法の提案とその実証	ナノフoton (株)	日
A-5	16:05~16:30	【これで完璧】最新の蛍光 X 線 FP 法による、高精度定量分析のコツとノウハウ	スペクトリス (株) マルバーン・パナリティカル事業部	日
A-6	10:25~11:15	溶液化からの脱却！固体試料直接分析における Athena solid nebulizer-ICP-MS の最新情報	サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)	日
A-6	11:30~12:20	イチから始めるピペット管理~実験結果の信頼性を高める~	エムエス機器 (株)	日
A-6	12:35~13:25	LC 分析のコストを大幅削減！分析を高速化しつつ同等の結果を得るための分析法移管のコツ！	日本ウォーターズ (株)	日
A-6	13:40~14:30	【ラマン・基礎】蛍光およびレーザー光による試料の変質（焼け）の対策 -ラマン分析テクニック-	サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)	日
A-6	14:45~15:35	☆基礎編☆ これわかる LC/MS！イオン化から質量分離まで	SCIEX	日
A-7	10:25~10:50	水晶振動子をセンサとするガス熱重量分析装置	日本電波工業 (株)	日
A-7	11:05~11:30	プラス、“ラマンイメージング”でわかること~ナノフoton社製ラマン顕微鏡~	(株) 池田理化	日
A-7	11:45~12:10	簡単・高精度なラジカル反応・プロセスモニタリング系の構築	ブルカージャパン (株)	日
A-7	12:25~12:50	☆見えた♪解った♪☆材料解析を支援する FE-SEM のご紹介	(株) 日立ハイテックロジーズ	日
A-7	13:05~13:30	C18 とは分離が変わる！シラノールを活かした C18 と新たな固定相 PFP-18	(株) クロマニックテクノロジー	日

部屋番号	時間	テーマ	出展社名	言語
A-7	13:45~14:10	単一粒子の前方/側方散乱光測定によるナノ粒子径・個数濃度同時評価装置	MSサイエンティフィック (株)	日
A-7	14:25~14:50	最新粒子解析技術を完全解剖！顕微 FTIR を活用した超時短分析 Tips	(株) パーキンエルマー・ジャパン	日
A-7	15:05~15:30	総重量わずか 8kg のポータブル全反射蛍光 X 線装置と高感度蛍光 X 線装置の最新情報	アワーズテック (株)	日
A-7	15:45~16:10	中分子医薬をターゲットとした LC 分析メソッド設定ノウハウと分取精製例	(株) ワイエムシ	日
A-8	10:25~10:50	最新ラマン・イメージングでの工業材料へ応用	レニショー (株)	日
A-8	11:05~11:30	LC 分取試料の脱塩に最適！コンビニ・プレップのご紹介	(株) バイオクロマト	日
A-8	11:45~12:10	油や高分子材料の劣化と複合分析～いろいろな“目”から見ませんか？～	ジャスコインタナショナル (株)	日
A-8	12:25~12:50	ここまでできた！世界最高分解能 MALDI-TOFMS JMS-S3000 の挑戦	日本電子 (株)	日
A-8	13:05~13:30	次世代のハロゲン・硫黄分析を目指した高速燃焼イオンクロマトシステム	システム・インスツルメンツ (株)	日
A-8	13:45~14:10	Bruker より、新型 EDS システムをご紹介します	ブルカー・ジャパン (株)	日
A-8	14:25~14:50	新規微粒子カラムを用いた SEC 試験法の最適化 - バイオ医薬品試験法への適用 -	東ソー (株)	日
A-8	15:05~15:30	食品・医薬品・工業材料開発者のための固体 NMR 最新技術	ブルカー・ジャパン (株)	日
A-8	15:45~16:10	濃厚分散系でも問題なし！光を使った液中分散安定性の評価法とその応用のご紹介	三洋貿易 (株)	日
A-9	10:25~10:50	最先端非破壊観察ソリューション！！3D X 線顕微鏡のアプリケーションポートフォリオ	ブルカー・ジャパン (株)	日
A-9	11:05~11:30	TOC 計の DI 対応はお任せ！作業者のミスと管理者の負担を低減するシステムはこれ！	(株) 島津製作所	日
A-9	11:45~12:10	滴定装置、pH/導電率計、KF 水分計におけるデータインテグリティ対策	メトローム・ジャパン (株)	日
A-9	12:25~12:50	低圧・高分離能 HPLC 充填カラムの開発と新規標準品試薬・受託業務への応用	長良サイエンス (株)	日
A-9	13:05~13:30	小さくしてみました！小型 MALDI でできること、そのノウハウをご紹介します	(株) 島津製作所	日
A-9	13:45~14:10	AQbD に基づいた分析法開発～MS 検出を用いた実践的アプローチ～	日本ウォーターズ (株)	日
A-9	14:25~14:50	【これでだけは知っておきたい】粉末 XRD ノンスタンダード定量のノウハウ	スペクトリス (株) マルバーン・パナリティカル事業部	日
A-9	15:05~15:30	窒素？水素？ヘリウム代替 GC キャリアーの測定テクニック教えます	日本電子 (株)	日
A-9	15:45~16:10	「構造マップ手法」による NMR, MS を用いた複雑な化合物、混合成分、不純物の構造解析	富士通 (株)	日
A-10	10:25~10:50	ナノ 3D 形状計測 (光干渉顕微鏡 (CSI)・プローブ顕微鏡) 新機能のご紹介	(株) 日立ハイテクノロジー	日
A-10	11:05~11:30	Li-ion 電池の電解液透過度測定・評価方法	GTR テック (株)	日
A-10	11:45~12:10	大事なデータを守るために。データサーバの構築・運用は万全ですか？	ヤマト科学 (株)	日
A-10	12:25~12:50	『マイクロ波試料分解改革！』無機元素分析のための前処理のノウハウ	マイルストーンゼネラル (株)	日
A-10	13:05~13:30	新製品ラインナップによりフルレンジ熱分析測定を可能に～セタラム社製品の御紹介～	DKSH ジャパン (株)	日
A-10	13:45~14:10	無人運転エバポレーター～スマートな蒸留で立会い時間を限りなくゼロに～	日本ビュッヒ (株)	日
A-10	14:25~14:50	規制対応と効率化を両立するためのデータ管理	日本ウォーターズ (株)	日
A-10	15:05~15:30	薄層クロマトグラフィー (TLC) の基本と役立つ実例	メルク (株)	日
A-10	15:45~16:10	確認しておきたい導電率測定～JP 17 第二追補公示に関わる測定手順のご提案～	(株) 堀場アドバンスドテクノ	日
A-11	10:25~10:50	すべてはサンプリングで決まる！！加熱脱着 (TD) の測定ノウハウ教えます	日本電子 (株)	日
A-11	11:05~11:30	更なる進化！更なる効率化！高分解能 GC-MS 自動定性解析システム msFineAnalysis V2	日本電子 (株)	日
A-11	11:45~12:10	極小 3 μ L, 50nm ～測定可能なナノ粒子カウンターや高分解能粒子径測定機の紹介	三洋貿易 (株)	日
A-11	12:25~12:50	3D ラマンイメージングから単一粒子の検出・分類・識別まで	WITec (株)	日
A-11	13:05~13:30	☆削って観よう！☆FIB-SEM 装置の基礎	(株) 日立ハイテクノロジー	日
A-11	13:45~14:10	高分解能飛行時間型質量分析計を用いた in-situ ガス分析	(株) カノマックスコーポレーション	日
A-11	14:25~14:50	15 分！ハイスループット GC-MS/MS を使用した食品中残留農薬スクリーニング分析例の紹介	日本電子 (株)	日
A-11	15:05~15:30	現場で使える！ハンディ バクテリア迅速検出装置：rapisco	ヤマト科学 (株)	日
A-11	15:45~16:10	簡単！はやい！イメージング質量分析の新事例	浜松ホトニクス (株)	日

部屋番号	時間	テーマ	出展社名	言語
N-3	10:25~11:15	HPLC から UHPLC へのメソッド移行、および UHPLC システムで HPLC 分析をする際の留意点	(株) 島津製作所	日
N-3	11:30~12:20	【FT-IR・基礎】聞いて納得！ FT-IR を駆使するキホン講座	サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)	日
N-3	12:35~13:25	今までなかった！マルチ水質計×デジタルセンサ (pH、EC、光学式 DO) で実現するテクニカルソリューション	(株) 堀場アドバンスドテクノ	日
N-3	13:40~14:30	マイクロから分取まで、液体から超臨界まで：島津製作所の LC & SFC の全ラインナップを一挙ご紹介	(株) 島津製作所	日
N-3	14:45~15:35	これで解決!! 逆相 HPLC 分析の問題 – カラムの基本と分離のノウハウ –	(一財) 化学物質評価研究機構	日
N-3	15:50~16:15	高速計量と静電気ソリューションが実現する計量業務の生産性向上	(株) 島津製作所	日
N-4	10:25~10:50	ISO/IEC 17025 2017 年版は日本の未来を支えます	ベリジョンソン ラボラトリー アクレディテーション インク	日
N-4	11:05~11:30	次世代デジタルマイクロスコープ誕生。「スピード」と「精度」、解析のすべて。	オリンパス (株)	日
N-4	11:45~12:10	遠心法を用いた分析方法の改善、サンプル前処理技術の御紹介	工機ホールディングス (株)	日
N-4	12:25~12:50	LabSolutions による統合的なデータインテグリティ規制への対応方法のご紹介	(株) 島津製作所	日
N-4	13:05~13:55	広域から微小域までを高速かつ詳細に可視化する赤外イメージングと測定効率が飛躍的に向上する紫外可視分光光度計のご紹介	アジレント・テクノロジー (株)	日
N-4	14:10~15:00	Thermo Scientific HAAKE の最新レオメーター装置発表！レオロジーの基礎や拡張性も交えてご紹介	サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)	日
N-4	15:15~16:05	すぐに使える！分光光度計の精度と効率を上げるテクニック～測定の基礎から解析まで～	(株) 島津製作所	日
N-5	10:25~10:50	初心者必見！知っておきたい自動滴定の基礎とコツ	平沼産業 (株)	日
N-5	11:05~11:30	えっ！本当に！実験室型硬 X 線光電子分光装置の秘密の話：HAXPES Lab	シエンタ オミクロン (株)	日
N-5	11:45~12:10	HPLC 及び LC/MS 分析における耐アルカリ性カラムを用いた新たなアプローチ	(一財) 化学物質評価研究機構	日
N-5	12:25~12:50	分析機器用光源初の広波長領域 UV LED ランプ	ヘレウス (株)	日
N-5	13:05~13:30	XPS の応用分野を切り拓く！多機能型 XPS 最新オプション事例	アルバック・ファイ (株)	日
N-5	13:45~14:35	新しい評価指標にいかがですか？迅速！簡便！高再現性！パルス NMR による高濃度微粒子分散系の評価 粒子界面・濡れ性評価技術	三洋貿易 (株)	日
N-5	14:50~15:15	手間いらず！トレーサビリティ付き混合標準液。分析結果の信頼性確保は新しい時代へ。	Restek コーポレーション	日
N-5	15:30~16:20	核酸・バイオ医薬品の前処理から分析に役立つポイント	サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)	日

11. ライフサイエンスイノベーションゾーン

「ライフサイエンスイノベーションゾーン」は、この分野での分析・科学機器の新市場創出を目指す活動の発信の場として、JASIS 会場内に大規模なゾーンを設置して開催する特別企画で、JASIS では同テーマの特別企画を 2013 年から実施している。

当ゾーン内の目玉企画である基調講演では、「バイオフィーマ&次世代ヘルスケアへの扉を開ける～先端分析計測によるバイオビジネスへの道～」をテーマにし、分子標的薬・チェックポイント阻害剤に代表される新しいバイオ創薬への注目の高まりや遺伝子解析の実装化を含む、臨床現場における変革に対応するために必要となる分析機器・技術と、これらの変貌に関わる関係性が理解できるトピックスを集めた企画となった。

来場者数は過去最大となり、関連企画であるライフサイエンスイノベーションフォーラム参加者を含め延べ 14,000 名以上の方に参加いただき、この分野に対する関心の高さがうかがえる結果となった。

ライフサイエンスイノベーション関連プログラム聴講者のプロフィールを JASIS 全体の来場者プロフィールと比較したところ、業種では電子・電機・精密機器 14.9% (17.4%)、製薬・試薬・化粧品 9.8% (6.8%)、食品 9.0% (5.3%) 医療関係 2.6% (1.5%) が多く、商社・商業 7.4% (12.0%) が少なかった。入場証色区分別では、最も多いのは分析機器・科学機器ユーザーが 62.0% (51.7%) であり、次いで分析機器・科学機器メーカー 12.2% (17.3%) が多く、分析機器・科学機器ディーラー 6.9% (11.6%) が少なかった。

(() は JASIS 全体の来場者プロフィール数値。)

1. 実施概要

会期：2019 年 9 月 4 日 (水) ～ 6 日 (金)

会場：幕張メッセ 8 ホール (約 1,800m²)

ゾーン構成：

- ①基調講演：330 席、25 テーマ
- ②企業プレゼンテーション：30 席・2 か所 44 テーマ
- ③出展企業：63 社・86 小間

2. 実施結果

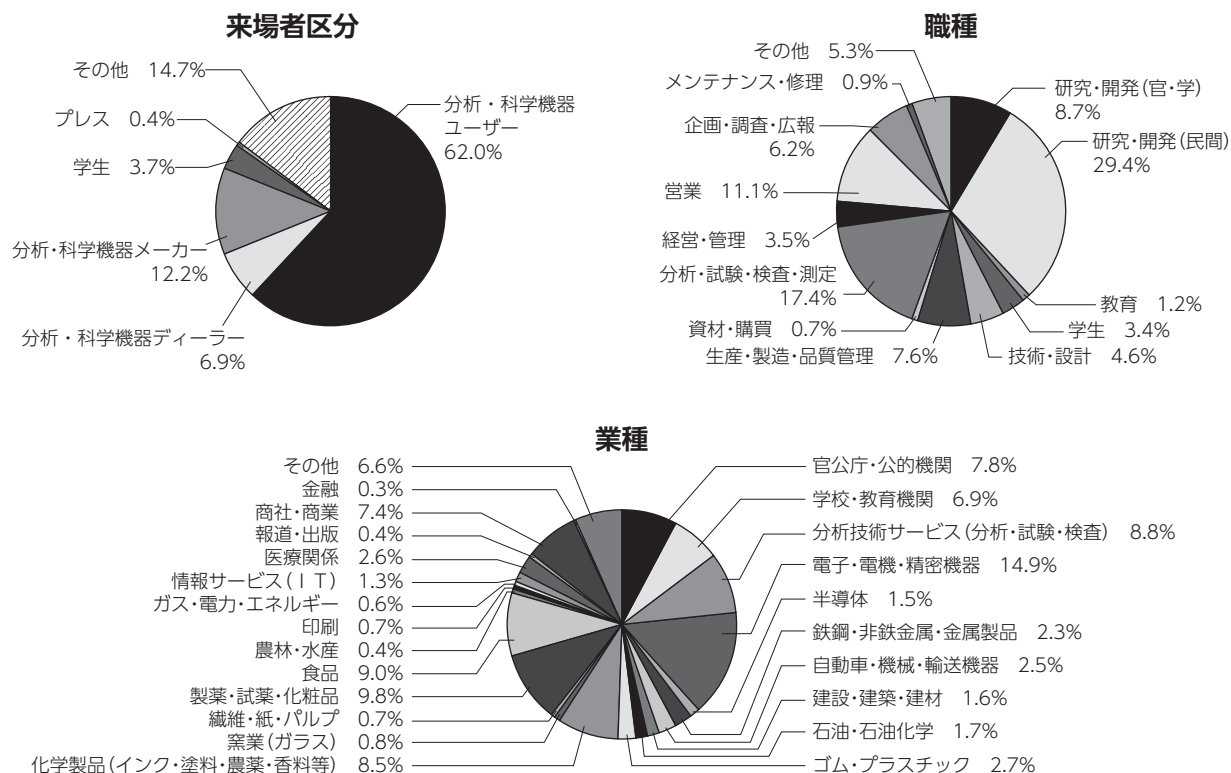
	4日(水)	5日(木)	6日(金)	計
基調講演	939	589	1,931	3,459
企業プレゼンテーション	229	181	232	642
展示コーナー	2,852	3,055	3,748	9,655
LS フォーラム	83	77	98	258
合計	4,103	3,902	6,009	14,014

3. 展示ブース / 特別展示

関連の先端技術・サービスを提供する企業 63 社 86 小間による展示ブースを設置した。特別展示コーナーでは以下のとおり。

- ・(株) NeU：基調講演聴講者、ドリンクチケット利用者を対象としたくじ引きコーナーを展開。
- ・(株) エマージングテクノロジーズ、(株) エンテックス：ライフサイエンスイノベーション出展社による求人票の掲示エリアと、博士人材採用に関する個別相談コーナーを設置。

4. 来場者層



5. 基調講演

近未来ライフサイエンス市場に関わる日本の戦略、世界動向、最先端研究に携わる著名な先生方をお招きしてご講演いただいた。

昨年と同様、PITTCONとETC(Enabling Technology consortium)と共同で日米合同セッションを実施し、また今年新たに、日本生物工学会と日本生化学会のジョイントセミナーが開催された。聴講者と講師をつなぐツールとして、スマホによるコメント投稿システム「コメンタグラム」も継続して導入した。詳細は以下のとおり。

9月4日(水) (延べ聴講者数：939人)		
時間	テーマ/講師氏名(所属)	聴講者数
バイオエコノミー戦略について		
10:30 ~ 11:00	田中 哲也 氏 (経済産業省 生物化学産業課 課長)	130
ミトコンドリアに硫黄呼吸を発見～古代生物の残存が現代に生きていた～		
11:15 ~ 12:15	赤池 孝章 氏 (東北大学大学院 医学系研究科 教授) 重川 秀実 氏 (筑波大学 数理物質系 教授)	126
次世代ヘルスケアと薬づくり～マイクロバイオームとデジタルヘルスケアのサイエンス～ (ICA)		
13:00 ~ 13:15	生活者の参加が必要なヘルスケアのイノベーション 神沼 二真 氏 (NPO 法人サイバー絆研究所 代表)	108
13:15 ~ 13:40	Metabophenotyping in drug discovery research and translation into human Juan Zhang 氏 (Novartis Institutes for BioMedical Research・Analytical Sciences and Imaging)	125
13:40 ~ 14:05	食とライフスタイルで健康管理をーシステム生物学によるアプローチ 西出 香 氏 (オランダ応用科学研究機構 (TNO)・Healthy Living 日本代表)	140
14:05 ~ 14:30	腸内細菌を標的とした創薬イノベーション 長谷 耕二 氏 (慶應義塾大学薬学部 教授)	143
14:30 ~ 14:55	政策立案のオープンイノベーション「政策 OpenLab」 渡辺 一行 氏 (農林水産省)	102
14:55 ~ 15:15	ディスカッション (上記5氏による)	65

9月5日(木) (延べ聴講者数：589人)

時間	テーマ/講師氏名(所属)	聴講者数
Applications of AI in Drug Discovery AIが変える斬新的創薬とは		
10:45 ~ 11:30	Andrew A. Radin 氏 (twoXAR・CEO)	89
JAIMA/PITTCON/ETC 日米合同 Advanced tools for BioPharmaceutical research		
12:30 ~ 12:40	Pittcon 2020 Overview Joanne Smith 氏 (Pittcon2020 Technical Program Chair)	52
12:40 ~ 13:10	High Throughput Analysis of Pharmaceutical Compounds by 2D LC-SFC-MS Mohammad Al-Sayah 氏 (Senior Scientist, Genentech Inc.)	57
13:20 ~ 13:40	分析科学が先導する次世代バイオ医薬品研究開発 津本 浩平 氏 (東京大学大学院・工学系研究科/医科学研究所 教授)	115
13:40 ~ 14:10	CryoEM for structure-based drug design in the biopharmaceutical industry Anette Schneemann 氏 (NanoImaging Services, Inc.)	84
14:10 ~ 14:40	Biosensor Arrays Enabling Precision Medicine Ryan C. Bailey 氏 (Robert A. Gregg Professor of Chemistry, University of Michigan)	80
14:40 ~ 15:10	Cryo-EM: Method Developments and Applications in Basic Sciences, Diseases and Drug Discovery Wen Jiang 氏 (Professor of Biological Sciences, Purdue University)	67
15:10 ~ 15:30	ディスカッション (津本氏、Schneemann 氏、Bailey 氏、Jiang 氏 計4名によるディスカッション)	45

9月6日(金) (延べ聴講者数：1,931人)

時間	テーマ/講師氏名(所属)	聴講者数
日本生物工学会 Joint「美味しさを可視化する分析技術」		
10:30 ~ 10:40	美味しさを可視化する分析技術 吉田 聡 氏 (キリンホールディングス株式会社 ワイン技術研究所 主査(主任研究員))	293
10:40 ~ 11:00	ホップの香りを GC-MS 分析で科学する 嶋井 潔 氏 (サッポロビール株式会社 商品 技術イノベーション部 担当部長)	302
11:00 ~ 11:20	醤油メーカーにおける分析技術の利用 渡部 潤 氏 (ヤマサ醤油株式会社 製造本部醸造部 醤油研究室 室長)	266
11:20 ~ 11:40	発酵調味料のフレーバーオミクス解析のための香気分析技術の確立 飯島 陽子 氏 (神奈川工科大学 応用バイオ科学部 栄養生命科学科 教授)	246
11:40 ~ 12:00	ディスカッション (上記4氏による)	175
日本生化学会 Joint「見る生化学」		
13:00 ~ 13:20	アミノ酸代謝による個体老化の調節メカニズム 三浦 正幸 氏 (東京大学大学院 薬学系研究科 教授)	77
13:20 ~ 13:40	ケミカルバイオロジーからケミカルメディスンへ 浦野 泰照 氏 (東京大学 大学院薬学系研究科 医学系研究科 教授)	71
13:40 ~ 14:00	ネクロプトーシスのライブセルイメージング 中野 裕康 氏 (東邦大学 医学部 教授)	62
14:00 ~ 14:20	ディスカッション (上記3氏による)	37
バイオを観るサイエンス		
14:50 ~ 15:10	無制限多重染色と高精細画像を実現した超解像顕微鏡 IRIS 渡邊 直樹 氏 (京都大学大学院 生命科学系研究科(医学研究科兼務) 教授)	86
15:10 ~ 15:35	ナノスーツ法によるパラフィン病理切片の CLEM 観察 河崎 秀陽 氏 (国立大学法人浜松医科大学 光先端医学教育研究センター ナノスーツ開発研究部 部長 准教授)	88
15:40 ~ 16:00	光顕標本の低真空走査電子顕微鏡による観察 山中 宣昭 氏 (東京腎臓研究所 所長)	88
16:00 ~ 16:20	生体に特化したイメージングシステム開発と他分野への応用 西村 智 氏 (自治医科大学 分子病態 教授)	84
16:20 ~ 16:40	ディスカッション (上記4氏による)	56

6. 企業プレゼンテーション

JASIS 2019 会期中3日間、出展社によるプレゼンテーション(1枠:25分)がゾーン内の2会場で44件行われた。3日間の延べ聴講者数は642人であった。また、今年より(株)エンテックスと共に、分析機器産業に携わる派遣社員を対象としたキャリア形成支援セミナーが開催された。

〈第一会場〉

9月4日(水) (延べ聴講者数：165名)

時間	テーマ	出展社名
10:15～11:30	キャリア形成支援プログラム①	(株) エンテックス
11:55～12:20	ポスドク・博士課程学生のためのキャリアデザイン	(株) エマージングテクノロジーズ
12:35～13:00	室温で便を保存できる腸内菌叢採取キット	(株) テクノスルガラボ
13:15～13:40	マイクロ流体技術を応用した細胞培養デバイス	(株) 協同インターナショナル
13:55～14:20	創薬・医療研究に貢献する光学分析技術	(株) 堀場製作所
14:35～15:00	マイクロ流体チップの機能とアプリケーション : Organ-on-a-chip と POCT	(株) ASICON
15:15～15:40	研究開発の効率化ツール～核酸抽出試薬・マイクロ流路デバイス	Biocosm (株)

9月5日(木) (延べ聴講者数：126名)

時間	テーマ	出展社名
10:15～11:30	キャリア形成支援プログラム①	(株) エンテックス
11:55～12:20	CIM モリノス 新モダリティ領域への応用	昭和電工(株)
12:35～13:00	TriVersa NanoMate LESA Plus による凍結切片等 LC/MS 分析と LC/MS による簡易イメージング解析。	(株) エル・イー・テクノロジーズ
13:15～13:40	研究現場の安全教育で悩んでいませんか？	(特非) 研究実験施設・環境安全教育研究会
13:55～14:20	ISP が目指すスモールスタート AI	(株) システム計画研究所
14:35～15:00	公益社団法人 日本生物工学会	(公社) 日本生物工学会
15:15～15:40	バイオマーカー探索のオープンイノベーション	理化学研究所
15:55～16:20	ポスドク・博士課程学生のためのキャリアデザイン	(株) エマージングテクノロジーズ

9月6日(金) (延べ聴講者数：127名)

時間	テーマ	出展社名
10:15～11:30	キャリア形成支援プログラム①	(株) エンテックス
11:55～12:20	量研が開発した先端マイクロデバイス	(国研) 量子科学技術研究開発機構
12:35～13:00	ユニークな技術で、リン酸化タンパク質を新たな視点から解析 -Phos-tag SDS-PAGE 受託分析	(株) ナード研究所
13:15～13:40	新型クライオ電子顕微鏡による高分解能構造解析	日本電子(株)
13:55～14:20	ヒトの呼気中微量代謝物質のリアルタイム測定	金陵電気(株)
14:35～15:00	IOS15189-17025 対応。サーマルサイクラー温度校正サービス	(株) フォーディクス

〈第二会場〉

9月4日(水) (延べ聴講者数：64名)

時間	テーマ	出展社名
11:15～11:40	健康意識潜在層を動かし未病産業を作る方法	(株) HQC TOKYO
11:55～12:20	ロボットアームでの自動化による検査行程の効率化	(株) HERO
12:35～13:00	参加ストレス/機能性評価マーカー Update	日研ザイル(株) 日本老化制御研究所
13:15～13:40	研究室でつくるオリジナルデバイス	ネオアーク(株)
13:55～14:20	研究開発者向け「みんなの試作広場」メディアが目指す世界	みんなの試作広場
14:35～15:00	3次元神経組織 "Nerve Organoid" を用いた創薬支援	(株) Jiksak Bioengineering
15:15～16:30	キャリア形成支援プログラム②	(株) エンテックス

9月5日(木) (延べ聴講者数：55名)

時間	テーマ	出展社名
10:35～11:00	多変量解析を用いたリアルタイムシステム	(株) クオリティデザイン
11:15～11:40	みんなの思いを共感に スマホで投稿	BD コンサルティング(同)
11:55～12:20	【受託分析サービス】病理検体からのプロテオーム解析	(株) アプロサイエンス
12:35～13:00	遺伝子検査の精度管理に役立つ 1 分子標準物質	(株) リコー
13:15～13:40	窒素ガス不要の超小型低酸素インキュベータ	(株) プラスト
13:55～14:20	再生医療、創薬やバイオプロセス産業へのマイクロ流体・フロー合成技術の応用と展望	NT サイエンス(同)
14:35～15:00	脳活動計測装置の進化とその活用	(株) NeU
15:15～16:30	キャリア形成支援プログラム②	(株) エンテックス

9月6日(金) (延べ聴講者数：105名)

時間	テーマ	出展社名
10:35 ~ 11:00	「博士×ビジネス」で創り出すイノベーション	(株) エマージングテクノロジーズ
11:15 ~ 11:40	バイオリジクス開発を加速する nanoDSF 技術	(株) エムエステクノシステムズ
11:55 ~ 12:20	細胞培養イメージングシステム zenCELL owl の紹介	英弘精機 (株)
12:35 ~ 13:00	薬物動態分析技術 (D-PREX) 用試薬キットの紹介	(株) 日立ハイテクノロジーズ
13:15 ~ 13:40	アルツハイマー病変の血液バイオマーカー	(株) 島津製作所
13:55 ~ 14:20	高感度な蛍光検出モジュール&システム	シチズンファインデバイス (株)
14:35 ~ 15:00	赤外自由電子レーザーによる生体材料のマイクロ加工	(学) 東京理科大学
15:15 ~ 16:30	キャリア形成支援プログラム②	(株) エンテックス

7. 商談ラウンジ

ライフサイエンスイノベーションゾーンの出展社と下記のようなマッチングを希望される来場者と直接面談いただくコーナーを設置し、利用していただいた。昨年と比べ、稼働率は110%ほどだった。

- ・ シーズ・新技術の導入などから技術提携を検討したい
- ・ アプリケーションを共同開発できる企業を探している
- ・ 新技術またはバイオベンチャーに投資したい
- ・ 販売代理できる新製品を探している
- ・ バイオ・先端診断に関わる新技術やアイデアについて詳しい情報が欲しい

8. JASIS コンファレンス内でライフサイエンスイノベーションフォーラムを開催

展示会場に隣接する幕張メッセ国際会議場で行われる「JASIS コンファレンス」では、ライフサイエンスイノベーションゾーンに関連する以下3プログラムの開催を支援した。

日時	テーマ	主催団体	場所
9月4日(水) 10:00 ~ 17:45	1 「恐怖のプロファイリング~迫りくる〇〇~」	メタボリック・プロファイリング研究会	304 会議室
9月5日(木) 9:55 ~ 16:40	2 「生体と近傍環境計測と AI の進歩が拓く新しいヘルスケア」	NPO 法人 サイバー絆研究所	304 会議室
9月6日(金) 12:30 ~ 17:00	3 「戦略的バイオバンキングと医療イノベーション」	(特非) バイオ計測技術コンソーシアム (JMAC) (一社) 日本生物資源産業利用協議会 (CIBER)	304 会議室

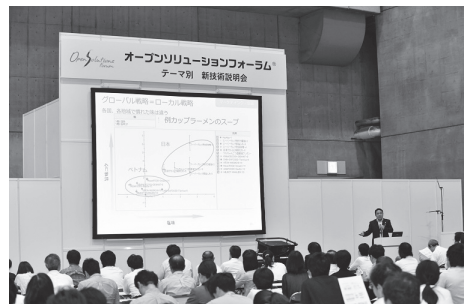
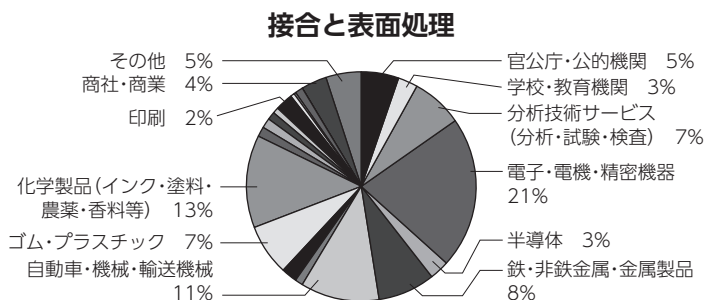
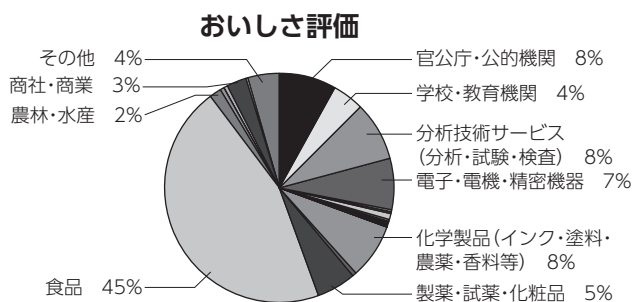
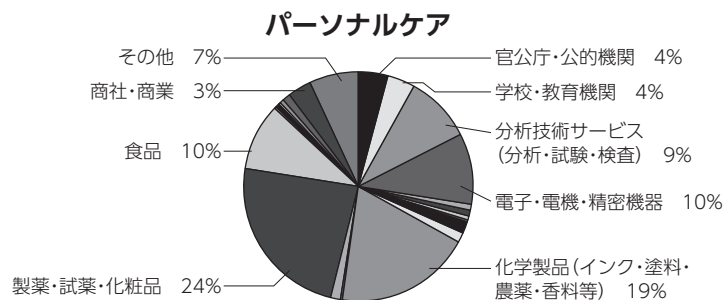
12. オープンソリューションフォーラム[®]

本企画は、出展社が個別に開催する人気が高い「新技術説明会」に対して、特定のテーマに関して、来場者にオープンな形でソリューションを提供することを目的として、JASIS 2016 に初めて開催された。JASIS 2019 においても、これまでと同じコンセプト「素材・材料の開発と品質管理が我が国のものづくり競争力を支える」のもと開催した。今回は、テーマとして、「パーソナルケア」「おいしさ評価」「接合と表面処理」を選定した。

会期3日間で、基調講演6タイトル、出展社発表18タイトルを実施し、延べ1,592名の方々にご聴講いただいた。(2018年2,275名、2017年1,619名)用意した約250席はほぼ満席と、非常に盛況であった。今回も、資料として要旨集の他、各社が準備した資料も配布できることとした。聴講者アンケート集計結果によれば、「オープンソリューションフォーラムがあるから来場者した。」と回答された方が約35%、来場の目的については、「技術情報の収集・取得・交流」約60%、「自分のビジネスに役立てるため」約30%で、ほぼ昨年と同様の傾向であった。プログラム構成についてもおよそ半数の方にご満足頂くことができた。ご聴講いただいた方のうち、30%以上の方がJASISに初めてご来場と回答いただいております、新規来場者誘致にも一定の貢献ができています。

それぞれのテーマでの聴講者の業種を、グラフに示す。(主な業種名のみ表示)各テーマについて、情報を届けたいユーザーにご来場いただけていると判断できる。

聴講者の業種



オープンソリューションフォーラムプログラムと聴講者数

9月4日(水) パーソナルケア

時間	タイトル/講師	聴講者数
10:30 ~ 11:10	人と暮らしの“きれい”を実現する製品創出、支える詳細解析技術 森内 彰博氏 (花王 (株) 基盤研究センター 解析科学研究所)	225
11:15 ~ 11:40	ふんわり・カラッとをマイクロで解明 (株) リガク	
11:45 ~ 12:10	高感度 GC-TOFMS による生活に関わるニオイの網羅的解析法 LECO ジャパン (同)	
12:15 ~ 12:40	パーソナルケア製品の多面的分析 (株) 島津製作所	
13:40 ~ 14:20	化粧品の研究開発を支える先端分析技術 本山 晃氏 (資生堂 グローバルイノベーションセンター)	220
14:25 ~ 14:50	脂質分離の最適解 SCIEX SelexION –確かな機能性に支えられた製品開発にむけて SCIEX	
14:55 ~ 15:20	化粧品、化粧品の沈降分離現象を目視に比べ短時間で評価します 英弘精機 (株)	
15:25 ~ 15:50	化粧品の研究開発を支援する評価事例のご紹介 (株) 住化分析センター	

9月5日(木) おいしさ評価

時間	タイトル/講師	聴講者数
10:30 ~ 11:10	おいしさの謎をとく～生み出す技術、評価する技術～ 佐藤 成美氏 (サイエンスライター、東洋大学)	288
11:15 ~ 11:40	食品開発をサポートする分析計測手法 (株) 島津製作所	
11:45 ~ 12:10	喫食時のフレーバーリリースを1秒単位でリアルタイムに計測する (株) バイオクロマト	
12:15 ~ 12:40	植物油の早期酸化劣化の新しい評価法 日本電子 (株)	
13:40 ~ 14:20	「コク味」(kokumi) 物質の受容機構と食品における官能特性 黒田 素央氏 (味の素 (株) 食品研究所)	277
14:25 ~ 14:50	味覚センサーによる味の見える化とそのビジネス活用事例 入江 (株)	
14:55 ~ 15:20	テクスチャーと美味しさ科学におけるX線回折の応用 (株) リガク	
15:25 ~ 15:50	「おいしさ」の見える化と機器分析 (株) パーキンエルマー・ジャパン	

9月6日(金) 接合と表面処理

時間	タイトル/講師	聴講者数
10:30 ~ 11:10	自動車産業に向けた最新表面処理 ～めっきプロセスとドライブプロセス～ 高井 治氏 (関東学院大学 材料・表面工学研究所)	305
11:15 ~ 11:40	最新の分析装置を利用した表面・界面の分析事例の紹介 日本電子 (株)	
11:45 ~ 12:10	高強度接合の機械的評価法 (株) 島津製作所	
12:15 ~ 12:40	画期的な測定技術を利用した表面処理状態の評価 理研計器 (株)	
13:40 ~ 14:20	自動車分野における高強度鋼板の溶接技術 ～制御技術の発展による高機能化～ 松田 広志氏 (JFE スチール (株) スチール研究所)	277
14:25 ~ 14:50	接合・表面処理における HORIBA の多彩な分析ソリューション (株) 堀場製作所	
14:55 ~ 15:20	SEM-EBSD の溶接材料評価への応用 オックスフォード・インストゥルメンツ (株)	
15:25 ~ 15:50	高感度 X 線顕微鏡・CT による隠れた接着層の 3次元非破壊解析 (株) リガク	

13. JASIS WebExpo®

1. 開催3年目で、訪問者数1万人突破。

出展500社超、セミナー・講演会数も約500を数えるJASISでは、分析・科学機器に関する世界の最先端情報が一堂に集まるため、見たいもの・聴きたいものを限なく廻るためには、「複数日来場してもまだ時間が足りない」という声が来場者から聞かれる。また、関東圏で開催される展示会に良く見られる傾向だが、JASISでの来場者は7.5割が関東圏からの来場者であり、地方からの来場は少ない。

このような傾向を補完する為、「会期3日間」「幕張」という現在のJASISから、「180日間、どこからでも」出展、参加できる新しいJASISへと発展していくことを目指したのが本企画である。

3年目となる今年は、重複なし訪問者数は11,000人となり、昨年比229%となった。今年から、JASISへの事前入場登録を行った際に、シームレスにログインできる仕組みを採用したことが閲覧者の急増を後押しし、JASIS WebExpo®の認知を拡大することができた。

2. Webブース出展社の獲得リード数は平均で1,000件以上と絶大な費用対効果を発揮

19社の出展社コンテンツに加え、JASIS 2018とJASIS 2019で人気を博した講演ムービーを順次掲載し、54本(67タイトル)のムービーを掲載。メールマガジンを通じて告知活動を主催者にて行った。幕張メッセで開催されるJASISへ来場できない約2,400人がWebExpoへアクセスいただいた。出展社にとっては、このような層にもリーチすることが可能な有用性が高い広告媒体となった。



【エントランス】

WebExpoでは、JASISの人気講演ムービーで多くの人々を集客する。エントランスには、各セミナー会場への入口と出展社ブースのある展示会場への入口が設置されている。



【講演ムービー再生画面】

JASISの人気動画とその発表資料を閲覧できる。再生スピードは0.8~1.8倍速が可能。チャプター付きなので、観たい内容を素早く閲覧することもできる。



【セミナー会場】

機器分析のノウハウ、ライフサイエンスイノベーションの最前線、材料開発と機器分析などのセミナー動画を50本以上掲載。1.1万人を超える閲覧者を集めた。



【出展社一覧】

プライベートブースを設けて、リンク、PDF、動画を掲載する。JASIS出展に向け準備した資料などはリアルな展示会だけでなく、WebExpoにも掲載することで、最大5ヶ月間PR効果が続く。



【プライベートプランブース出展社 (例)】



【カテゴリ別共同プラン出展社 (例)】

【JASIS WebExpo® 出展社一覧】

アジレント・テクノロジー (株)

(株) 池上精機

オックスフォード・インストゥルメンツ (株)

(国研) 科学技術振興機構

京都電子工業 (株)

光明理化学工業 (株)

(株) 島津製作所

東亜ディーケーケー (株)

特許機器 (株)

日本ウォーターズ (株)

日本電子 (株)

(株) パーキンエルマー・ジャパン

(株) 日立ハイテクノロジーズ

ヘレウス (株)

(株) 堀場製作所

(株) リガク

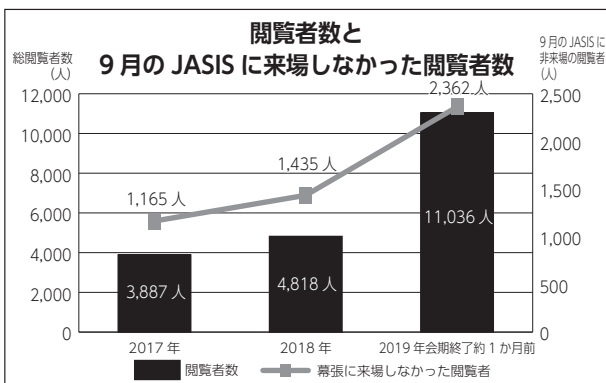
理研計器 (株)

LECO ジャパン (同)

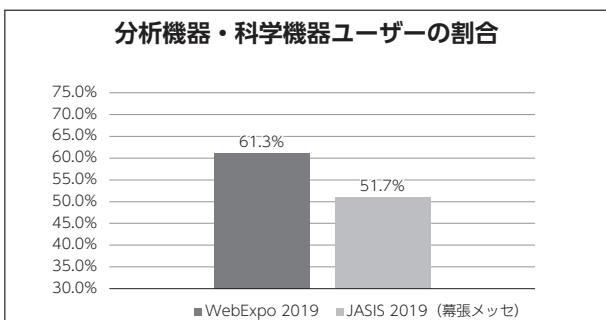
日本ビュッヒ (株)

3. 数字で見る JASIS WebExpo® 2019

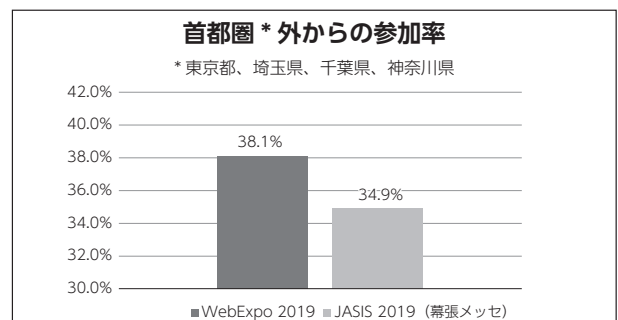
- ・幕張の JASIS 2019 に来場できなかった方々約 2,400 人が閲覧に訪れた。
- ・閲覧者が去年比で大幅増。(4,818 人→ 11,036 人)
- ・WebExpo 内のプライベートブース出展社は、2 年連続で平均 1,000 人以上の閲覧者情報を獲得した。



2019年の数値は会期終了1か月前の数値だが、この時点で昨年を大きく上回っている。また、9月のJASISに来場できなかった約2,400人が閲覧に訪れており、分析・科学機器のユーザーにとって便利な情報収集の場となっていることが分かる。出展社にとって9月のJASISに来場しなかった約2,400人へのPR機会を得られることは、WebExpoの大きな魅力となっている。



分析機器・科学機器ユーザーの来場者比率が WebExpo の方が 9.6 ポイント高かった。



首都圏外からの来場者比率が WebExpo の方が 3.2 ポイント高かった。

2019年7月3日～12月20日まで掲載のJASIS 2018 講演動画

分野	タイトル	講師
オープンソリューションフォーラム 2018		
フタレート規制	フタレート規制～簡易分析に求められる要件と、その活用方法～	一般社団法人 東京環境経営研究所 理事長 中小企業診断士/技術士 松浦 徹也 氏
香りとおい	におい分子がつくる複雑な香り	埼玉大学大学院理工学研究科 准教授 長谷川 登志夫 氏
次世代電池	全固体電池の開発における最近の動向と材料開発に関する課題、その解決に必要なとされる分析・計測技術への期待	首都大学東京大学院 都市環境科学研究科・分子応用化学域 教授・水素エネルギー社会構築センター長 金村 聖志 氏
	サステナブルモビリティ実現のための分析計測技術への期待	トヨタ自動車株式会社 先進技術開発カンパニー電池材料技術・研究部長 射場 英紀 氏
JASIS セミナー 2018		
これであなたも専門家-バイオ編より	バイオ分析の最前線 (前編)	東京大学大学院総合文化研究科・教授 佐藤 守俊 氏
これであなたも専門家-流れ分析編より	JIS K0126 流れ分析通則の改正ポイント	千葉大学 名誉教授 小熊 幸一 氏
これであなたも専門家-IC編より	不惑を迎えた IC の世界と今後の展望	岐阜大学 竹内 豊英 氏
これであなたも専門家-セパレーションサイエンス編より	慢性疾患に役立つメタボロミクスの開発	大阪大学大学院 古野 正浩 氏
高圧ガスと分析機器	共同規格 (KHK/JAIMA S 0901) の制定及び認定制度の創設について	高圧ガス保安協会 高圧ガス部長代理 小山田 賢治 氏
[初めての機器分析-自信の持てるデータ処理-]より	測定値の正しい取り扱い方 -測定値を分析値にするために-	明星大学 理工学部 教授 上本 道久 氏
日本薬局方セミナー	生物薬品に関連する最新動向-タンパク質医薬品注射剤の不溶性微粒子試験法を中心に-	国立医薬品食品衛生研究所 生物薬品部第2室室長 柴田 寛子 氏
サイエンスセミナー	料理の科学～加工、加熱、調味、保存のメカニズムは.....	名古屋工業大学名誉教授 齋藤 勝裕 氏
科学実験ショー	基盤実装型センサと遠隔測定	公益財団法人日本科学技術振興財団 (科学技術館) 丸山 義巨 氏
ライフサイエンスイノベーションゾーン 2018		
日本の医薬品産業の課題	日本の創薬環境と AMED の取り組み	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED) 創薬戦略部長 河野 典厚 氏
創薬における臨床 DNA とバイオバンクの役割	臨床から創薬へ、バイオバンクとクリニカルシーケンスの可能性	アクトメッド株式会社・事業開発 一般社団法人クリニカルバイオバンク学会 岡野 和広 氏
	京都大学病院と KBBM におけるワンストップバイオリソース事業	京都大学大学院医学研究科 腫瘍薬物治療学講座・教授 武藤 学 氏
次世代ヘルスケアと薬づくり～デジタルテクノロジーに牽引される変革を語る～ (ICA)	Building secure, clinical and genome data enabled biobanks facilitating collaborative research projects	Chief Architect and Founder BC Platforms AG Timo Kanninen 氏
	製薬企業と患者・生活者との新しい関係	NPO 法人サイバー絆研究所・代表 神沼 二真 氏
ポストゲノム時代	フィリップスのデジタル変革とエコシステムが創り出すヘルスケア・イノベーション	株式会社フィリップス・ジャパン・代表取締役社長 堤 浩幸 氏
	ポストゲノム時代のライフサイエンス：20 世紀遺伝子決定論からのパラダイムシフト	日本薬科大学・客員教授 高垣 洋太郎 氏
グローバル創薬 (日米合同)	Opening Remarks & Introduction of Pittcon	Pittcon 2019 Technical Program Chair Heather Juzwa 氏
	New Technologies to Accelerate Drug Discovery and Development	Project Lead, Enabling Technologies Consortium Benjamin F. Mann 氏
グローバル創薬 (日米合同)	質量分析が切り拓く未来	大阪大学蛋白質研究所・教授 高尾 敏文 氏
	Imaging of Proteins in Biomedical Research: Structure, Interaction and Distribution	Senior Investigator, Analytical Sciences and Imaging @ Novartis Institutes for BioMedical Research Markus Stoeckli 氏
グローバル創薬 (日米合同)	創薬標的に作用する化合物の探索 - 質量分析にできること -	小野薬品工業株式会社 創薬基盤研究部 第3グループ 松田 修一 氏
	生体分子の原子レベルの立体構造解析法として進歩したクライオ電子顕微鏡法の最近の動向	理研放射光科学研究センター 副センター長・大阪大学大学院生命機能研究科特任教授 難波 啓一 氏
システムバイオロジーと創薬	薬剤耐性代謝アダプテーションのトランスオミクス解析	大阪大学大学院情報科学研究科・教授 松田 史生 氏
	世界初を目指すマルチオミクス解析システムの開発	大阪大学 島津 分析イノベーション共同研究講座・招聘教授 飯田 順子 氏 (安田 弘之 氏)
AI・ICT と未来予測	AI の進歩による、IoT・知識ベースの未来予想	株式会社数理先端技術研究所・代表取締役 生島 高裕 氏
	分散 PDS: 個人の意思に基づくヘルスケアデータの安全で安価な活用	東京大学 大学院情報理工学系研究科 ソーシャル ICT 研究センター・教授 橋田 浩一 氏

2019年9月下旬～12月20日まで掲載のJASIS 2019 講演動向

分野	タイトル	講師
オープンソリューションフォーラム 2019		
パーソナルケア	人と暮らしのきれいを實現する製品創出、支える詳細解析技術	花王(株) 基盤研究セクター 解析科学研究所 森内 章博 氏
おいしさ評価	おいしさの謎をとく～生み出す技術、評価する技術～	東洋大学 客員研究員 サイエンスライター 佐藤 成美 氏
接合と表面処理	「コク味」(kokumi) 物質の受容機構と食品における官能特性	味の素(株) 食品研究所 上席研究員 黒田 素央 氏
	自動車産業に向けた最新表面処理～めっきプロセスとドライプロセス～	関東学院大学 材料・表面工学研究所 所長 高井 治 氏
JASIS セミナー 2019 ただし*は2017年の講演		
「機器分析のステップアップ」より	質量、容量の正確な計量－自信を持って電子天秤とピペットを使いこなす－	島津総合サービス 宮下 文秀 氏
「これであなたも専門家-LC編」より	液クロのコツ－そのエッセンス－	東京理科大学 中村 洋 氏
「これであなたも専門家-蛍光X線編」より	蛍光X線法の基礎－原理と試料調製－	福岡大学 理学部 化学科 助教授 市川 慎太郎 氏
*「初めての機器分析」より	測定の不確かさの考え方	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 主任研究員 城野 克広 氏
流れ分析	JIS K 0126 流れ分析通則 改正記念セミナー 今さら聞けない、今から始める流れ分析より～JIS K 0126 改正の概要及び流れ分析の基礎～	千葉大学 小熊 幸一 氏
マイクロプラスチック	環境化学会連携セミナー「マイクロプラスチックの計測と環境影響より」～マイクロプラスチック問題の概要～	東京農工大学 農学部 環境資源科学科教授 高田 秀重 氏
チバニアン	サイエンスセミナー「チバニアン」-地層が示す地球磁場の逆転!	茨城大学 理学部 地球環境科学領域教授 岡田 誠 氏
理研よこはまサイエンスカフェ	ゲノムシーケンスコスト革命がもたらす未来医療と新しい危機	国立研究開発法人 理化学研究所 予防医療プログラムディレクター 林崎 良英 氏
超臨界流体	「超臨界流体抽出及びクロマトグラフィーの応用と展開」より～超臨界流体の利用によって広がる新たな分離分析技術の可能性～	九州大学生体防御医学研究所 教授 馬場 健史 氏
ライフサイエンスイノベーションゾーン 2019		
バイオエコノミー戦略	バイオエコノミー戦略について	経済産業省生物化学産業課課長 田中 哲也 氏
次世代ヘルスケアと葉づくり	生活者の参加が必要なヘルスケアのイノベーション	NPO 法人 サイバー絆研究所代表 神沼 二真 氏
	食とライフスタイルで健康管理を－システム生物学によるアプローチ	TNO (オランダ応用科学研究機構)Healthy Living 日本代表 西出 香 氏
	政策立案のオープンイノベーション「政策 OpenLab」	農林水産省 経営局経営政策課 経営専門官 渡辺 一行 氏
AI がかえる斬新的創薬とは	Applications of AI in Drug Discovery	twoXARChief Executive Officer Andrew A. Radin 氏
JAIMA/PITTCON 日米合同 Advanced tools for BioPharmaceutical research	A PREVIEW OF PITTCON 2020	Pittcon2020 Technical Program Chair Joanne Smith 氏
	High Throughput Analysis of Pharmaceutical Compounds by 2D LC-SFC-MS	Genentech Inc.Small Molecule Analytical Chemistry Senior Scientist Mohammad Al-Sayah 氏
	CryoEM for structure-based drug design in the biopharmaceutical industry	NanoImaging Services, Inc. Anette Schneemann 氏
	Biosensor Arrays Enabling Precision Medicine	University of MichiganDepartment of ChemistryRobert A. Gregg Professor of Chemistry Ryan C. Bailey 氏
	Cryo-EM: Method Developments and Applications in Basic Sciences, Diseases and Drug Discovery	Purdue UniversityDepartment of Biological Sciences Wen Jiang 氏
日本生物工学会 Joint「おいしさを可視化する分析技術」	美味しさを可視化する分析技術	キリンホールディングス株式会社ワイン技術研究所 主査(主任研究員) 吉田 聡 氏
	ホップの香りを GC-MS 分析で科学する	サッポロビール株式会社 商品・技術イノベーション部 担当部長 嶋井 潔 氏
バイオを観るサイエンス	光顕標本の低真空走査電子顕微鏡による観察	東京腎臓研究所 所長 山中 宣昭 氏
新技術説明会：6社12タイトル		
アジレントの新技術説明会をウェブでご覧いただけます!		アジレント・テクノロジー株式会社
【新技術説明会】マイクロプラスチックの分析動向と最新分析事例		株式会社島津製作所
【新技術説明会】GCの最新機能を一挙公開! 時短・生産性向上のノウハウや高感度分析の実例紹介		株式会社島津製作所
分析ラボのワークフローを改革する: 進化した LC 分析の自動化		株式会社島津製作所
水質測定基礎セミナー～pH、ORP、電気伝導率、DO 測定の基礎と JP17 改正対応について～		東亜ディーケーケー株式会社
イオンクロマトグラフ(IC)基礎セミナー～分離の基本から、高感度測定まで～		東亜ディーケーケー株式会社
仕事の効率大幅 UP! 最新の卓上 SEM による品質管理・異物分析		日本電子株式会社
GC-MS/MS を使用した食品中残留農薬スクリーニング分析例の紹介		日本電子株式会社
接合・表面処理における HORIBA の多彩な分析ソリューション /HORIBA's versatile analysis application and solution for the bonding and the surface treatment		株式会社堀場製作所
テクスチャーと美味しさ科学における X 線回折の応用		株式会社リガク
ラボ装置でできる! PDF 解析の基礎とノウハウ(X 線回折)		株式会社リガク
ふんわり・カラッとをマイクロで解明		株式会社リガク

14. JASIS コンファレンス

1. 概要

JASIS コンファレンスは、科学・分析機器に関連する団体が開催する様々なセッションからなり、JASIS に多くの機器ユーザーに会場いただくための併催事業である。

日時：2019年9月3日（火）～9月6日（金）10:00～17:00

場所：幕張メッセ国際会議場 参加者延べ人数：4,803名（4,219名）

参加団体・セッション数：33団体・53セッション（37団体・52セッション）※（ ）はJASIS 2018実績

2. 開催内容（主催者プログラム）

- (1) ライフサイエンスイノベーションフォーラム 1～3（延べ聴講者数：259名）

「ライフサイエンスイノベーションゾーン」連携企画として開催した。

- (2) JAIMA セミナー 1～11（延べ聴講者数：1,445名）

計11セッションを、連携団体の協力を得て開催した。

- (3) 日科協セミナー（聴講者数：40名）

環境分析についての基礎知識を提供する『知っておきたい科学機器業界の基礎知識』を開催した。

- (4) International Conference Session (ICS) 1～4（延べ聴講者数：498名）

・アジアテクニカルフォーラム「アジアの食の安全・安心」をインド、シンガポール、タイ、韓国各国との連携で、中国フォーラム「中国分析市場動向、環境、健康、食の安全」を中国分析テスト協会などとの連携で開催した。

・英国王立化学会東京国際コンファレンス（RSC-TIC）を開催した。

- (5) イノベーション創出に向けた計測分析プラットフォームの構築（聴講者数：107名）

日本学術振興会計測分析プラットフォーム第193委員会、日本学術会議化学委員会分析化学分科会、日本分析機器工業会、日本分析化学会の共催で、「最先端計測分析技術開発及び共同運用プラットフォーム」構想について、計測分析プラットフォーム構築に向けて、などの報告が行われた。

- (6) 第4回東京大学－ベトナム国家大学－ヤンゴン工科大学戦略的パートナーシップ合同シンポジウム「食と環境に関する、ベトナム、ミャンマー、日本合同シンポジウム」（聴講者数：34名）

東京大学との連携で、機器分析化学の教育プログラムを提供する国際教育協力の一環として、食と環境の安全・安心のための分析技術と人材育成について各国の研究者による意見交換が行われた。

- (7) 超臨界流体抽出及びクロマトグラフィーの応用と展開（聴講者数：74名）

SFC研究会と連携し、超臨界流体を利用した抽出・分析に関する情報提供を行った。

- (8) マイクロプラスチックの計測と環境影響（聴講者数：330名）

日本環境化学会と連携し、マイクロプラスチックに関する情報提供を行った。

- (9) "JIS K 0126 流れ分析通則" 改正記念セミナー（聴講者数：71名）

日本分析機器工業会が原案作成団体として改正したJISK0126「流れ分析通則」をもとに、流れ分析を用いた規格の理解、分析法の開発、規格の作成などに必要な事項について解説が行われた。

3. 参加者層

JASIS コンファレンスの参加者は、ユーザー比率が4日平均67.4%と若干高かった。

(JASIS 全体のユーザー比率57%)

JASIS コンファレンスプログラム

開催日	テーマ	主催団体名	会議室※	時間	言語
9月3日 (火)	[JAIMA 共催シンポジウム] 第4回東京大学-ベトナム国家大学-ヤンゴン工科大学戦略的パートナーシップ合同シンポジウム 「食と環境に関する、ベトナム、ミャンマー、日本合同シンポジウム」	(共催) 東京大学工学部産学連携国際教育展開拠点 (東京大学 GlobalCEE) 一般社団法人日本分析機器工業会 (JAIMA)	201A 会議室	09:30~17:00	日本語
	第35回分析電子顕微鏡討論会 (1日目)	日本顕微鏡学会 分析電子顕微鏡分科会	国際会議室	10:00~16:30	日本語
	走査型プローブ顕微鏡を利用した先端分析技術 (1日目)	日本顕微鏡学会 走査型プローブ顕微鏡分科会	301A 会議室	13:00~17:00	日本語
9月4日 (水)	第35回分析電子顕微鏡討論会 (2日目)	日本顕微鏡学会 分析電子顕微鏡分科会	国際会議室	10:00~16:55	日本語
	JAIMA セミナー 1 「これであなたも専門家-不確かさ編」	(一社) 日本分析機器工業会	コンベンションホール A	09:50~17:20	日本語
	ICS 1 英国王立化学会 (RSC) 東京国際コンファレンス 2019 「電気化学分析の最新情報-その多分野への展開と可能性-」 (1日目)	Royal Society of Chemistry (英国王立化学会), JAIMA	コンベンションホール B	09:30~17:50	英語
	令和元年飲料水検査技術研修会	(一社) 全国給水衛生検査協会	201 会議室	13:00~17:00	日本語
	走査型プローブ顕微鏡を利用した先端分析技術 (2日目)	日本顕微鏡学会 走査型プローブ顕微鏡分科会	301A 会議室	10:00~16:30	日本語
	超臨界流体抽出及びクロマトグラフィーの応用と展開	SFC 研究会 / (一社) 日本分析機器工業会	301B 会議室	14:00~16:30	日本語
	AOAC セミナー :: 基礎からわかる ISO/IEC 17025:2017 - 試験結果の妥当性の確保 -	AOAC INTERNATIONAL JAPAN SECTION	302 会議室	13:30~16:30	日本語
	JAIMA セミナー 2 「機器分析のステップアップ」	(一社) 日本分析機器工業会	303 会議室	10:00~12:00	日本語
	イノベーション創出に向けた計測分析プラットフォームの構築 ~どんな基盤をつくり何を指すか~	日本学術振興会 計測分析プラットフォーム第193委員会 日本学術会議・化学委員会・分析化学分科会 (一社) 日本分析機器工業会 (公社) 日本分析化学会	303 会議室	13:10~17:00	日本語
	恐怖のプロファイリング III ~迫り来る〇〇~	メタボリック・プロファイリング研究会	304 会議室	10:00~17:45	日本語
	赤外分光法の基礎と応用	(公社) 日本分光学会	101 会議室	10:00~17:00	日本語
	センシング技術革新による価値創造	(国研) 産業技術総合研究所 エレクトロニクス・製造領域	102 会議室	13:00~15:45	日本語
	アジアテクニカルフォーラム 2019 「アジアの食の安全・安心」 特別講演: 「インド分析機器市場最新動向」	(一社) 日本分析機器工業会	103 会議室	13:30~17:05	英語 (同時通訳付)
	JSCA 表面化学分析国際標準化セミナー 2019 ~ 表面分析・マイクロビームアナリシスにおける国際標準化の最近の展開 ~	(一社) 表面化学分析技術国際標準化委員会	104 会議室	13:00~17:00	日本語
	レーザーアブレーションワークショップ 2019 - 定量分析に向けた最新の取組 -	レーザーアブレーション分析研究会	105 会議室	10:00~17:40	日本語
9月5日 (木)	NMIJ 標準物質セミナー 2019 ~測定値の妥当性確認と標準物質~	(国研) 産業技術総合研究所 計量標準総合センター	国際会議室	10:30~16:05	日本語
	JAIMA セミナー 3 「初めての機器分析」	(一社) 日本分析機器工業会	コンベンションホール A	10:00~12:00	日本語
	ICS 3 英国王立化学会 (RSC) 東京国際コンファレンス 2019 「電気化学分析の最新情報-その多分野への展開と可能性-」 (2日目)	Royal Society of Chemistry (英国王立化学会), JAIMA	コンベンションホール B	09:30~16:50	英語
	先端研究基盤共用促進事業シンポジウム 2019	文部科学省	201 会議室	10:30~17:00	日本語
	質量分析における試薬の力と展望	(一社) 日本質量分析学会	301A 会議室	13:15~16:20	日本語
	Spring-8/SACL	理化学研究所 放射光科学研究センター	301B 会議室	10:00~12:00	日本語
	JAIMA セミナー 4 「これであなたも専門家-熱分析編」	(一社) 日本分析機器工業会	301B 会議室	14:00~17:00	日本語
	JAIMA セミナー 5 「これであなたも専門家-蛍光 X 線編」	(一社) 日本分析機器工業会	302 会議室	10:00~12:50	日本語
	JAIMA セミナー 6 「これであなたも専門家-GC 編」	(一社) 日本分析機器工業会	302 会議室	14:00~17:00	日本語
	JAIMA セミナー 7 「これであなたも専門家-LC 編」	(一社) 日本分析機器工業会	303 会議室	09:30~17:30	日本語
	生体と近傍環境計測と AI の進歩が拓く新しいヘルスケア	NPO 法人 サイバー・絆研究所	304 会議室	09:55~16:40	日本語
	深紫外分光法とプラズマの基礎と実践	(公社) 日本分光学会	101 会議室	10:00~17:00	日本語
	ビスフェノール A、ホルムアルデヒド、シロキサン、ナノ物質など今後 REACH 規則の規制対象となり得る物質への対応とその測定方法	(一社) 東京環境経営研究所	102 会議室	09:45~12:15	日本語
	PAI-NET マーケットトレンドセミナー 「マイクロfluidics 技術の実用化」	(特非) 分析産業界ネット	102 会議室	13:00~16:30	日本語
	中国フォーラム 2019 「中国分析市場動向、環境、健康、食の安全」	(一社) 日本分析機器工業会	103 会議室	14:00~17:00	日本語
	初心者のための実用表面分析講座 2019 「分析現場ですぐに役立つ表面分析のノウハウと知識」	(一社) 表面分析研究会	104 会議室	09:00~17:00	日本語
	微細構造解析・分析連携セミナー	微細構造解析プラットフォーム、構造解析連携協議会	105 会議室	14:00~17:00	日本語
	9月6日 (金)	産総研・分析計測標準研究部門 第5回シンポジウム 「技術革新を支援する計測・分析ソリューション」	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 計量標準総合センター 分析計測標準研究部門	国際会議室	10:00~15:30
マイクロプラスチックの計測と環境影響		(一社) 日本環境化学会 (一社) 日本分析機器工業会	コンベンションホール B	10:00~16:20	日本語
JASIS2019 日環協セミナー 効率的な環境測定評価の最新情報と今後の方向性 - JIS K0102 改正、作業環境評価の動向 -		エコケミストリー研究会 効率的環境汚染測定・評価技術フォーラム	301A 会議室	13:00~15:50	日本語
産総研化学材料診断プラットフォーム 「機能性材料開発を支える分析評価技術」		(国研) 産業技術総合研究所 機能化学研究部門	301B 会議室	13:25~16:30	日本語
JAIMA セミナー 8 「これであなたも専門家-MS 編」		(一社) 日本分析機器工業会	302 会議室	10:00~13:00	日本語
JAIMA セミナー 9 「これであなたも専門家-バイオ編」		(一社) 日本分析機器工業会	302 会議室	14:00~17:00	日本語
JAIMA セミナー 10 「これであなたも専門家-IC 編」		(一社) 日本分析機器工業会	303 会議室	10:00~13:00	日本語
JAIMA セミナー 11 「これであなたも専門家-セパレーションサイエンス編」		(一社) 日本分析機器工業会	303 会議室	14:00~16:55	日本語
バイオバンクの社会的役割と医療イノベーション		(特非) バイオ計測技術コンソーシアム (JMAC) (一社) 日本生物資源産業利用協議会 (CIBER)	304 会議室	12:30~17:00	日本語
近赤外分光法の基礎と実際		(公社) 日本分光学会	101 会議室	10:00~17:00	日本語
日科協セミナー 「知っておきたい科学機器業界の基礎知識」 ~環境分析~		(一社) 日本科学機器協会	102 会議室	10:00~12:30	日本語
JIS K 0126 流れ分析通則 改正記念セミナー 今さら聞けない、今から始める流れ分析		(一社) 日本分析機器工業会	102 会議室	14:00~17:00	日本語
【実習付き】食品のオフフレーバーの事案と対応策		(一社) オフフレーバー研究会	103 会議室	13:10~17:00	日本語
バイオメティクスと分析評価技術		(公社) 高分子学会バイオメティクス研究会	104 会議室	13:00~16:40	日本語
IoT 社会の室内環境センシング - 生体センシングからスマホの活用まで -		(一社) 室内環境学会	105 会議室	13:00~17:00	日本語

※ 幕張メッセ国際会議場内

15. 日本薬局方セミナー

特別企画として、2011年～2018年好評を博したセミナーの第9弾として「日本薬局方セミナー」として、専門機関の先生より最近の傾向、分析法などをご紹介いただき、400名を超える方々に聴講いただき大盛況であった。講演内容と聴講者数は以下のとおりである。

◆日本薬局方セミナー「日本薬局方の現況」

日 時：9月5日（木）14：00～16：10
 会 場：国際会議場 2F コンベンションホール A
 聴 講 料：無料
 聴講者数：421名

講演1：「第十七改正日本薬局方第二追補の概要について」

国立医薬品食品衛生研究所 所長
 奥田 晴宏 氏

講演2：「理化学試験法の現況」

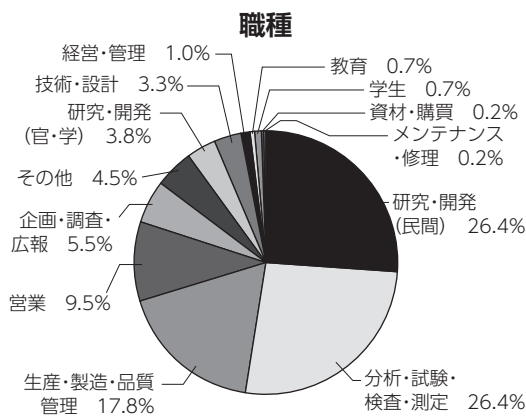
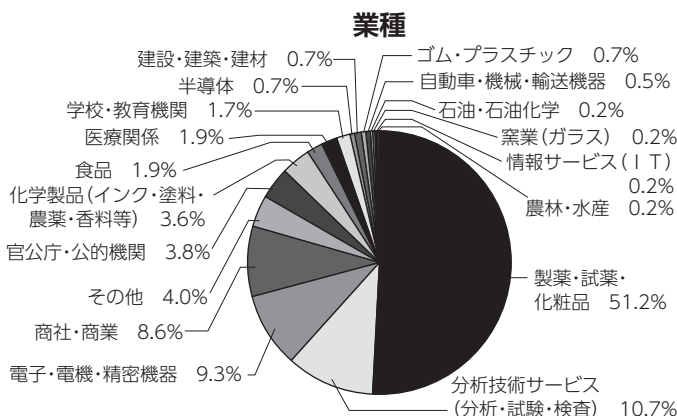
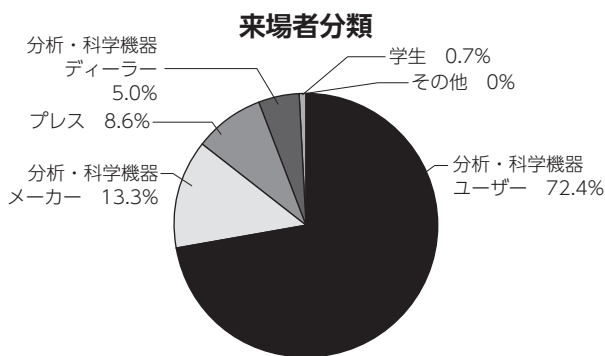
講 師：独立行政法人医薬品医療機器総合機構 審査マネジメント部 医薬品基準課
 福地 準一 氏

講演3：「宿主細胞由来タンパク質試験法の最新動向」

講 師：国立医薬品食品衛生研究所 生物薬品部 第3室 主任研究官
 日向 昌司 氏

講演4：「定量NMRと日本薬局方」

講 師：国立医薬品食品衛生研究所 副所長
 合田 幸広 氏



16. サイエンスセミナー

「分析・科学機器」に精通していない方でも気軽にお楽しみ頂ける一般向け人気プログラム“サイエンスセミナー”では、「『チバニアン』-地層が示す地球磁場の逆転!」をテーマとして茨城大学教授 岡田 誠氏にご講演いただいた。当日は多くの方々が聴講され、盛況であった。

◆サイエンスセミナー 『チバニアン』-地層が示す地球磁場の逆転!』

日 時：9月6日(金) 13:00～14:30

会 場：国際会議場 2F コンベンションホール A

聴 講 料：無料

聴講者数：273名

講 師：茨城大学 理学部 地球環境科学領域 教授

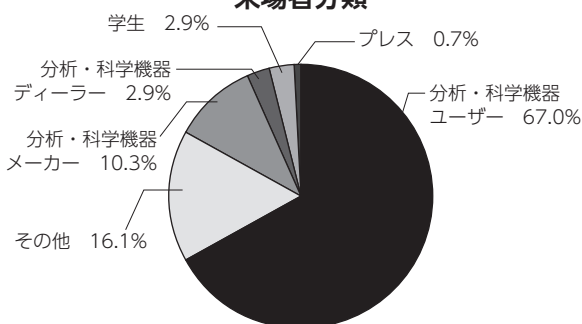
岡田 誠 氏

講演概要：

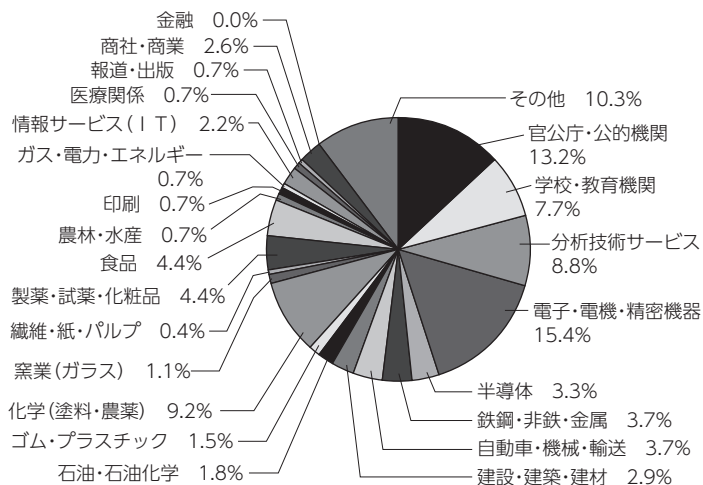
約 77 万～ 12 万 6 千年前に相当する地層年代が「チバニアン」と命名される可能性がある。千葉県市原市の地層中の岩石などの調査から、この年代に起こった地磁気逆転の詳しい様子が示されています。地層の声を聴くことで古代の地球の姿を描き出す。壮大な研究についての紹介が行われた。



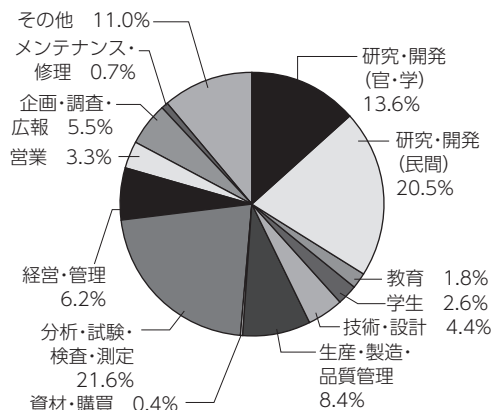
来場者分類



業種



職種



17. サイエンスステージ

サイエンスステージにおいて、「理研よこはまサイエンスカフェ in JASIS」、「やさしい科学機器入門」を開催した。会期3日間の午前中は、(公社)日本分析化学会監修の分析化学会DVD、JASIS 2018のセミナー・イベント(サイエンスセミナー、科学実験ショー)で収録したWebExpo動画の上映を行った。

◆理研よこはまサイエンスカフェ in JASIS –ゲノムシーケンスコスト革命がもたらす未来医療と新しい危機

理化学研究所(横浜キャンパス)のご協力を得て、今回初開催。講演中に参加者からの質問を受けるという講師と参加者との対話型での開催であり、ゲノムに関する研究成果など、ライフサイエンスに関する最先端情報をご提供いただいた。

講師：理化学研究所 予防医療・診断技術開発プログラム

プログラムディレクター 林崎 良英氏

日時：9月4日(水) 14:00～15:00

参加者数：40名



理研よこはまサイエンスカフェ in JASIS



対話型での進行

◆やさしい科学機器入門

日時	テーマ	聴講者数
9月5日(木)	14:00～14:30 遠心分離機	47
	14:35～15:05 ロータリーエバポレーター	
9月6日(金)	14:00～14:30 恒温恒湿機	38
	14:35～15:05 フリーザー	

協力会社：工機ホールディングス(株)、柴田科学(株)、アドバンテック東洋(株)、日本フリーザー(株)

◆DVD 上映

日時	テーマ
9月5日(木) 9月6日(金)	10:20～10:53 分析および分析値の信頼性 –信頼性保証の確立に向けて–
	10:55～11:28 高速液体クロマトグラフィー HPLC
	11:30～12:04 高速液体クロマトグラフィー質量分析法 LC/MS

◆WebExpo 上映

日時	テーマ
9月4日(水)	10:30～11:30 JASIS 2018 科学実験ショー「基盤実装型センサと遠隔測定」 公益財団法人日本科学技術振興財団(科学技術館)
	11:45～13:15 JASIS 2018 サイエンスセミナー「料理の科学 加工、加熱、調味、保存のメカニズムは……」 講師：名古屋工業大学名誉教授 齋藤 勝裕氏

18. 「科学・分析機器総覧」、「分析機器の手引き」の配布

「科学・分析機器総覧 2019/2020」発行・製作部数とJASIS 2019での配布数実績

掲載会社数	353 社
掲載スペース数	3,371 スペース
発行・製作部数	印刷版 13,800 冊 DVD 版 10,000 枚
「JASIS 2019」での配布数	印刷版 7,305 冊 DVD 版 5,000 枚



分析機器の手引き 2019 (DVD)

ページ数	320 ページ
配布数	1,500 枚

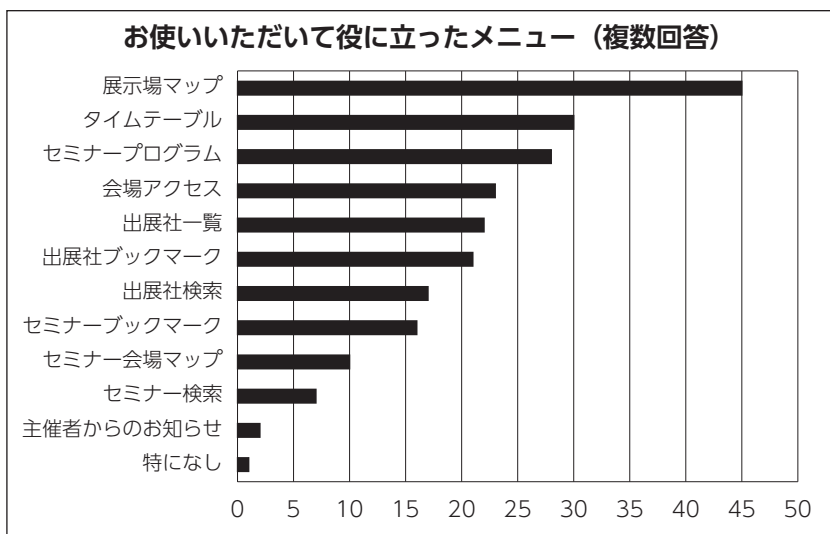
19. スマートデバイス向けアプリ

来場者向けに出品社・小間位置検索、セミナー検索アプリを導入した。

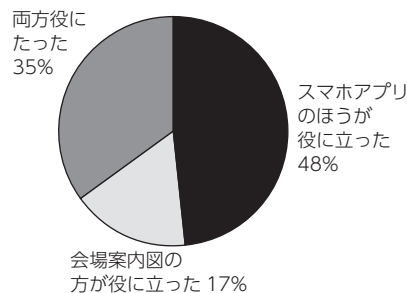
アプリダウンロード数推移

内容	JASIS 2019			JASIS 2018			JASIS 2017		
	アプリダウンロード数	アプリダウンロード数 / 来場者数	来場者数	アプリダウンロード数	アプリダウンロード数 / 来場者数	来場者数	アプリダウンロード数	アプリダウンロード数 / 来場者数	来場者数
iOS	2,271	9.70%	23,409	2,288	9.66%	23,697	2,606	10.6%	24,634
Android	904	3.86%		1,079	4.55%		946	3.8%	
合計	3,175	13.56%		3,367	14.21%		3,552	14.4%	

アプリアンケート集計抜粋



アプリと会場案内図のどちらが役に立った



アンケート回答数：66 を 100% として比率を計算しています。

JASIS 2019 結果報告書

2019年12月

JASIS 委員会事務局

一般社団法人日本分析機器工業会内

東京都千代田区神田錦町1丁目12-3 第一アマイビル3階

TEL : 03 (3292) 0642 FAX : 03 (3292) 7157

URL : <https://www.jasis.jp>

未来発見。

JASIS
Japan Analytical & Scientific Instruments Show
2020

最先端科学・分析システム&ソリューション展

2020

11/11(水) ▶ 13(金)

入場無料 AM10:00~PM5:00

幕張メッセ国際展示場

特別企画：ライフサイエンスイノベーションゾーン/
オープンソリューションフォーラム®

併 催：新技術説明会/JASISコンファレンス

主催：JAIMA 一般社団法人 日本分析機器工業会 JSIA 一般社団法人 日本科学機器協会

後援：経済産業省/文部科学省/環境省/公益社団法人日本分析化学会 他 (予定)

<https://www.jasis.jp>



